

安城市市民アンケート調査報告書

令和３年１０月

目次

I. 調査概要

1	調査の目的	1
2	調査対象及び調査方法	2
3	調査票の回収状況	2
4	調査項目	2
5	報告書の見方	3
6	居住地区区分	3

II. 調査対象者（回答者）の属性

1	調査対象者（回答者）の属性	5
1.	調査対象者（回答者）の性別	5
2.	調査対象者（回答者）の年齢	6
3.	調査対象者（回答者）の職業	7
4.	調査対象者（回答者）の居住地区（中学校区）	9
5.	調査対象者（回答者）の居住年数（通算年数）	10

III. 調査結果

1	住みやすさについて	11
1.	住みやすさ	11
2.	住みにくい理由	15
2	安城市の取組みについての評価	18
1.	評価分析方法	18
2.	満足度	19
3.	重要度	38
4.	満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布	56
3	日常生活について	58
1.	健康状態について	58
2.	食生活の問題点	59
3.	1日の歩行時間	60
4.	スポーツ・運動の頻度	62
5.	インカレ開催の認知	64
6.	通勤・通学以外の移動手段	65
7.	主な移動手段	67
8.	今後の自転車の利用	69
9.	安城市の文化芸術や歴史への愛着や誇り	71
10.	デンパークの満足度	74
11.	子育て中の人への就労環境の整備	75
12.	消費生活に関する相談体制	77

13.	「自分ごと」を意識したまちづくりの進捗について	79
14.	マイナンバーカードによる証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況.....	81
15.	地震の備え（家具等の固定）	84
16.	地震の備え（食料等の備蓄）	85
17.	「健幸」の認知度	86
18.	「健幸」のために普段から心掛けていること	87
19.	SDGsの認知度と取組み.....	90
4	自由記入意見のまとめ	93
1.	自由記入意見の内訳	93
2.	主な意見.....	94
V.	参考資料	
1.	調査票	103

I. 調査概要

1 調査の目的

安城市では、平成28年度から第8次安城市総合計画*のもと、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて取組を進めています。令和2年度からは、後期計画となるケンサチ2.0のもと、「健幸（ケンサチ）」のまちづくりは、SDGsの推進に資するものと考え、「ケンサチはSDGs」をスローガンとし、公民連携のまちづくりを推進しています。

*計画期間：平成28年度から令和5年度まで

＜総合計画とは？＞

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で一番重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。

第8次
安城市総合計画

幸せつながる健幸都市

安 城



第8次総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに次の5つの施策分野の目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。

＜目標とするまちの姿＞	
「健康」	生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち
「環境」	くらしの質を高める持続可能なまち
「経済」	地域の魅力、潤いと活力あふれるまち
「きずな」	人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち
「こども」	子どもたちを社会で豊かに育むまち

「第8次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/>



つながる。かなえる。安城
健幸（ケンサチ）のまち、安城

本調査は、市の取組みに対する市民意識を調査することで、第8次安城市総合計画の進捗状況を把握するとともに、現在抱える問題や課題を洗い出し、総合計画の最終年である令和5年度の目標値達成状況を検証し、今後の取組みを検討するための基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査対象及び調査方法

- ・調査地域：安城市全域
- ・調査対象：市内在住の18歳以上の男女
- ・標本数：3,000人
- ・抽出方法：無作為抽出法
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収・WEB回収
- ・調査時期：令和3年7月9日（金）～令和3年7月28日（水）

3 調査票の回収状況

配布数	3,000件
回収数	1,720件
回収率	57.3%
有効回答数	1,720件
有効回収率	57.3%

※回収数は無効回答（調査票への記載が全くなかったもの等）を含めた回収数。有効回答数は無効回答を除いた回収数。本調査では無効回答が無かったため、回収数と有効回答数が同数となっています。

4 調査項目

調査項目
1. 調査対象者（回答者）の属性
2. 安城市の住みやすさについて
3. これまでの安城市の取組みに対する満足度
4. 今後、安城市が取り組むことの重要性
5. 日常生活について

5 報告書の見方

- ・図表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を母数（n）として算出しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため比率の合計が100.0％にならないこともあります。
- ・複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数とし、その項目を選んだ人が全体からみて何％なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計は通常100.0％を超えます。
- ・本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

6 居住地区区分

市民アンケートを分析するにあたり、居住地区については「中学校区（全8区分）」を単位に分析しました。

図表 1 居住地区区分



II. 調査対象者（回答者）の属性

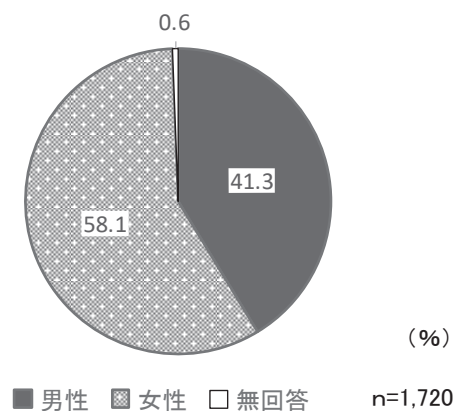
1 調査対象者（回答者）の属性

1. 調査対象者（回答者）の性別

回答者の性別は、「男性」が41.3%、「女性」が58.1%となっています。

図表2 性別

カテゴリー名	n	%
男性	711	41.3
女性	999	58.1
無回答	10	0.6
調査数	1,720	100.0



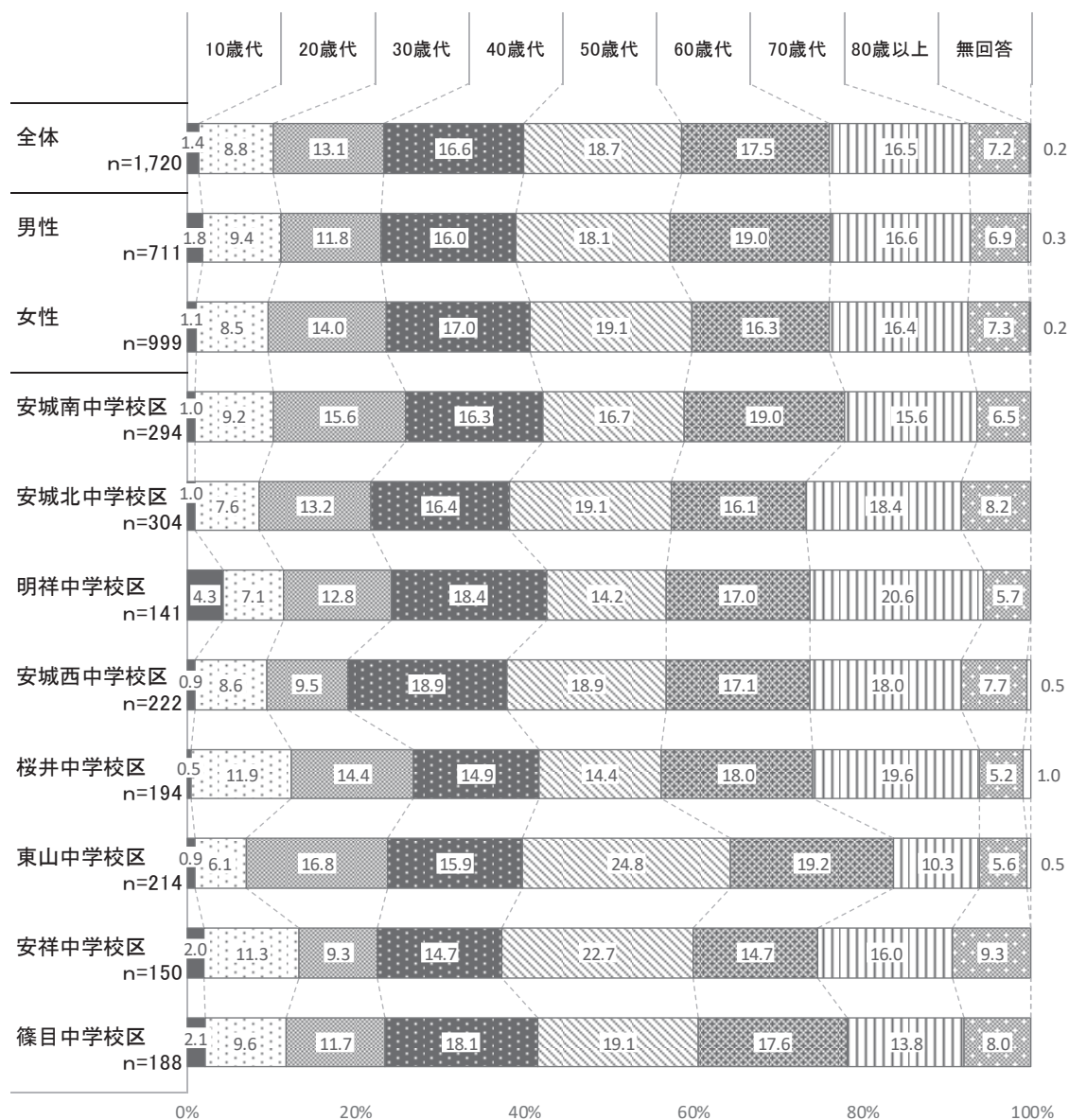
2. 調査対象者（回答者）の年齢

回答者の年齢について、全体でみると、「50歳代」が18.7%で最も多く、次いで「60歳代」（17.5%）、「40歳代」（16.6%）となっています。

性別でみると、男性は「60歳代」（19.0%）、「50歳代」（18.1%）、女性は「50歳代」（19.1%）、「40歳代」（17.0%）の順になっています。

居住地区別でみると、「50歳代」の割合が最も高い地域が多く、安城北中学校区（19.1%）、東山中学校区（24.8%）、安祥中学校区（22.7%）、篠目中学校区（19.1%）となっています。また、明祥中学校区、桜井中学校区では70歳代の割合が最も高く（20.6%、19.6%）、安城南中学校区では60歳代（19.0%）の割合が最も高くなっています。安城西中学校区では40歳代、50歳代がともに18.9%で最も高くなっています。

図表3 年齢（全体・性・居住地区別）



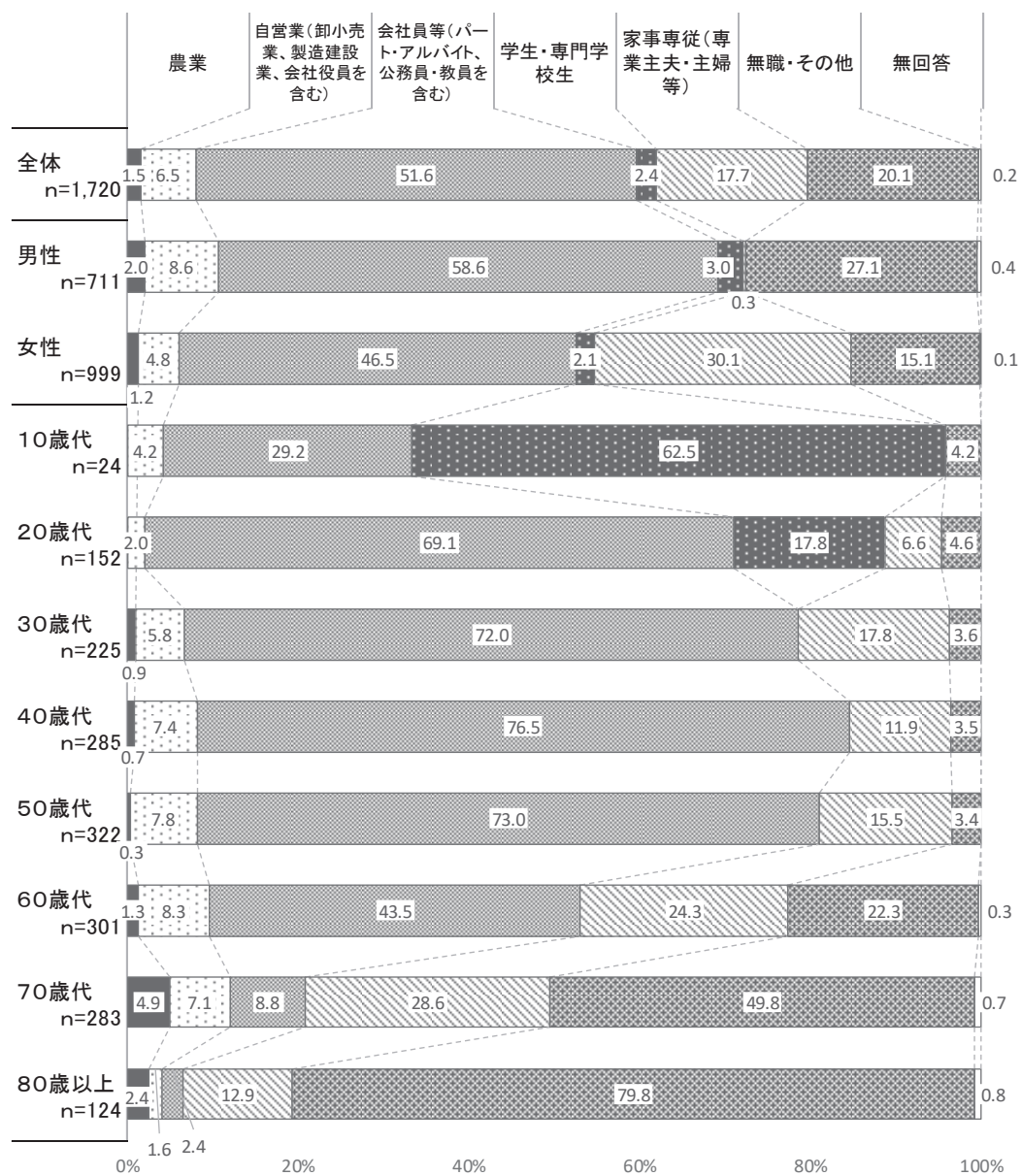
3. 調査対象者（回答者）の職業

回答者の職業について、全体でみると、「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が51.6%で最も高く、次いで「無職・その他」（20.1%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（17.7%）となっています。

性別でみると、男性は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（58.6%）、「無職・その他」（27.1%）、女性では「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（46.5%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（30.1%）の順となっています。

年齢別でみると、20歳代～50歳代は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が最も高く、6割以上となっています。10歳代では「学生・専門学校生」（62.5%）、70歳代・80歳以上では「無職・その他」（49.8%、79.8%）が最も高くなっています。

図表4 職業（全体・性・年齢別）

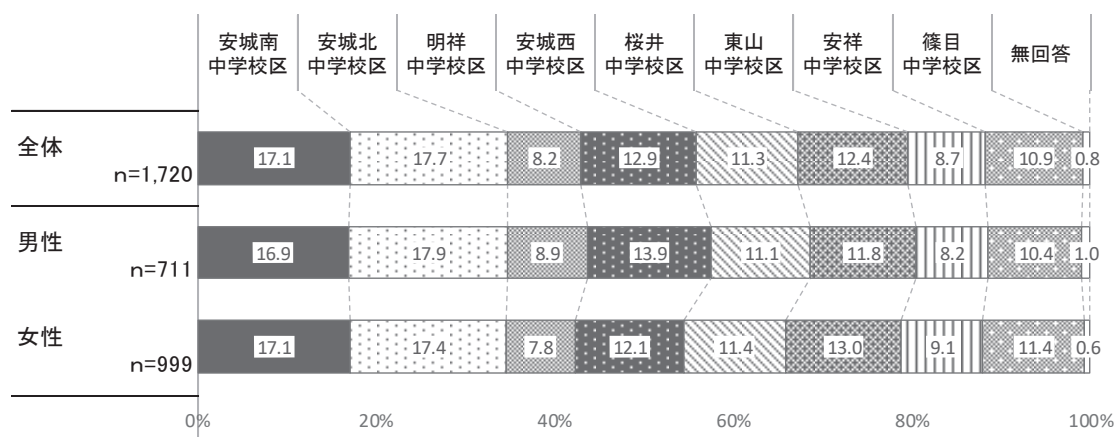


4. 調査対象者（回答者）の居住地区（中学校区）

居住地区について、全体でみると、「安城北中学校区」が17.7%で最も高く、次いで「安城南中学校区」（17.1%）、「安城西中学校区」（12.9%）となっています。

性別による大きな差はみられません。

図表5 居住地区（中学校区）（全体・性別）

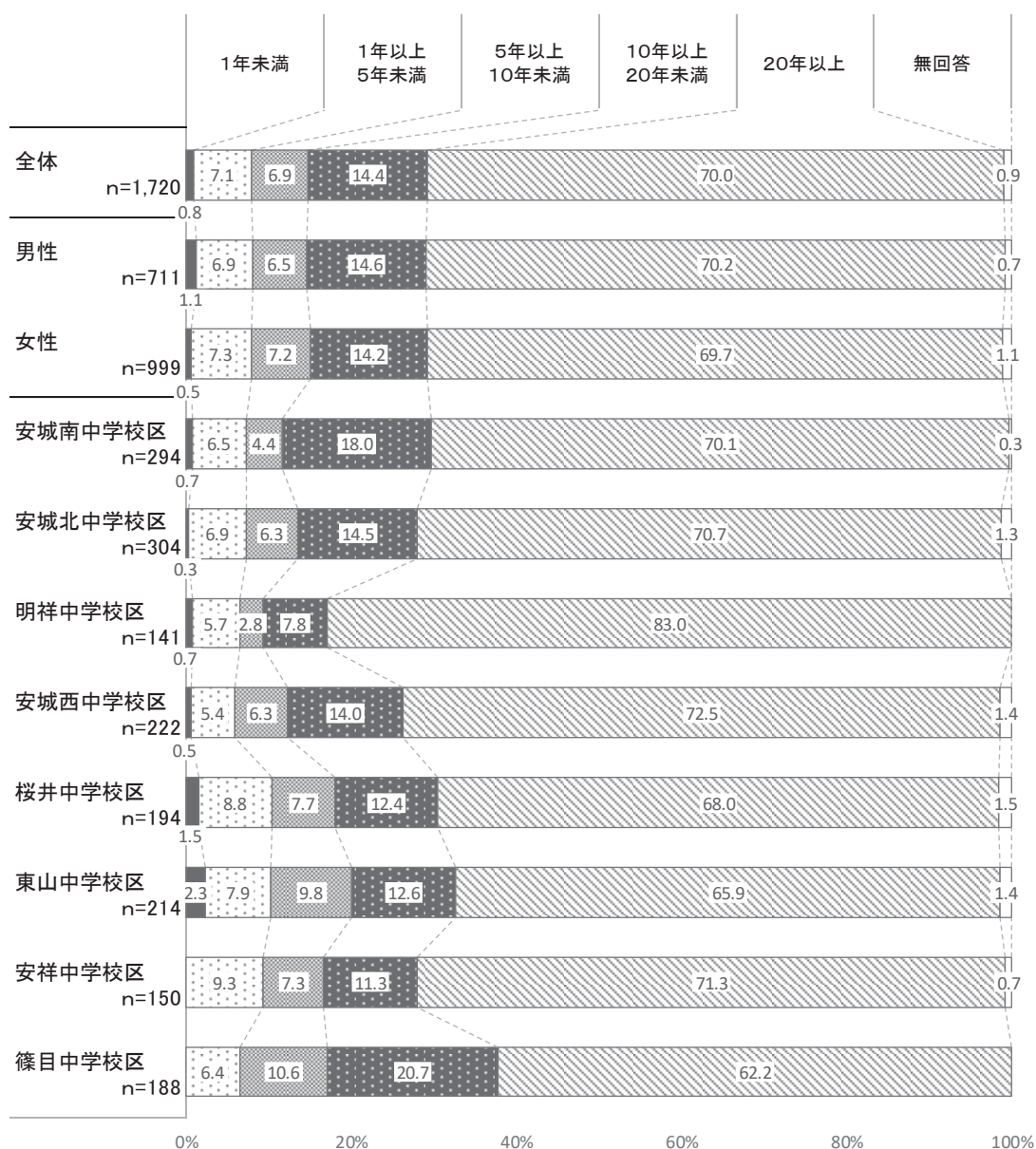


5. 調査対象者（回答者）の居住年数（通算年数）

居住年数について、全体でみると、「20年以上」が70.0%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が14.4%となっています。“10年以上”（「10年以上20年未満」＋「20年以上」）が8割以上（84.4%）となっています。

居住地区別でみると、すべての中学校区において「20年以上」が最も高くなっています。

図表6 居住年数（全体・性・居住地区別）



III. 調查結果

1 住みやすさについて

1. 住みやすさ

問2 安城市の住みやすさについてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

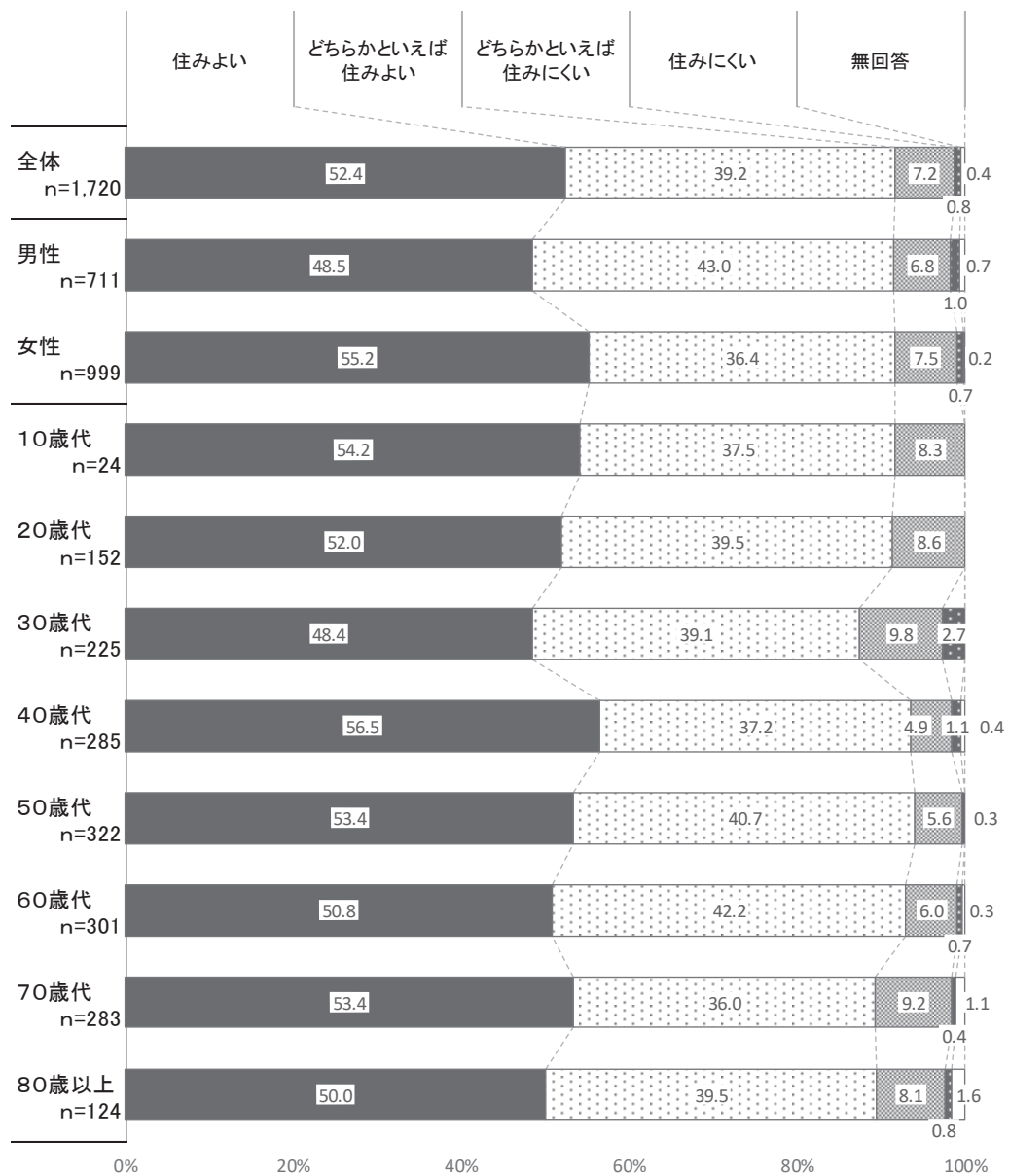
安城市の住みやすさについて、全体でみると「住みよい」が52.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みよい」が39.2%と、9割以上（91.6%）の人が“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）としています。

一方、“住みにくい”（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）とした人は8.0%と1割未満となっています。

性別でみると、“住みやすい”とした人は、男性では91.5%、女性では91.6%となっています。

年齢別でみると、10歳代、20歳代、40歳代～60歳代は90%以上が“住みやすい”と感じており、中でも50歳代が94.1%と最も高くなっています。一方、30歳代、70歳代以降は90%に達していません。なお、「住みよい」のみの割合は40歳代が最も高く、56.5%となっています。

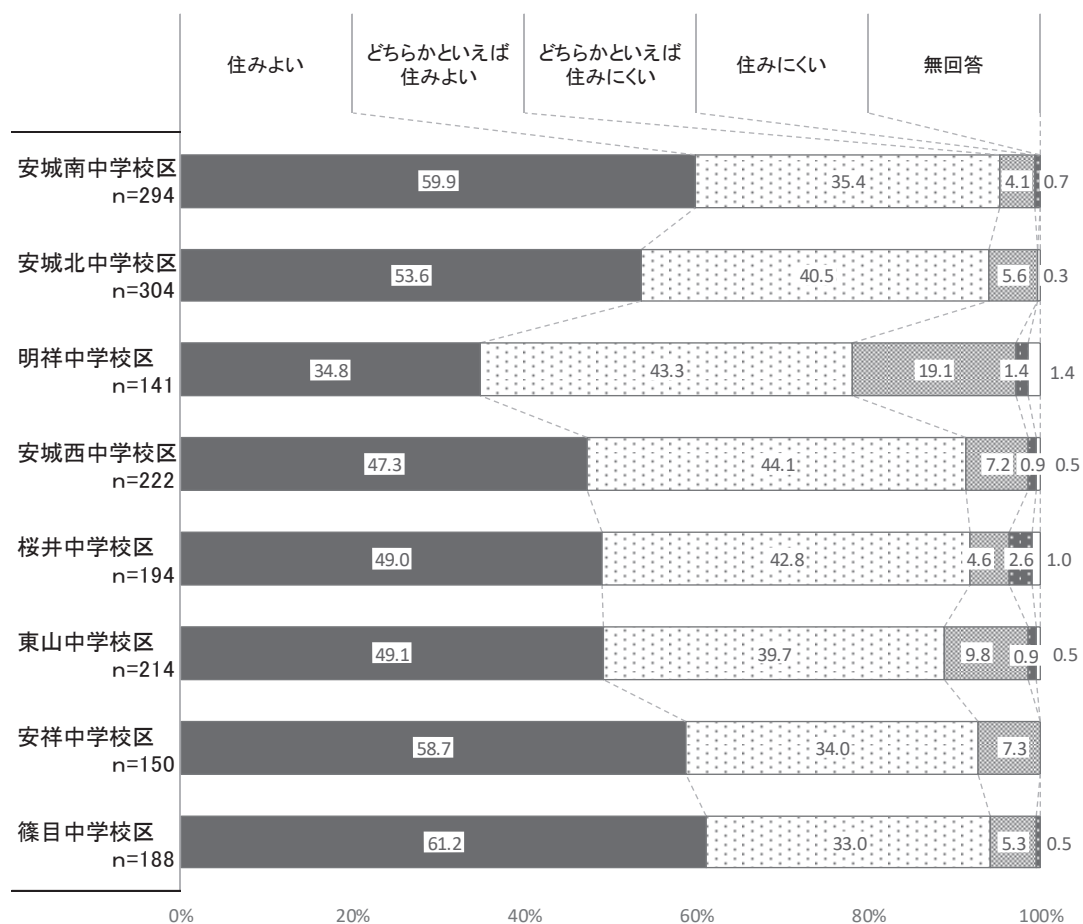
図表 7 住みやすさ（全体・性・年齢別）



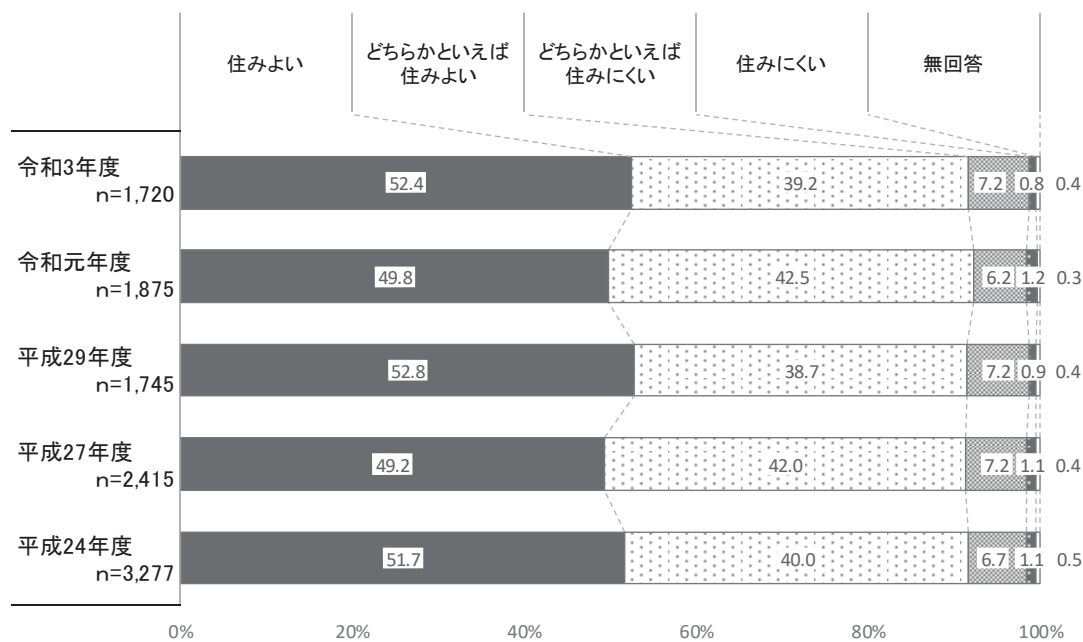
居住地区別では、「住みよい」とした人の割合は、篠目中学校区が 61.2%と最も高く、次いで安城南中学校区が 59.9%となっています。明祥中学校区では「住みよい」とした人の割合が 34.8%と他の中学校区と比べて低く、「どちらかといえば住みにくい」とした人の割合が 19.1%と高くなっています。“住みやすい”とした人の割合は、明祥中学校区(78.1%)、東山中学校区(88.8%)を除く 6 地区で 9 割以上となっています。

過去に実施した調査と比較すると、令和元年度調査と比べて“住みやすい”とした人の割合は 0.7 ポイント減少（「住みよい」+2.6、「どちらかといえば住みよい」-3.3）し、“住みにくい”とした人の割合は 0.6 ポイント増加しています。

図表 8 住みやすさ（居住地区別）



図表 9 住みやすさ（過去に実施した調査との比較）



※平成24年度、平成27年度に実施された調査では調査票を6000通配布

2. 住みにくい理由

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。住みにくいと思う点についてお答えください。（あてはまるもの2つに○）

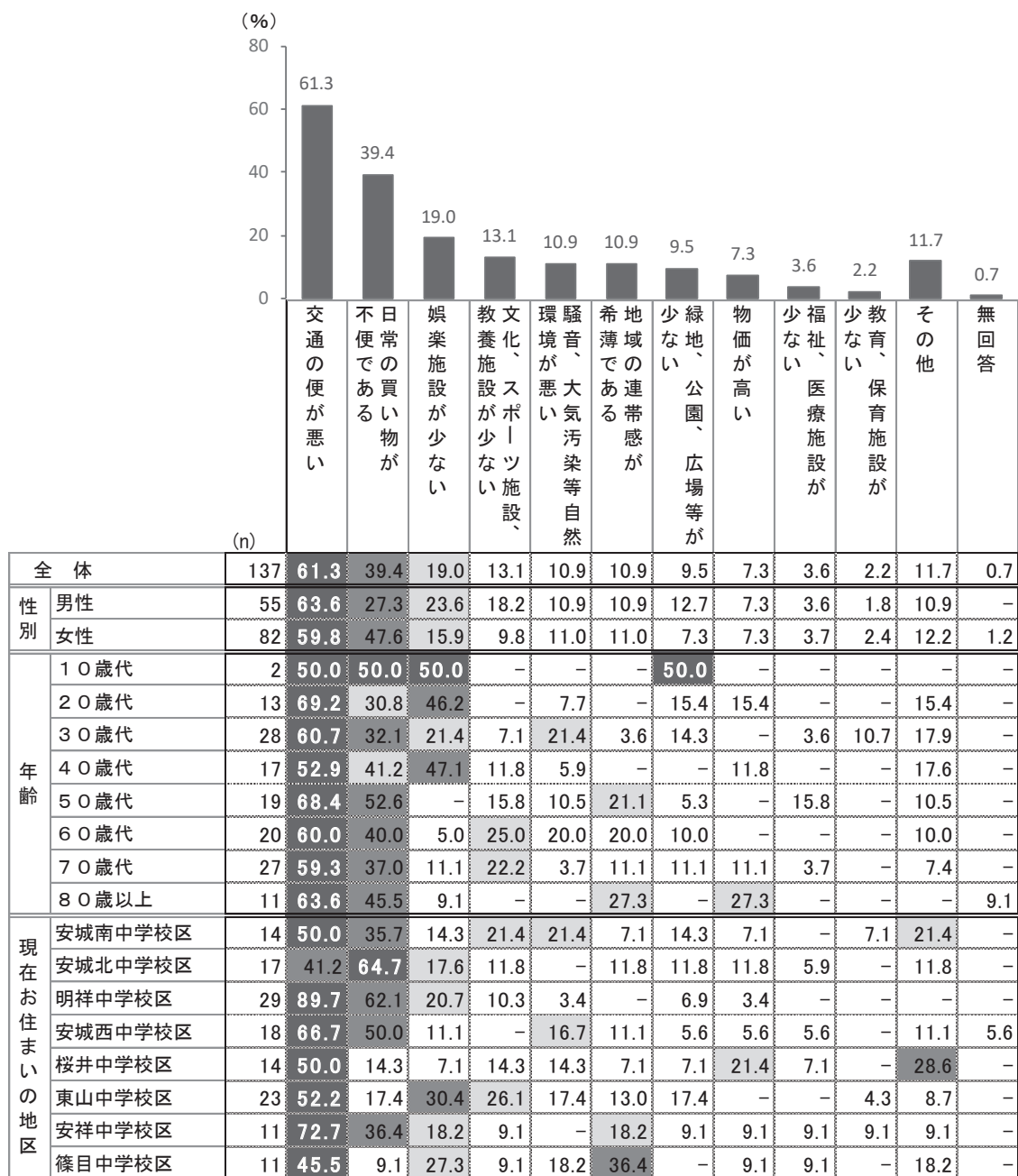
住みにくい理由について、「交通の便が悪い」が61.3%で最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」(39.4%)、「娯楽施設が少ない」(19.0%)の順となっています。

性別でみると、男女ともに「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」、「娯楽施設が少ない」の順となっています。男性の「日常生活の買い物が不便である」が27.3%、女性の「日常生活の買い物が不便である」が47.6%と男性より女性が20.3ポイント高くなっています。

年齢別では、すべての年代で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。

居住地区別では、安城北中学校区を除いたすべての地区で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。特に明祥中学校区では割合が高く、約9割を占めています。一方、安城北中学校区は「日常の買い物が不便である」が最も高くなっています。

図表１０ 住みにくい理由（全体・性・年齢・居住地区別）

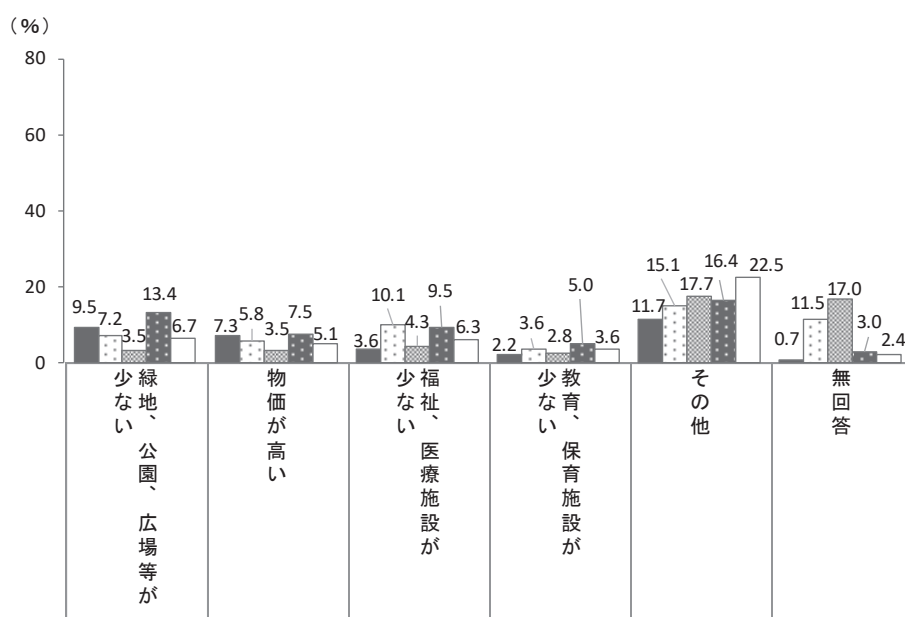
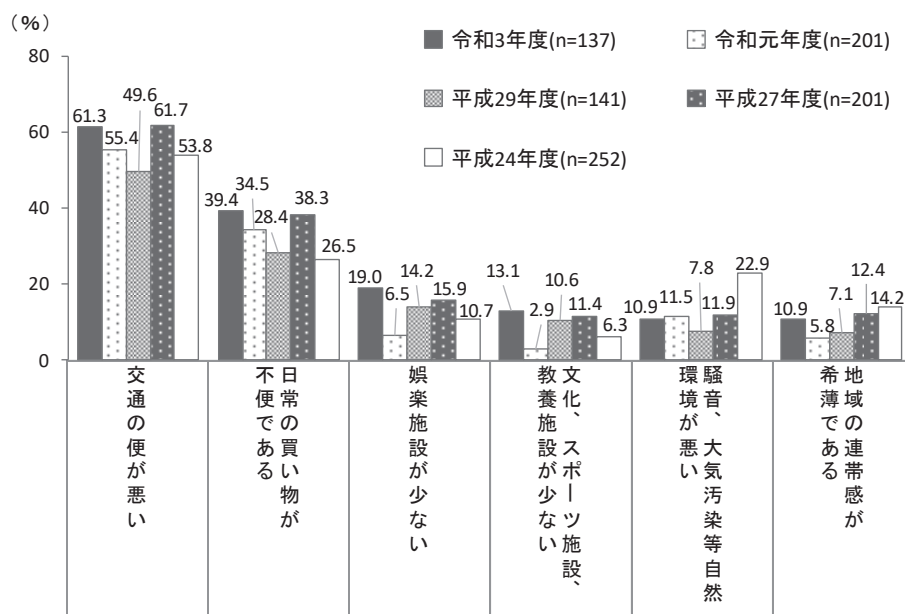


<「その他」の回答>

- 税金が高い
- 育休退園制度がある
- 道路がきたない。雑草だらけ、ごみ（ポイ捨て）が多い。ごみステーションがきたない 等

過去に実施した調査と比較すると、令和元年度調査と比べて「福祉、医療施設が少ない」(－6.5)、「教育、保育施設が少ない」(－1.4)、「騒音、大気汚染等自然環境が悪い」(－0.6)、「その他」(－3.4)を除く7項目において増加しています。中でも「娯楽施設が少ない」(+12.5)、「文化、スポーツ施設、教養施設が少ない」(+10.2)、「交通の便が悪い」(+5.9)が大きく増加しています。

図表 1 1 住みにくい理由（過去に実施した調査との比較）



2 安城市の取組みについての評価

1. 評価分析方法

1) 評価の算出方法

安城市の取組みの満足度・重要度について、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」に「行財政運営」を加えた6分野24項目に対して、以下の表のように評価得点をつけ、満足度および重要度の評価平均得点を算出しました。ここでは、“満足している”（「非常に満足」、「満足」、「やや満足」）や“重要である”（「非常に重要」、「重要」、「まあ重要」）というプラス要素に、“不満である”（「非常に不満」、「不満」、「やや不満」）や“重要でない”（「全く重要でない」、「重要でない」、「あまり重要でない」）というマイナス要素を加味し、各施策に対する相対的な評価を行いました。

① 評価得点

図表 1 2 評価得点

満足度	得点	重要度	得点
非常に満足	3	非常に重要	3
満足	2	重要	2
やや満足	1	まあ重要	1
やや不満	－1	あまり重要でない	－1
不満	－2	重要でない	－2
非常に不満	－3	全く重要でない	－3

② 評価平均得点の算出方法

1人1項目あたりの評価得点分析は、+3～－3の範囲となり、この評価得点全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標としました。

算出された評価平均得点は+3に近いほど満足（重要）であることを表し、－3に近いほど不満（重要でない）であることを表しています。

<満足度評価平均得点の算出式>

$$\frac{\text{「非常に満足」} \times 3 + \text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2) + \text{「非常に不満」} \times (-3)}{\text{「わからない」・「無回答」を除く有効回答者数}}$$

※重要度についても「」内を置き換えて算出

2. 満足度

次の事項（問4～問27）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

ア【満足度】これまでの安城市の取組みについて、どれくらい満足していますか。

それぞれ1～7のいずれか1つに○をつけてください。

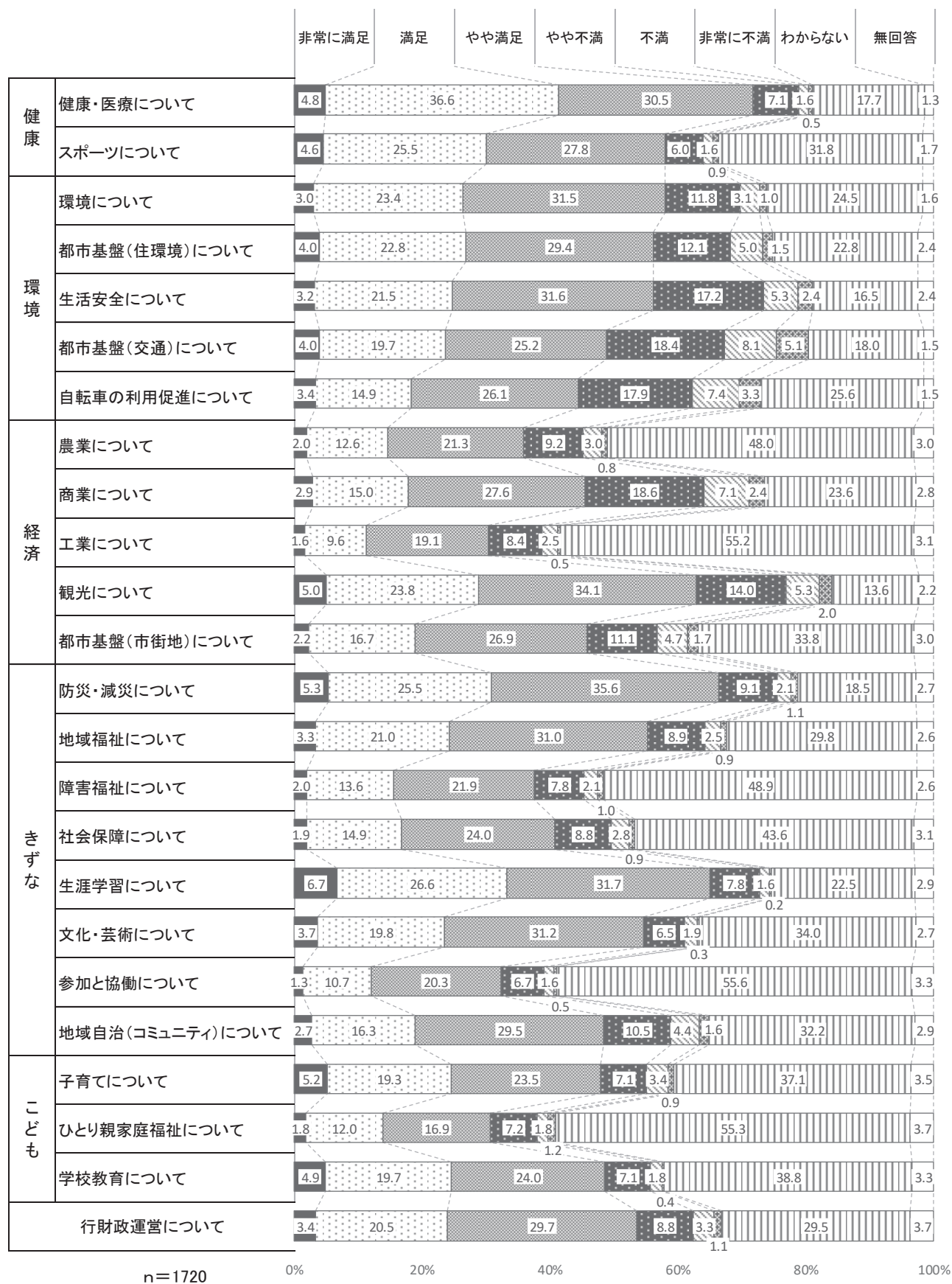
1) 全体評価

<満足度の割合>

項目別に満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高い項目は「健康・医療について」（71.9％）となっています。次いで、「防災・減災について」（66.4％）、「生涯学習について」（65.0％）の順となっています。

一方、“不満”（「非常に不満」＋「不満」＋「やや不満」）が最も高い項目は、「都市基盤（交通）について」（31.6％）であり、次いで「自転車の利用促進について」（28.6％）、「商業について」（28.1％）となっています。

図表 1 3 安城市の取組みの満足度の割合



＜評価平均得点＞

安城市の取組みにおける満足度の評価平均得点の平均値は、0.84 となっています。

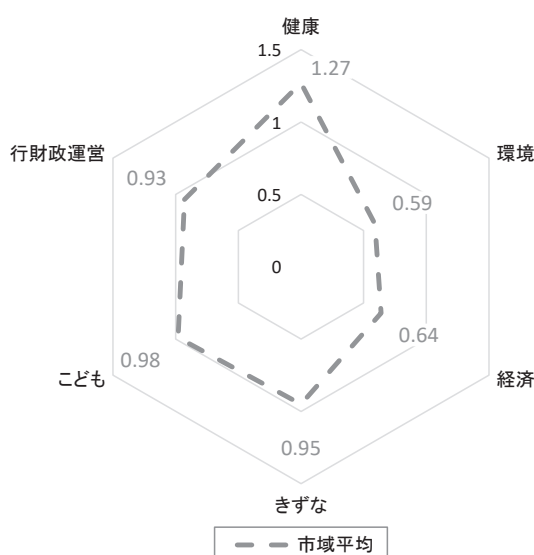
分野別では、「健康」が1.27 と最も高く、次いで「こども」が0.98、「きずな」が0.95 となっています。

項目別にみると、24 項目すべての項目において満足度がプラスになっており、満足度の高い項目から順に「健康・医療について」（1.31）、「生涯学習について」（1.25）、「スポーツについて」（1.22）、「学校教育について」（1.14）、「文化・芸術について」（1.12）となっています。

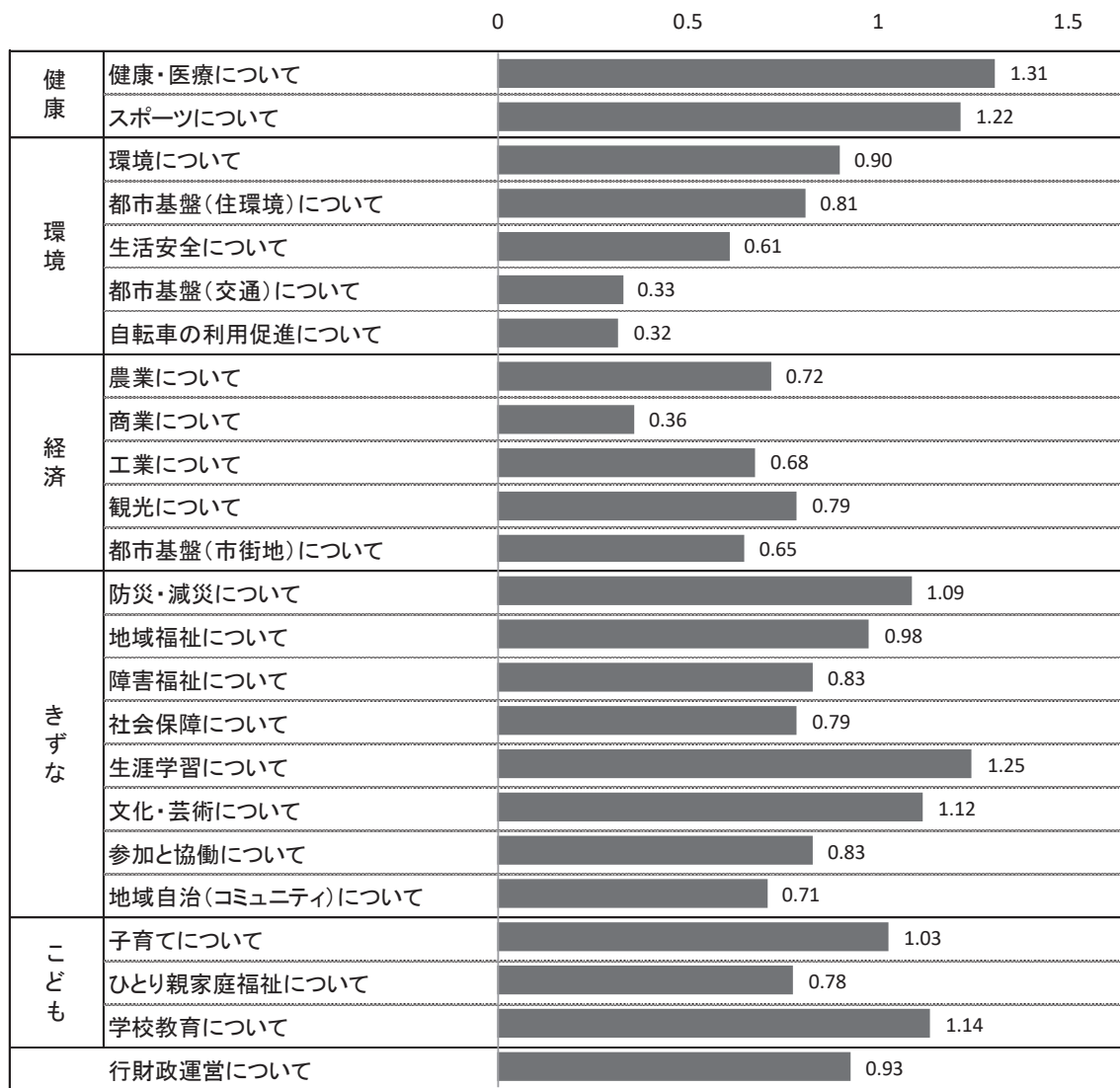
一方、満足度が低い項目から順に「自転車の利用促進について」（0.32）、「都市基盤（交通）について」（0.33）、「商業について」（0.36）、「生活安全について」（0.61）、「都市基盤（市街地）について」（0.65）となっています。

図表 1 4 分野別満足度評価平均得点

	全体平均	健康	環境	経済	きずな	こども	行財政運営
満足度評価平均得点	0.84	1.27	0.59	0.64	0.95	0.98	0.93



図表 15 項目別満足度評価平均得点



2) 分野別評価

① 健康

施策項目	主な取組み
健康・医療について	- 健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施 - 健康イベント（あんじょう健康大学など）の開催 - 休日夜間急病診療所の運営 - あんじょう健康マイレージ（アプリ版含む）事業の実施
スポーツについて	- 体育館、ソフトボール場など、スポーツ施設の管理運営及び施設改修 - 安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催 - 全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）、日本女子ソフトボールリーグ、バスケットボール女子日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催

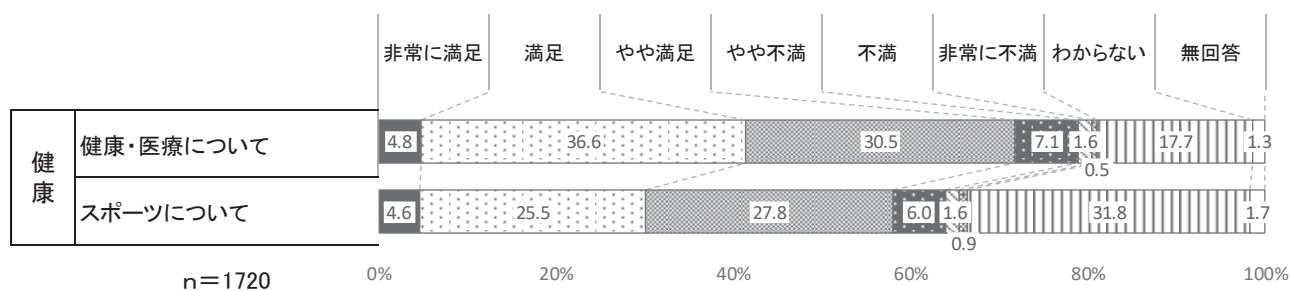
健康分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「健康・医療について」が71.9%、「スポーツについて」は57.9%となっています。

評価平均得点を全体でみると、2項目ともにプラスの評価となっています。

性別でみると、「健康・医療について」、「スポーツについて」ともに、女性（1.33、1.27）が男性（1.29、1.14）よりも高くなっています。

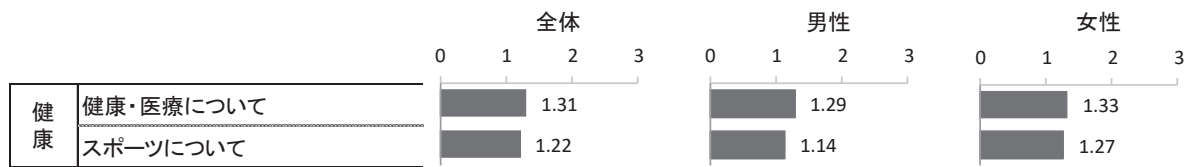
年齢別でみると、30歳代・50歳代は「健康・医療について」よりも「スポーツについて」の満足度が高い一方で、その他の年齢は「健康・医療について」の満足度が高くなっています。

図表16 健康の満足度の割合

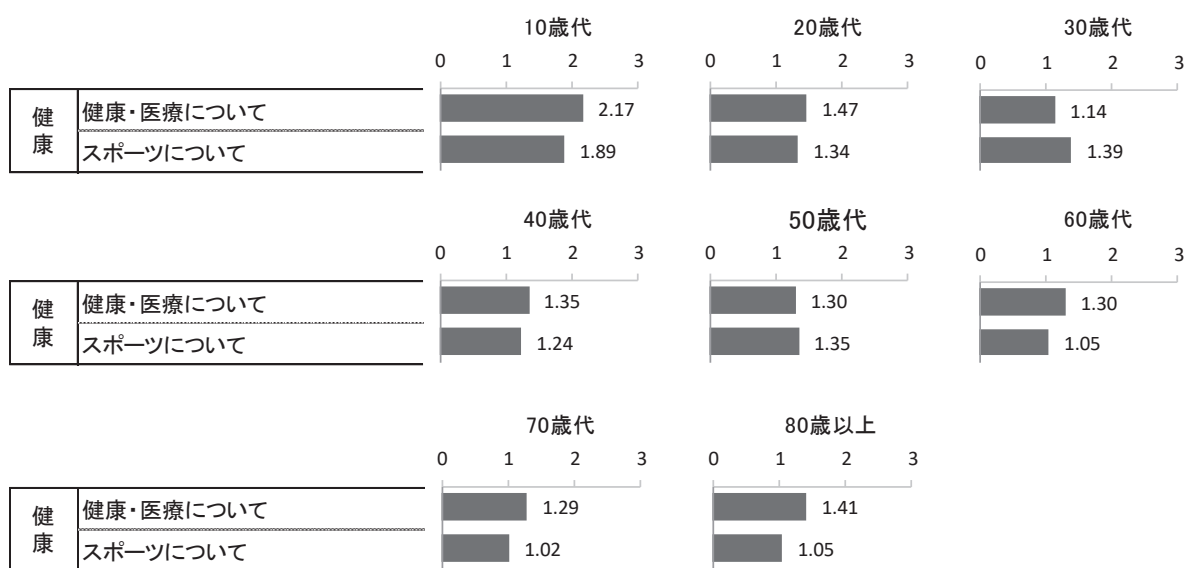


図表 17 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



② 環境

施策項目	主な取組み
環境について	・スマートハウス関連機器*1の設置補助 ・次世代自動車*2の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取り組み
都市基盤（住環境）について	・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・多世代で居住するための住宅の取得等の支援
生活安全について	・地域や学校などでの防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動
都市基盤（交通）について	・あんくるバスの運行の充実（ダイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）
自転車の利用促進について	・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・TS マーク*3取得補助 ・自転車啓発イベント（自転車教室等）の実施 ・自転車のマナー・ルール等の啓発活動

*1 スマートハウス関連機器：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

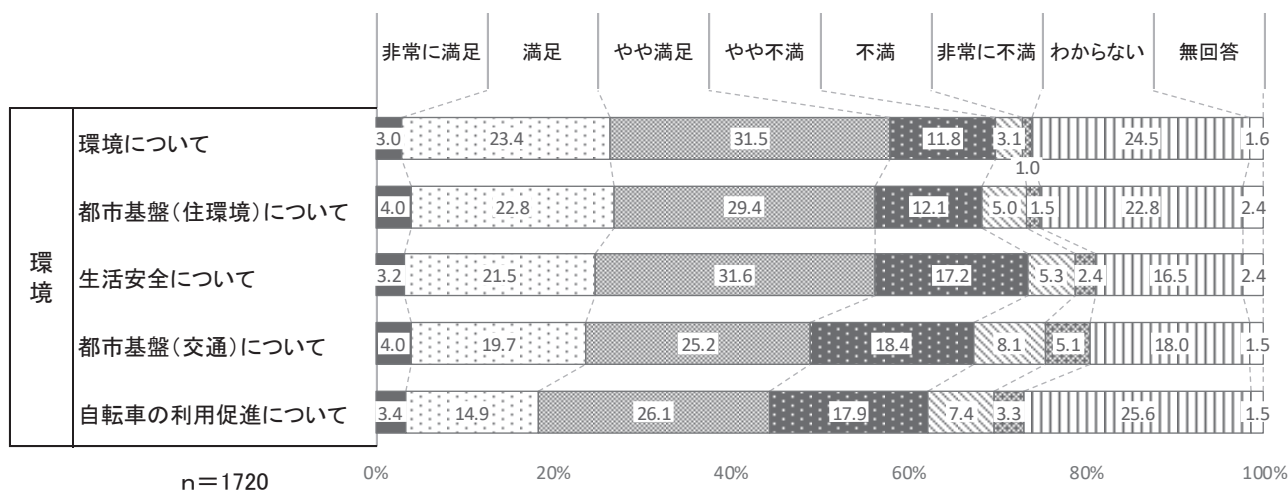
環境分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「環境について」が57.9%、「都市基盤（住環境）について」は56.2%、「生活安全について」は56.3%、「都市基盤（交通）について」は48.9%、「自転車の利用促進について」は44.4%となっています。

評価平均得点を全体でみると、5項目すべてプラス評価となっています。「環境について」（0.90）が最も高く、「自転車の利用促進について」（0.32）が最も低くなっています。

性別でみると、「都市基盤（交通）について」「自転車の利用促進について」以外の項目では、女性は男性よりも評価が高くなっています。

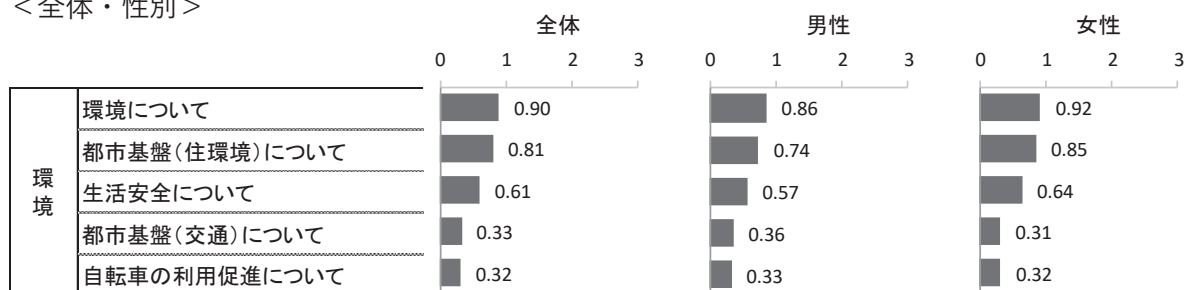
年齢別でみると、すべての年齢で「環境について」が最も高く、40歳代のみ「都市基盤（住環境）について」が同率になっています。一方、最も低い項目は、10歳代・30歳代・70歳代では「都市基盤（交通）について」、その他の年代では「自転車の利用促進について」となっています。

図表 1 8 環境の満足度の割合

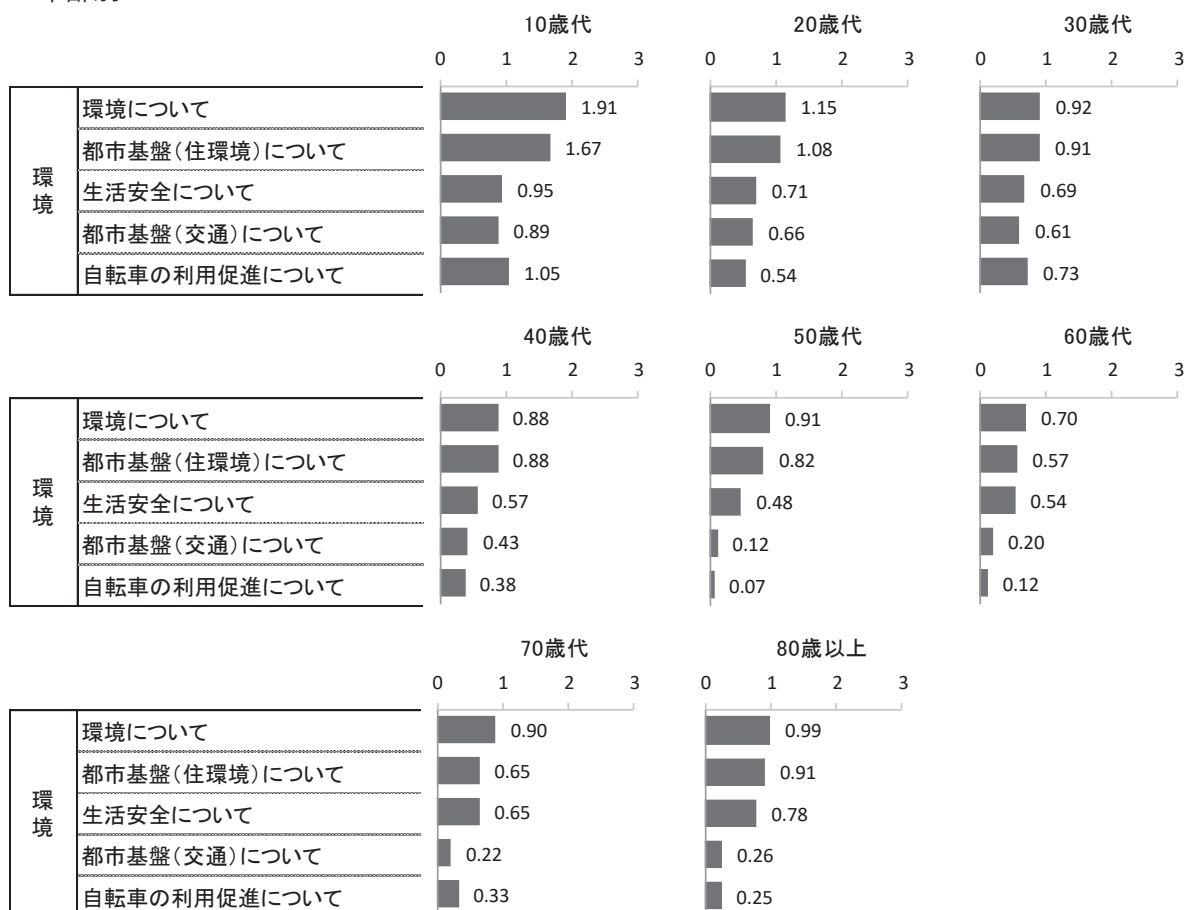


図表 1 9 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



③ 経済

施策項目	主な取組み
農業について	・農地の流動化*4、担い手*5の育成 ・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進
商業について	・商業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・プレミアム商品券事業などの経済対策
工業について	・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、創業支援の推進 ・ものづくりセミナーの実施 ・企業立地推進計画の策定
観光について	・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信
都市基盤（市街地）について	・南明治地区土地地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地地区画整理事業の実施

*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

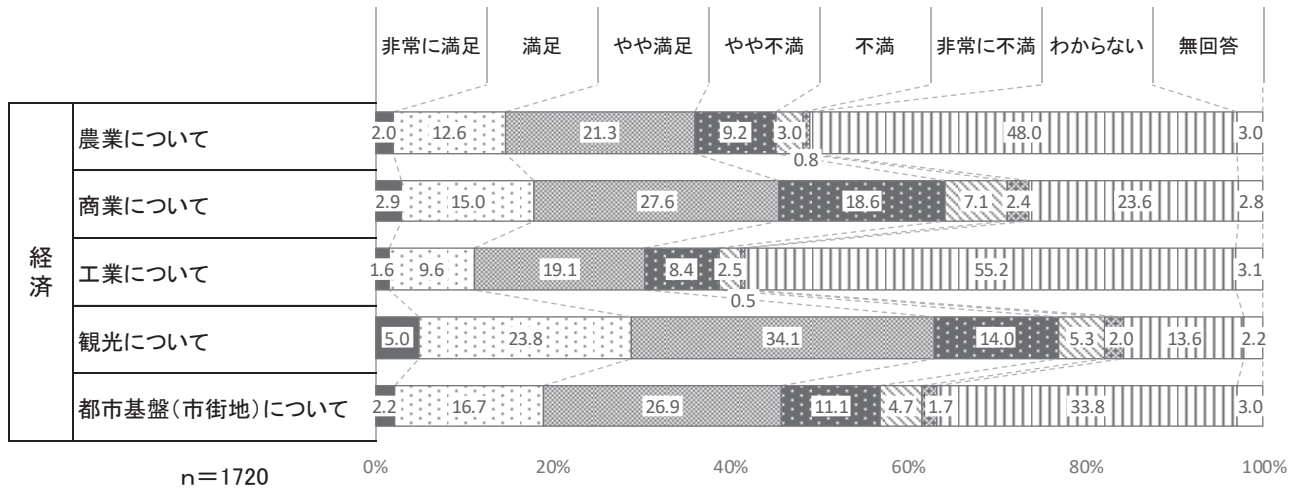
経済分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「農業について」が35.9%、「商業について」は45.5%、「工業について」は30.3%、「観光について」は62.9%、「都市基盤（市街地）について」45.8%となっています。

評価平均得点を全体でみると、5項目すべてプラス評価となっています。「観光について」（0.79）が最も高く、「商業について」（0.36）が最も低くなっています。

性別でみると、女性はすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

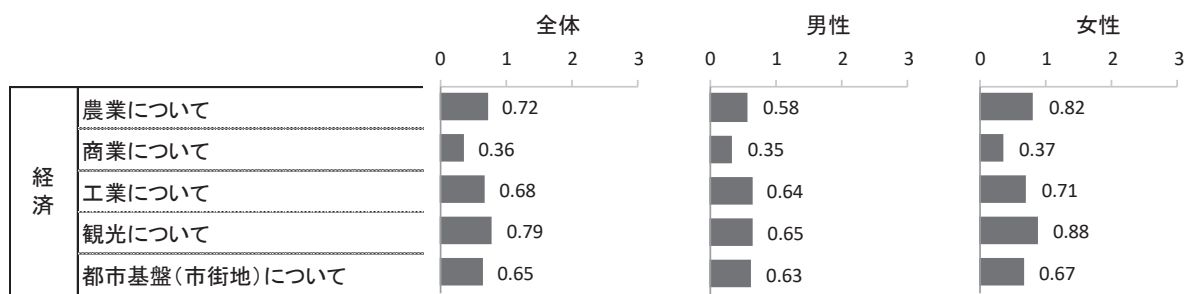
年齢別でみると、すべての年齢で5項目すべてプラスの評価となっています。また、10歳代・60歳代では「工業について」、30歳代・50歳代で「農業について」、40歳代では「都市基盤（市街地）について」、それ以外の年齢では「観光について」が最も高くなっています。一方、10歳代では「都市基盤（市街地）について」、30歳代では「商業について」「都市基盤（市街地）について」、20歳代・40歳代～80歳以上は「商業について」が最も低くなっています。特に、40歳代～80歳以上は他の項目と比べ、「商業について」が極端に低くなっています。

図表 2 0 経済の満足度の割合

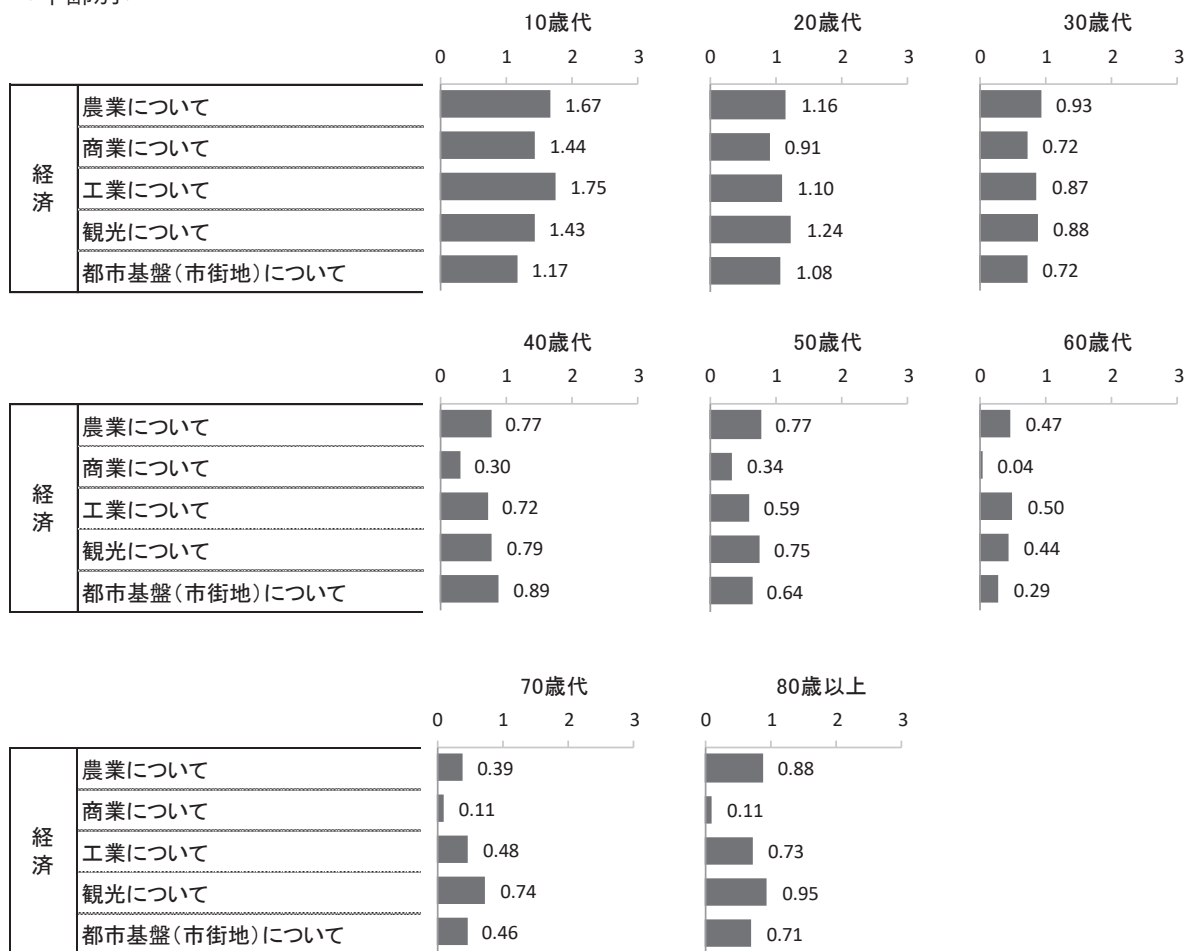


図表 2 1 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



④ きずな

施策項目	主な取り組み
防災・減災について	・ 水害ハザードマップの作成と全戸配布 ・ 消防団及び地域防災組織の防災活動支援 ・ 雨水貯留施設の計画的な整備
地域福祉について	・ 町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・ 日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・ 町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援
障害福祉について	・ 24時間対応の相談体制の整備 ・ 就労支援など自立に向けた支援 ・ グループホームや放課後等デイサービスなど各種サービスの実施や情報提供
社会保障について	・ 生活困窮者の自立支援 ・ 特定健診*7 結果によって行う特定保健指導*8 などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内
生涯学習について	・ 公民館等における各種講座や教室の開催 ・ 図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・ 文化センター、プラネタリウムの整備
文化・芸術について	・ 史跡本證寺境内などの文化財の調査と保護、三河万歳などの伝統文化伝承支援 ・ 文化芸術による心の豊かさの醸成、地元作家の作品展や舞台芸術の発表、情報発信 ・ 歴史博物館で地域の歴史を学ぶことによる郷土愛の育成、歴史資料の保存
参加と協働について	・ 審議会などの市民公募委員の募集 ・ パブリックコメント*9、ワークショップ*10、e モニター*11 の実施による意見募集 ・ 市民交流センターの充実と市民活動への支援
地域自治（コミュニティ）について	・ 町内会及び地域が行う活動への支援 ・ 町内会の管理する集会所施設などの建設・改修補助

*7 特定健診：40歳～74歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策などの案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 e モニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

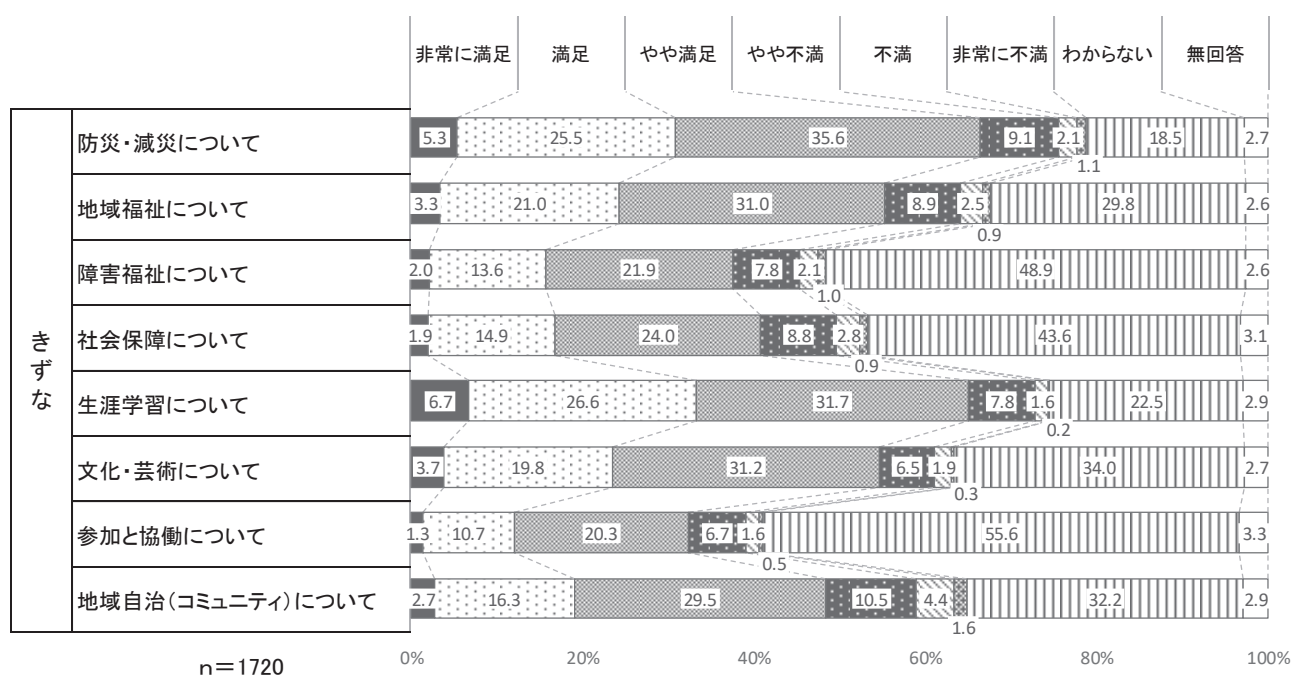
きずな分野について、満足度の割合をみると、「満足」（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「防災・減災について」が 66.4%、「地域福祉について」は 55.3%、「障害福祉について」は 37.5%、「社会保障について」は 40.8%、「生涯学習について」は 65.0%、「文化・芸術について」は 54.7%、「参加と協働について」は 32.3%、「地域自治（コミュニティ）について」は 48.5% となっています。

評価平均得点を全体でみると、8 項目すべてプラス評価となっています。「生涯学習について」（1.25）が最も高く、次いで「文化・芸術について」（1.12）、「防災・減災について」（1.09）の順となっています。

性別でみると、女性はいすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

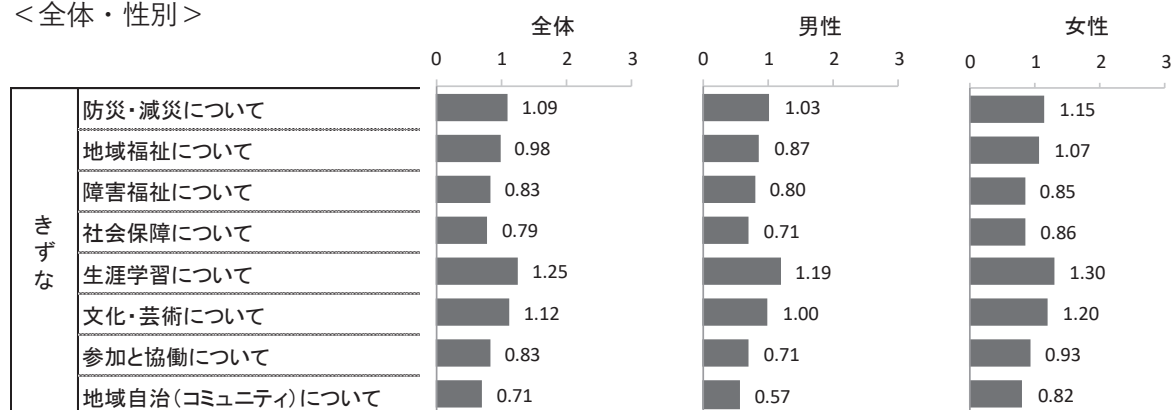
年齢別でみると、40 歳代は「防災・減災について」、70 歳代では「文化・芸術について」、それ以外の年齢では「生涯学習について」が 8 項目のうち最も高くなっています。一方、最も評価が低い項目は、50 歳代では「障害福祉について」、70 歳代では「参加と協働について」、80 歳以上では「社会保障について」、その他の年齢では「地域自治（コミュニティ）について」となっています。

図表 2 2 きずなの満足度の割合

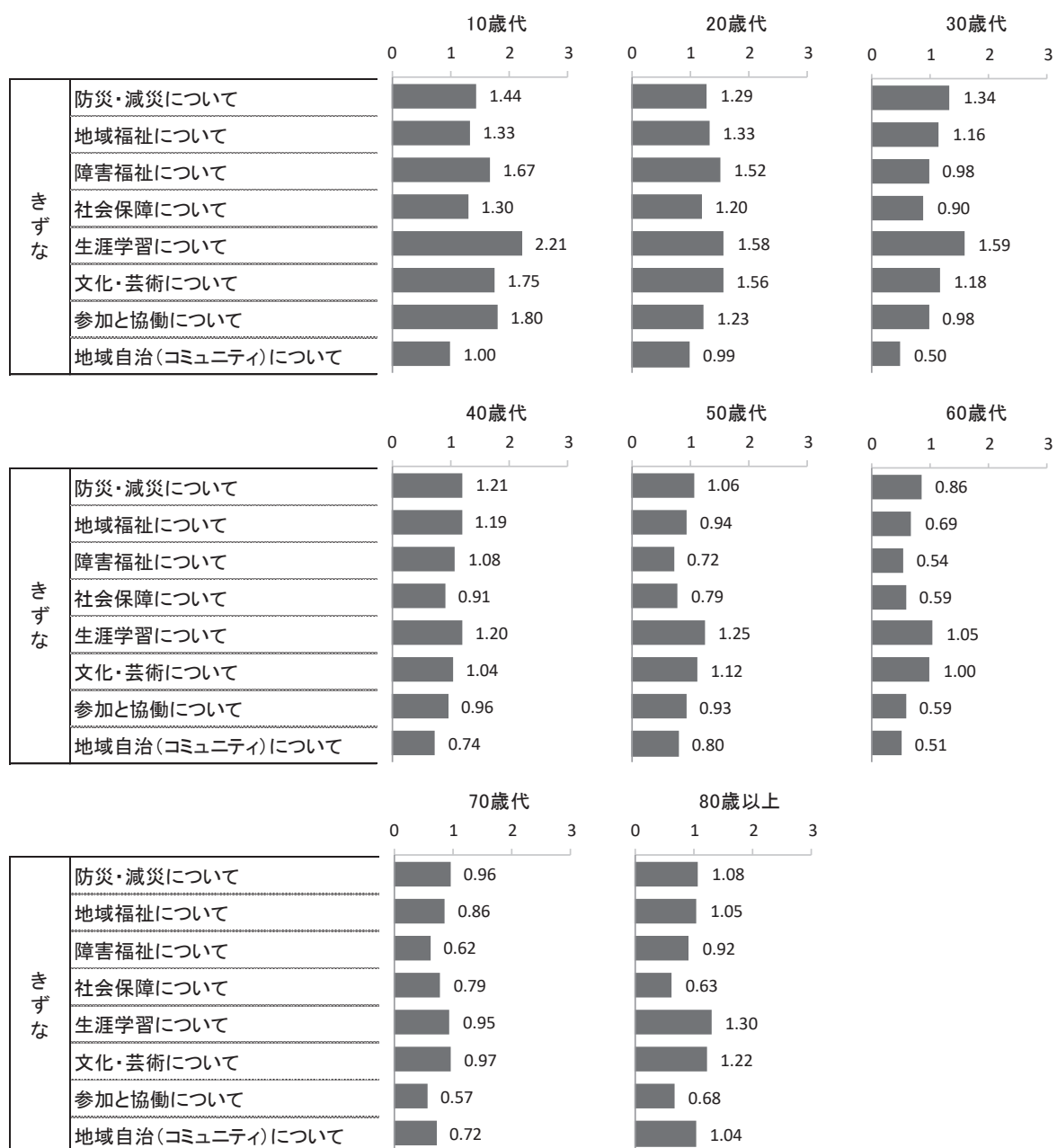


図表 2 3 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑤ こども

施策項目	主な取組み
子育てについて	・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育などの充実 ・使用済紙オムツ回収・処分の実施 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大 ・民間保育園の誘致
ひとり親家庭福祉について	・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員*12による児童相談全般及び母子・父子自立支援員*13による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施
学校教育について	・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用

*12 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

*13 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

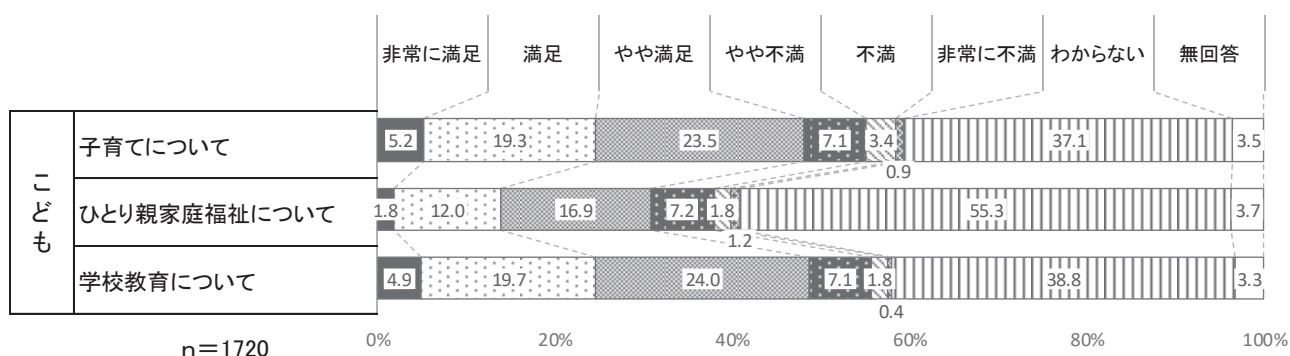
こども分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「子育てについて」が48.0%、「ひとり親家庭福祉について」は30.7%、「学校教育について」は48.6%となっています。

評価平均得点を全体でみると、3項目すべてプラス評価となっています。3項目のうち「学校教育について」（1.14）が最も高くなっています。

性別でみると、男性・女性どちらも「学校教育について」（1.07、1.20）が最も高くなっています。また、女性はすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

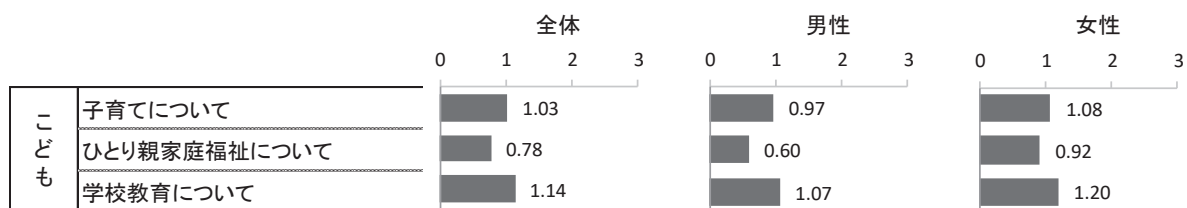
年齢別でみると、10歳代・80歳以上では「子育てについて」が、20歳代～70歳代では「学校教育について」が3項目のうち最も高くなっています。

図表2-4 こどもの満足度の割合

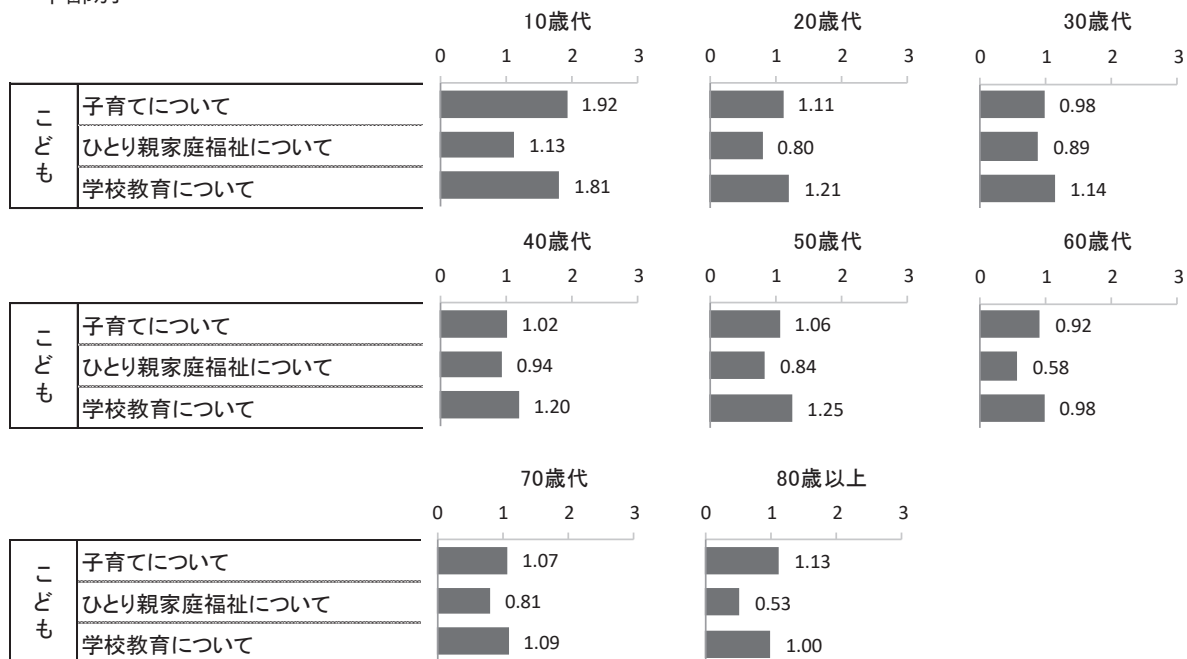


図表 2 5 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑥ 行財政運営

施策項目	主な取組み
行財政運営について	・ キャッシュレス決済の導入など、ＩＣＴ（情報通信技術）の活用 ・ 各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・ 健全財政の堅持

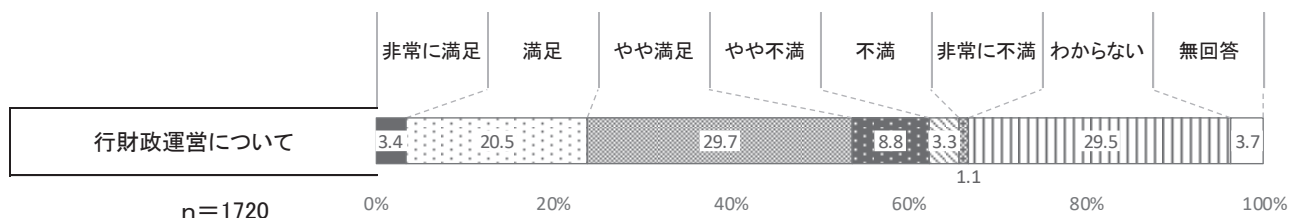
行財政運営分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は53.6%となっています。

評価平均得点を全体でみると、プラスの評価となっています。

性別でみると、女性が男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で最も高くなっています。

図表 2 6 行財政運営の満足度の割合

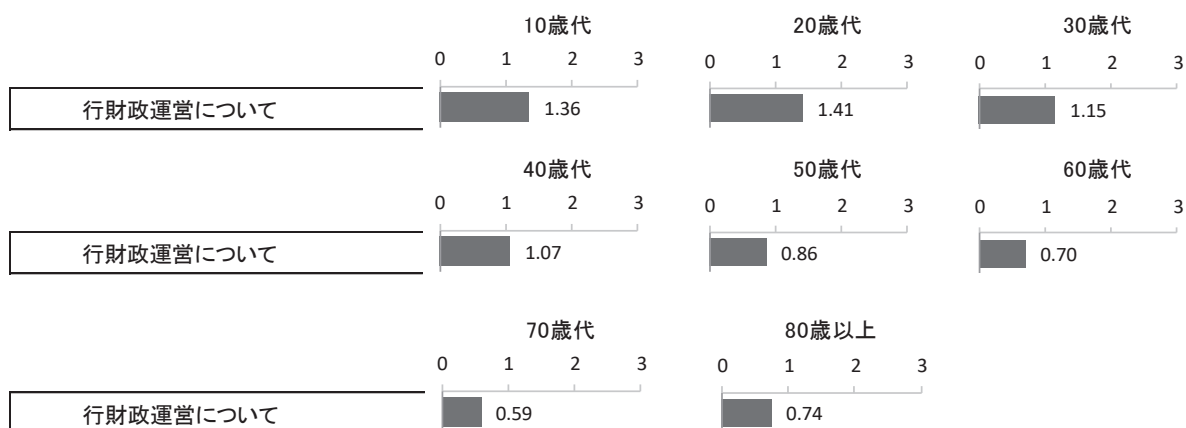


図表 2 7 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>

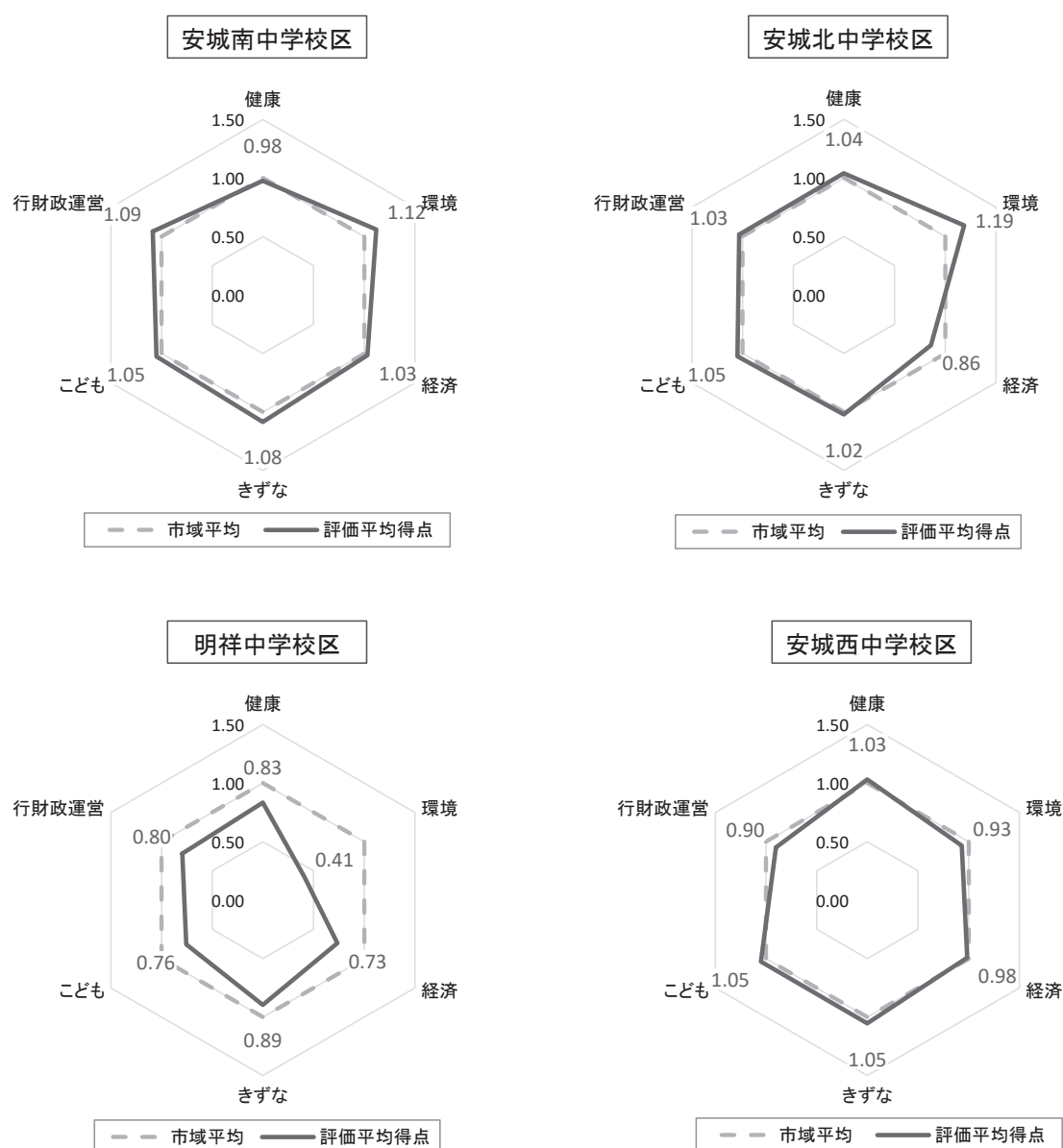


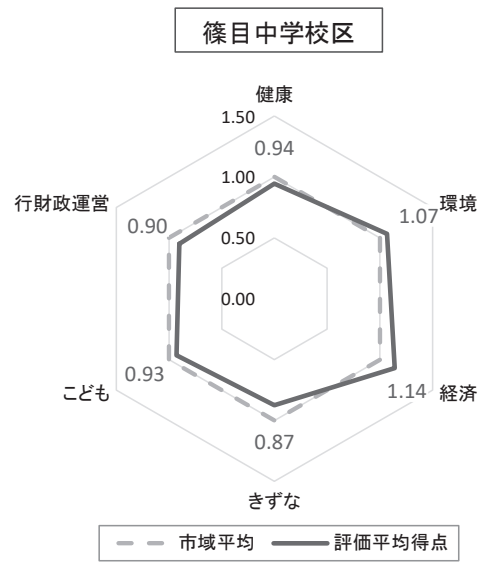
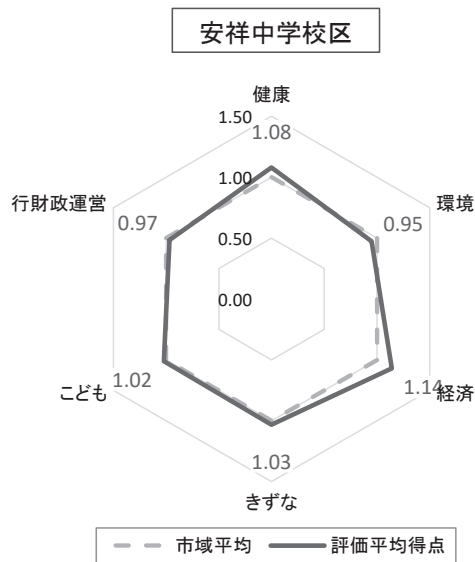
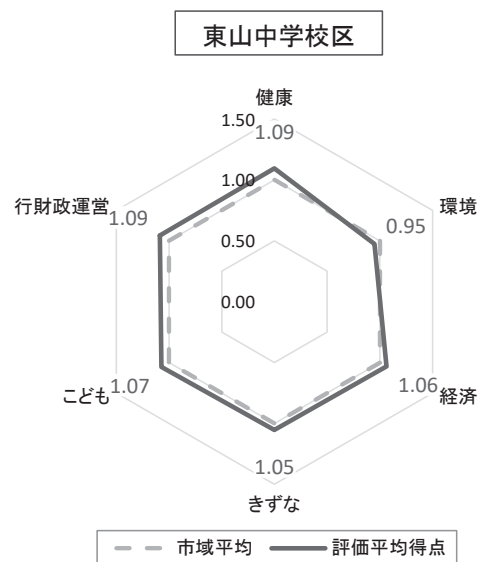
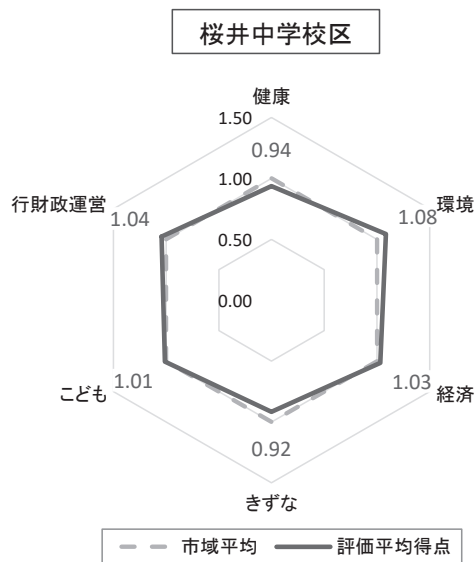
3) 居住地区別評価

居住地区別の満足度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、明祥中学校区ではすべての分野で市域平均よりも満足度が低く、「きずな」を除いたすべての分野で評価平均点が地区別で最も低くなっています。

安城南中学校区では「健康」、安城北中学校区では「経済」、東山中学校区では「環境」の 1 分野で、安祥中学校区では「環境」「行財政運営」、桜井中学校区では「健康」「きずな」の 2 分野で、安城西中学校区では「環境」「経済」「行財政運営」の 3 分野で、篠目中学校区では「健康」「こども」「きずな」「行財政運営」の 4 分野で市域平均よりも低くなっています。

図表 2 8 居住地区ごとの施策分野別満足度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）





	健康	環境	経済	きずな	子ども	行財政運営
市域平均	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
安城南中学校区	0.98	1.12	1.03	1.08	1.05	1.09
安城北中学校区	1.04	1.19	0.86	1.02	1.05	1.03
明祥中学校区	0.83	0.41	0.73	0.89	0.76	0.80
安城西中学校区	1.03	0.93	0.98	1.05	1.05	0.90
桜井中学校区	0.94	1.08	1.03	0.92	1.01	1.04
東山中学校区	1.09	0.95	1.06	1.05	1.07	1.09
安祥中学校区	1.08	0.95	1.14	1.03	1.02	0.97
篠目中学校区	0.94	1.07	1.14	0.87	0.93	0.90

3. 重要度

次の事項（問4～問27）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

イ【重要度】今後、これらに安城市が取り組むことはどれくらい重要とお考えですか。

それぞれ1～7のいずれか1つに○をつけてください。

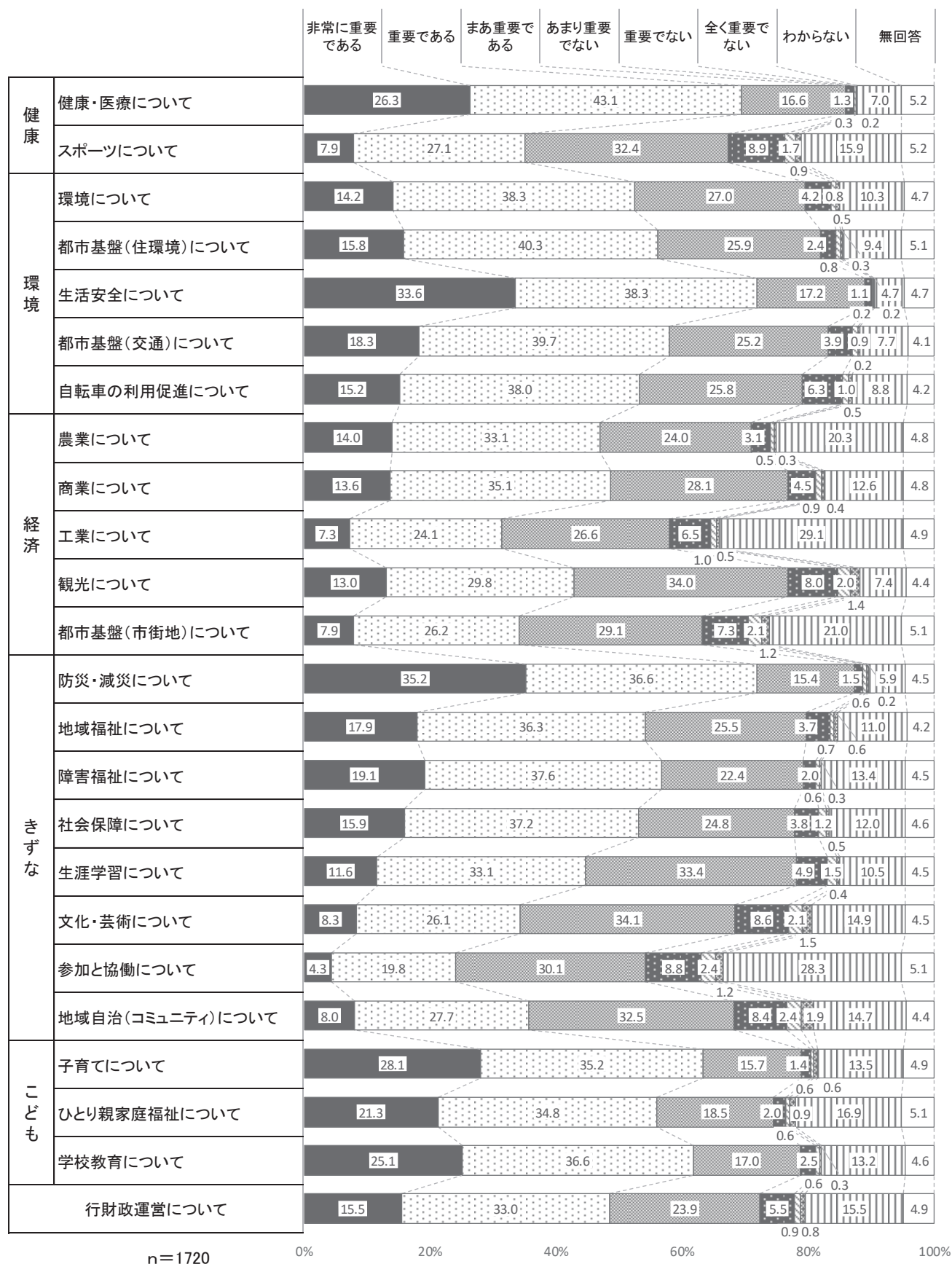
1) 全体評価

<重要度の割合>

項目別に重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）が最も高い項目は「生活安全について」（89.1％）となっています。次いで、「防災・減災について」（87.2％）、「健康・医療について」（86.0％）の順となっています。

一方、“重要でない”（「全く重要でない」＋「重要でない」＋「あまり重要でない」）が最も高い項目は、「地域自治（コミュニティ）について」（12.7％）であり、次いで「参加と協働について」（12.4％）、「文化・芸術について」（12.2％）となっています。

図表 2 9 安城市の取組みの重要度の割合



＜評価平均得点＞

安城市の今後の取組みにおける重要度の評価平均得点の平均値は、1.62 となっています。

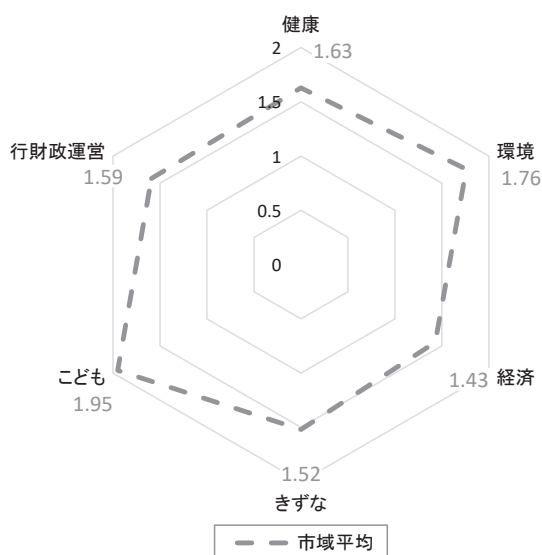
分野別でみると、「こども」が1.95 で最も高くなっています。

項目別にみると、「防災・減災について」(2.13)が最も高く、次いで「生活安全について」(2.12)、「健康・医療について」(2.04) となっています。

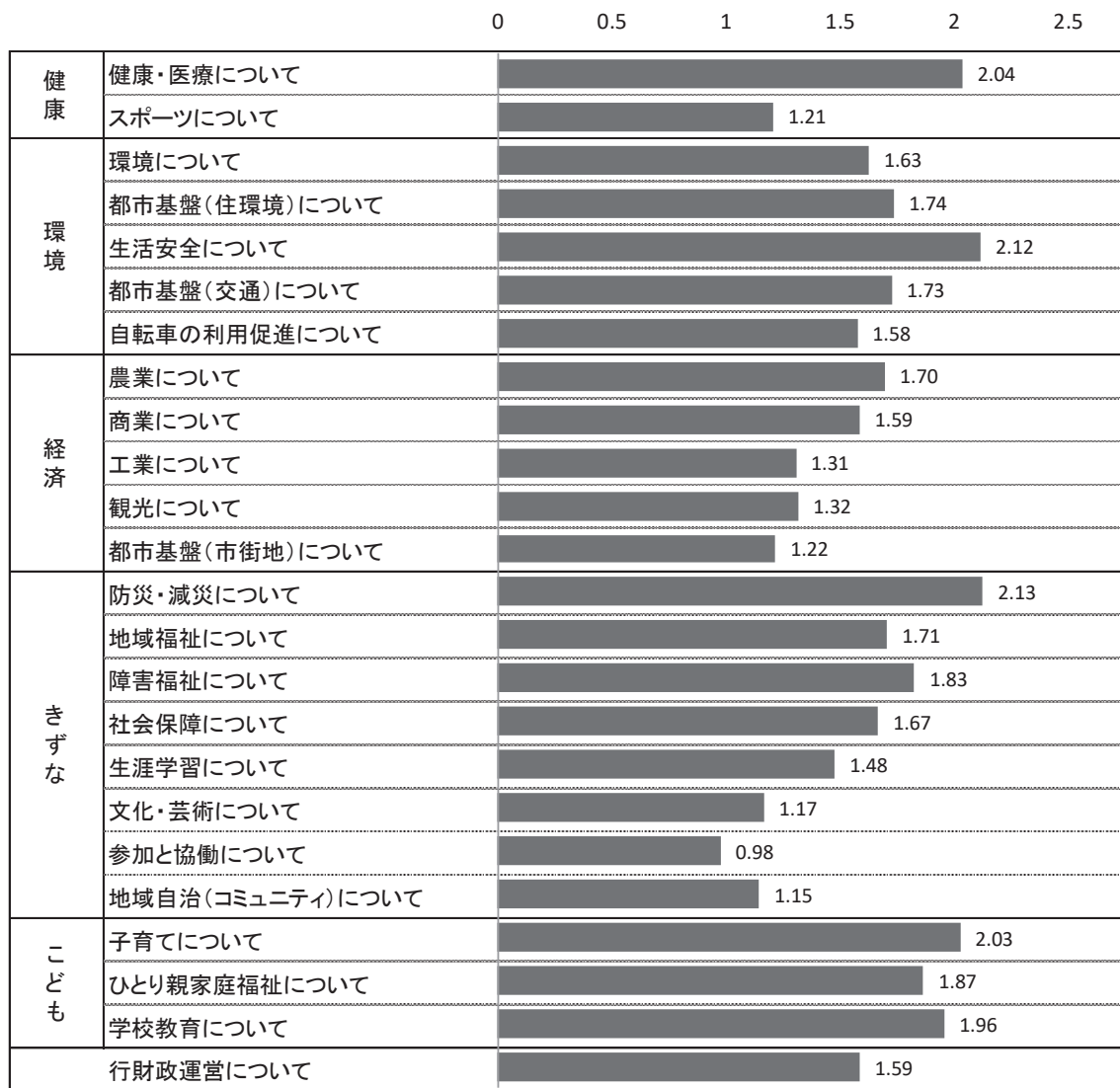
一方、重要度の低い項目は「参加と協働について」(0.98)、「地域自治（コミュニティ）について」(1.15)、「文化・芸術について」(1.17) となっています。

図表 3 0 分野別重要度評価平均得点

	全体平均	健康	環境	経済	きずな	こども	行財政運営
重要度評価平均 得点	1.62	1.63	1.76	1.43	1.52	1.95	1.59



図表 3 1 項目別重要度評価平均得点



2) 分野別評価

① 健康

施策項目	主な取組み
健康・医療について	- 健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施 - 健康イベント（あんじょう健康大学など）の開催 - 休日夜間急病診療所の運営 - あんじょう健康マイレージ（アプリ版含む）事業の実施
スポーツについて	- 体育館、ソフトボール場など、スポーツ施設の管理運営及び施設改修 - 安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催 - 全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）、日本女子ソフトボールリーグ、バスケットボール女子日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催

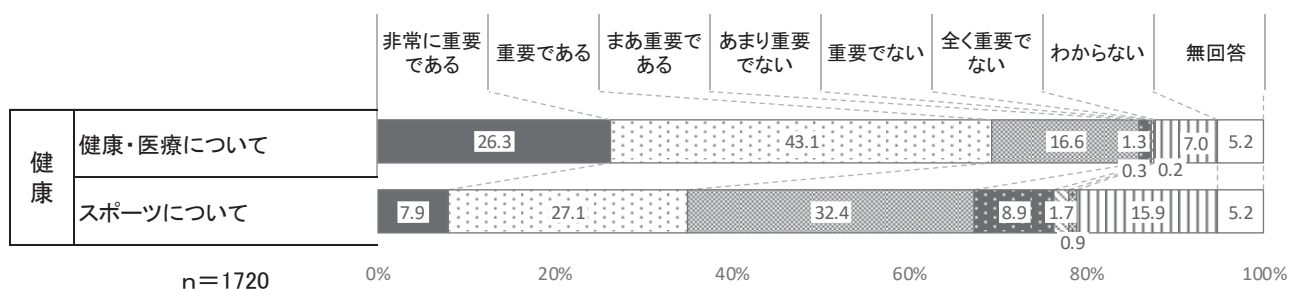
健康分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「健康・医療について」が86.0%、「スポーツについて」は67.4%となっています。

評価平均得点を全体でみると、2項目ともにプラス評価となっており、特に「健康・医療について」は2.04と高い値となっています。

性別でみると、「健康・医療について」は男性より女性が、「スポーツについて」は女性より男性がそれぞれ高くなっています。

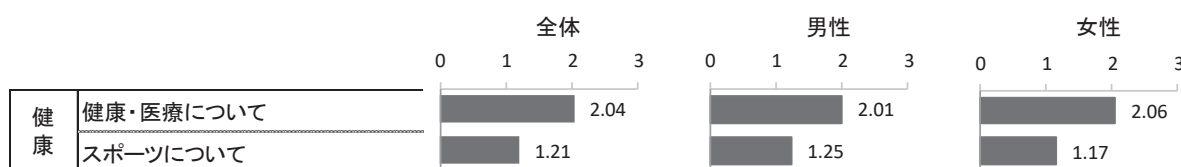
年齢別でみると、すべての年齢で「健康医療について」が「スポーツについて」より高く、10歳代～50歳代は「健康・医療について」は2.00以上と高い値になっています。

図表 3 2 健康の重要度の割合

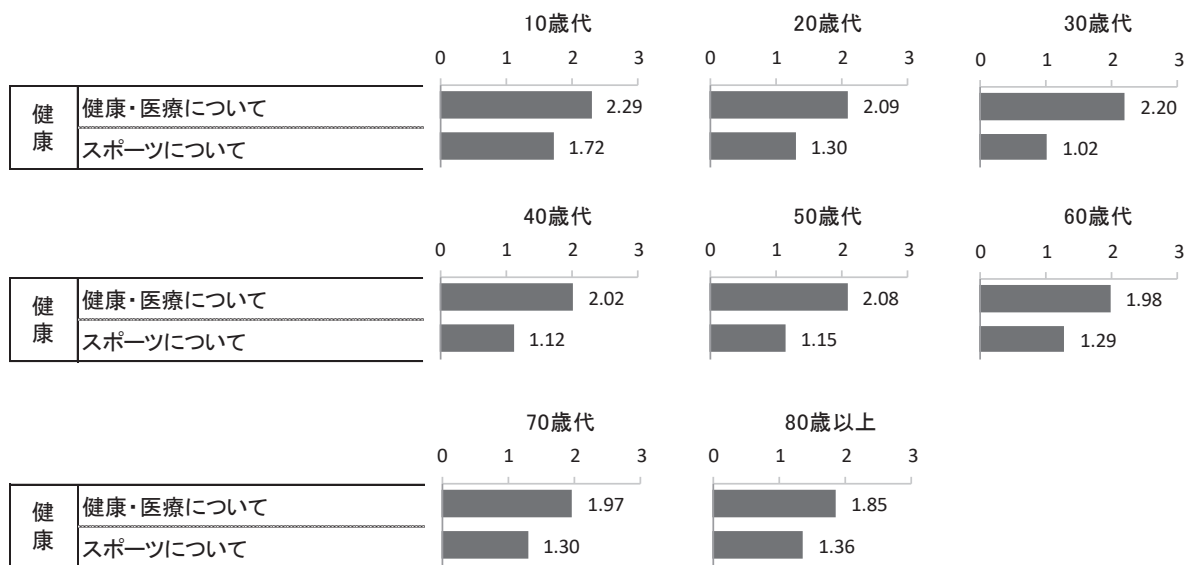


図表 3 3 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



② 環境

施策項目	主な取組み
環境について	・スマートハウス関連機器*1の設置補助 ・次世代自動車*2の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取り組み
都市基盤（住環境）について	・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・多世代で居住するための住宅の取得等の支援
生活安全について	・地域や学校などでの防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動
都市基盤（交通）について	・あんくるバスの運行の充実（ダイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）
自転車の利用促進について	・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・TS マーク*3取得補助 ・自転車啓発イベント（自転車教室等）の実施 ・自転車のマナー・ルール of 啓発活動

*1 スマートハウス関連機器：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

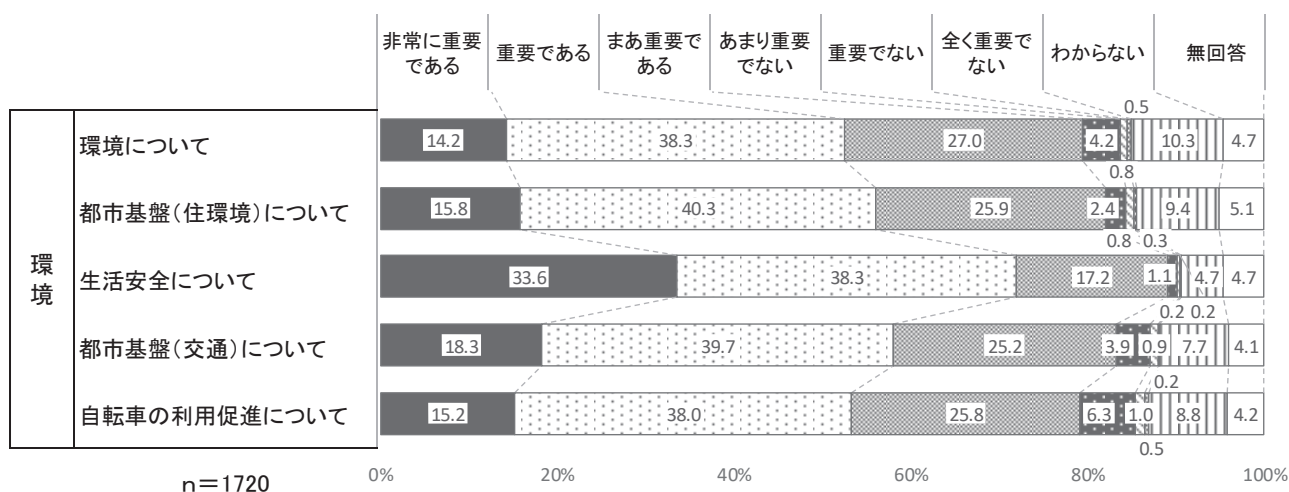
環境分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「環境について」が79.5%、「都市基盤（住環境）について」は82.0%、「生活安全について」は89.1%、「都市基盤（交通）について」は83.2%、「自転車の利用促進について」は79.0%となっています。

評価平均得点を全体でみると、5項目ともプラス評価となっており、特に「生活安全について」は2.12と全24項目の中でも2番目に高くなっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

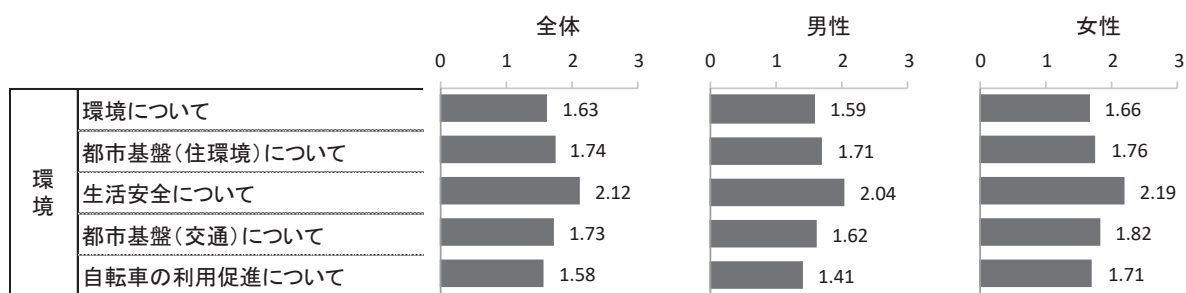
年齢別でみると、すべての年齢において「生活安全について」が最も高くなっており、特に10歳代～40歳代で「生活安全について」は2.20以上の高い値になっています。

図表 3 4 環境の重要度の割合

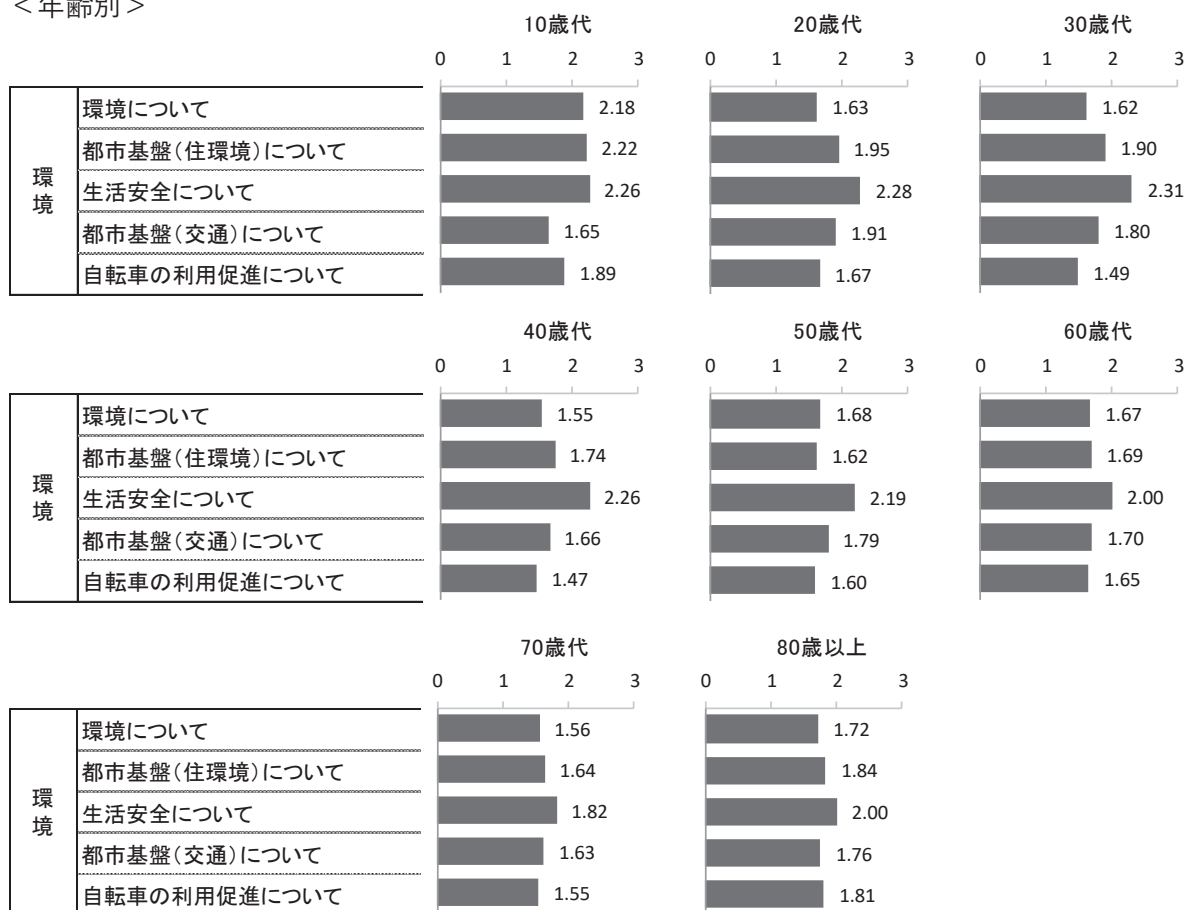


図表 3 5 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



③ 経済

施策項目	主な取組み
農業について	・農地の流動化*4、担い手*5の育成 ・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進
商業について	・商業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・プレミアム商品券事業などの経済対策
工業について	・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、創業支援の推進 ・ものづくりセミナーの実施 ・企業立地推進計画の策定
観光について	・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信
都市基盤（市街地）について	・南明治地区土地地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地地区画整理事業の実施

*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

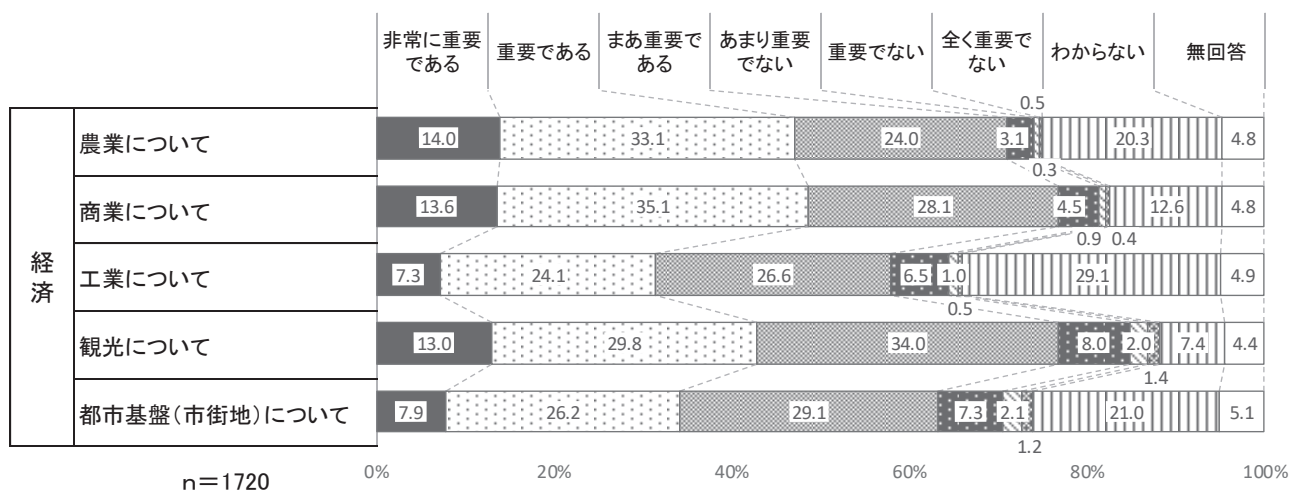
経済分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「農業について」が71.1%、「商業について」は76.8%、「工業について」は58.0%、「観光について」は76.8%、「都市基盤（市街地）について」63.2%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「農業について」が1.70と最も高くなっています。

性別でみると、「農業について」「観光について」以外の項目で男性が女性よりも高くなっています。

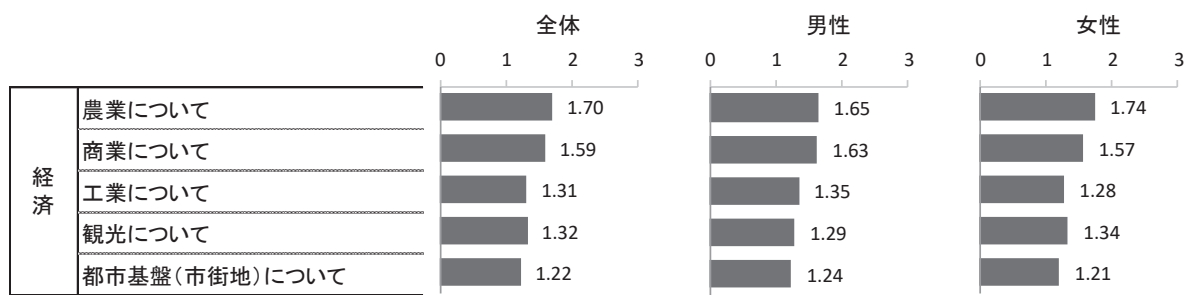
年齢別でみると、20歳代・30歳代では「商業について」、その他の年齢ではいずれも「農業について」が最も高くなっています。

図表 3 6 経済の重要度の割合

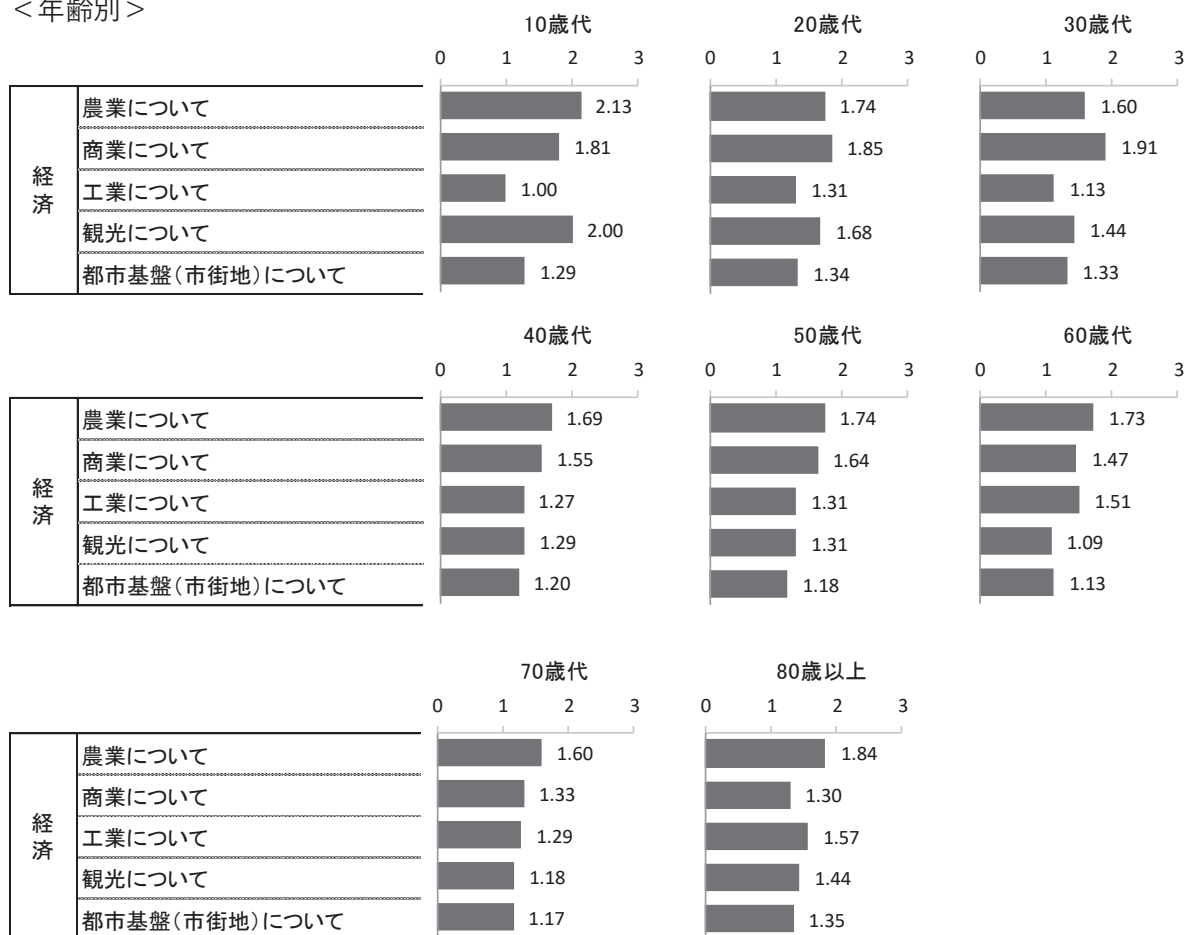


図表 3 7 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



④ きずな

施策項目	主な取組み
防災・減災について	・ 水害ハザードマップの作成と全戸配布 ・ 消防団及び地域防災組織の防災活動支援 ・ 雨水貯留施設の計画的な整備
地域福祉について	・ 町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・ 日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・ 町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援
障害福祉について	・ 24時間対応の相談体制の整備 ・ 就労支援など自立に向けた支援 ・ グループホームや放課後等デイサービスなど各種サービスの実施や情報提供
社会保障について	・ 生活困窮者の自立支援 ・ 特定健診*7 結果によって行う特定保健指導*8 などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内
生涯学習について	・ 公民館等における各種講座や教室の開催 ・ 図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・ 文化センター、プラネタリウムの整備
文化・芸術について	・ 史跡本證寺境内などの文化財の調査と保護、三河万歳などの伝統文化伝承支援 ・ 文化芸術による心の豊かさの醸成、地元作家の作品展や舞台芸術の発表、情報発信 ・ 歴史博物館で地域の歴史を学ぶことによる郷土愛の育成、歴史資料の保存
参加と協働について	・ 審議会などの市民公募委員の募集 ・ パブリックコメント*9、ワークショップ*10、e モニター*11 の実施による意見募集 ・ 市民交流センターの充実と市民活動への支援
地域自治（コミュニティ）について	・ 町内会及び地域が行う活動への支援 ・ 町内会の管理する集会所施設などの建設・改修補助

*7 特定健診：40歳～74歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策などの案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 e モニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

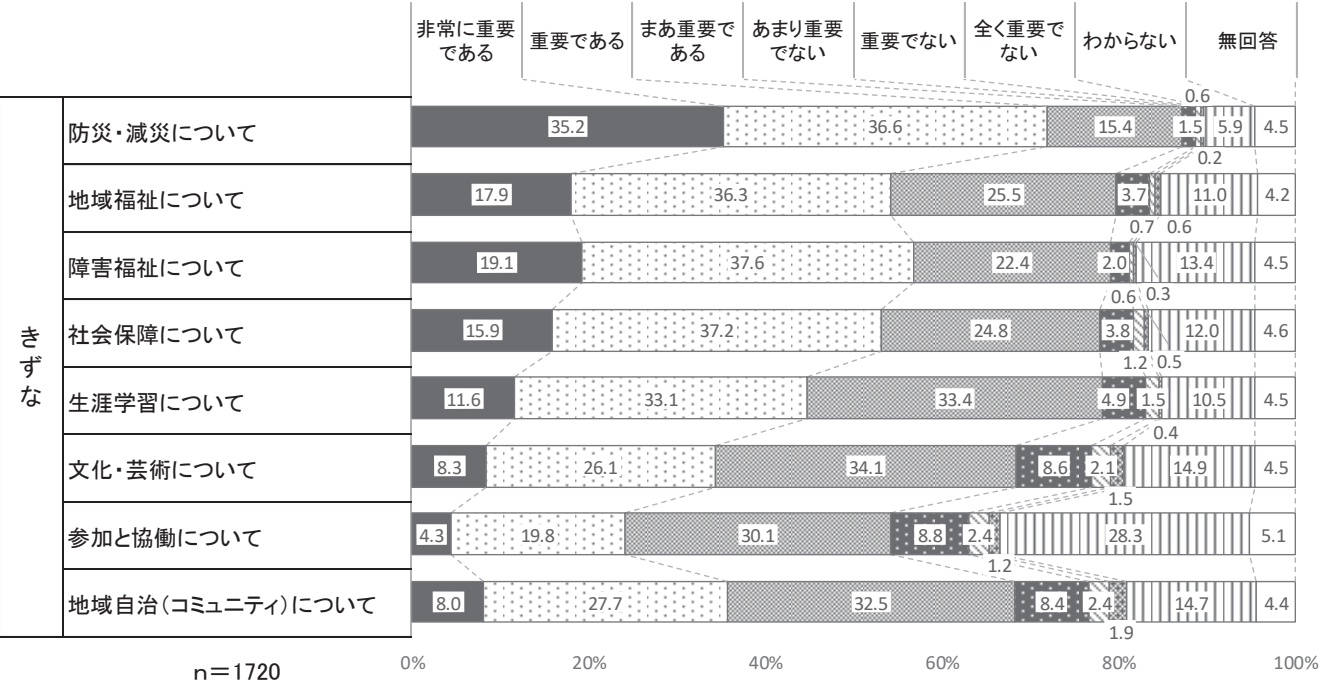
きずな分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「防災・減災について」が 87.2%、「地域福祉について」は 79.7%、「障害福祉について」は 79.1%、「社会保障について」は 77.9%、「生涯学習について」は 78.1%、「文化・芸術について」は 68.5%、「参加と協働について」は 54.2%、「地域自治（コミュニティ）について」は 68.2%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「防災・減災について」が 2.13 と最も高くなっており、次いで「障害福祉について」（1.83）となっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

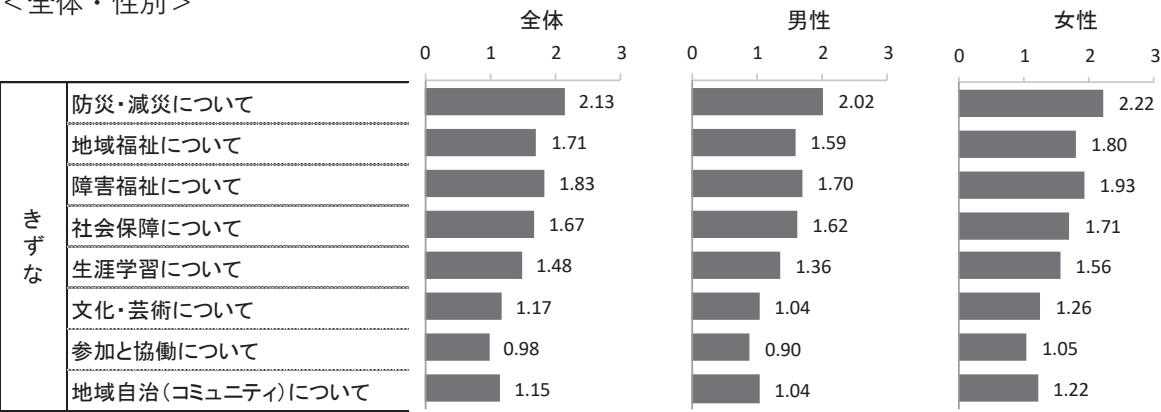
年齢別でみると、すべての年齢で「防災・減災について」が最も高くなっており、70歳代以外の年齢で 2.00 以上の高い値になっています。次いで、すべての年齢で「障害福祉について」が高くなっています。

図表 3 8 きずなの重要度の割合

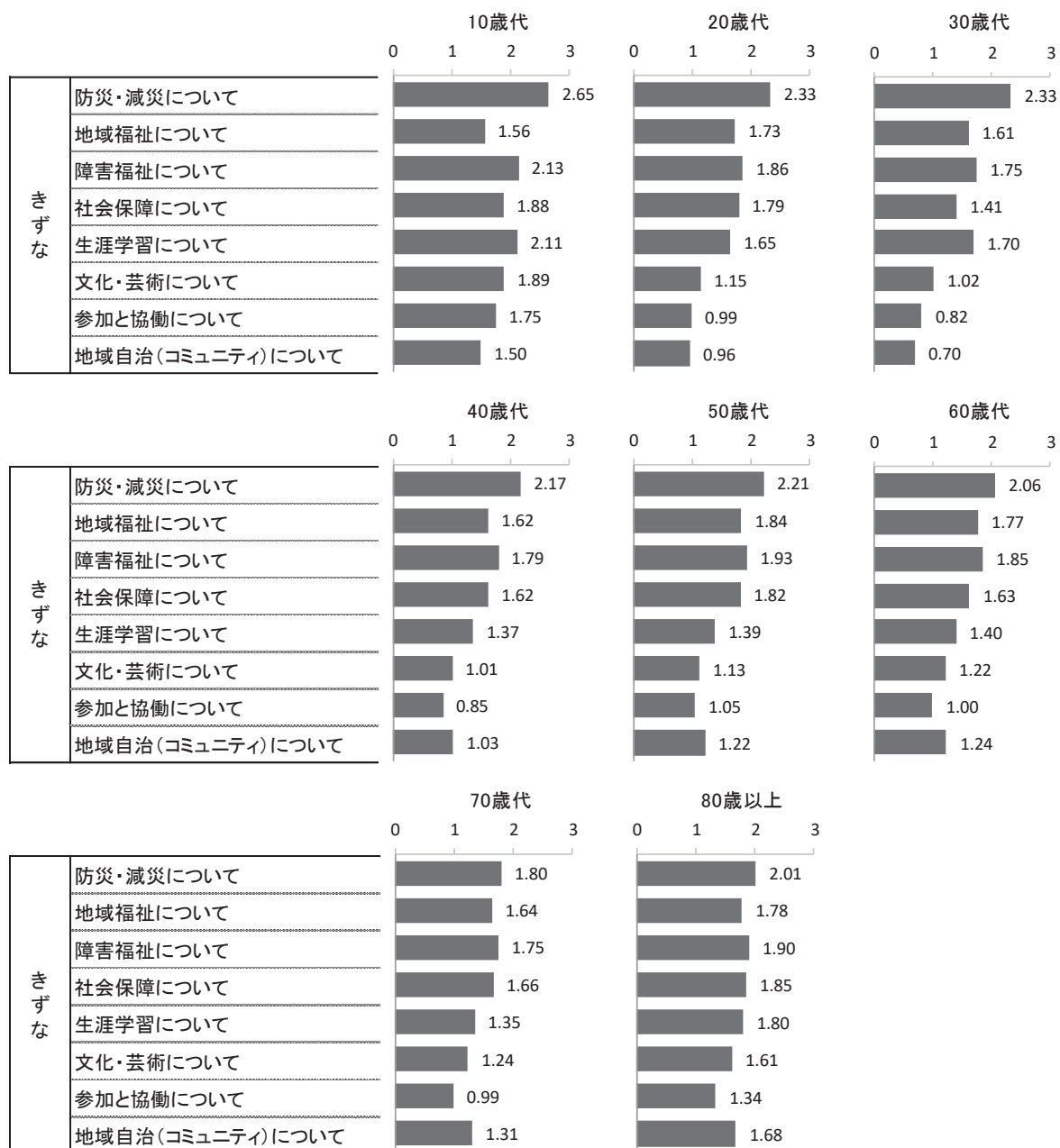


図表 3 9 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



< 年齢別 >



⑤ こども

施策項目	主な取組み
子育てについて	・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育などの充実 ・使用済紙オムツ回収・処分の実施 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大 ・民間保育園の誘致
ひとり親家庭福祉について	・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員*12による児童相談全般及び母子・父子自立支援員*13による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施
学校教育について	・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用

*12 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

*13 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

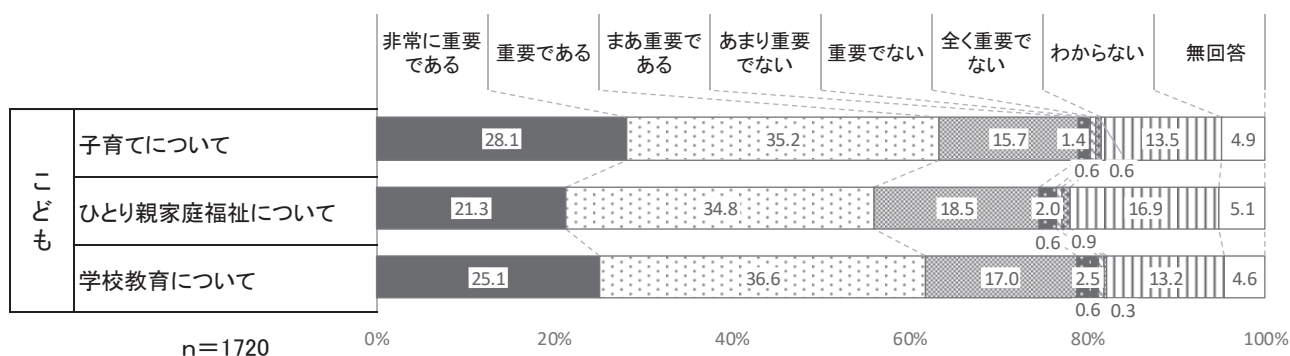
こども分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「子育てについて」が79.0%、「ひとり親家庭福祉について」は74.6%、「学校教育について」は78.7%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「子育てについて」（2.03）が最も高く、次いで「学校教育について」（1.96）、「ひとり親家庭福祉について」（1.87）の順となっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

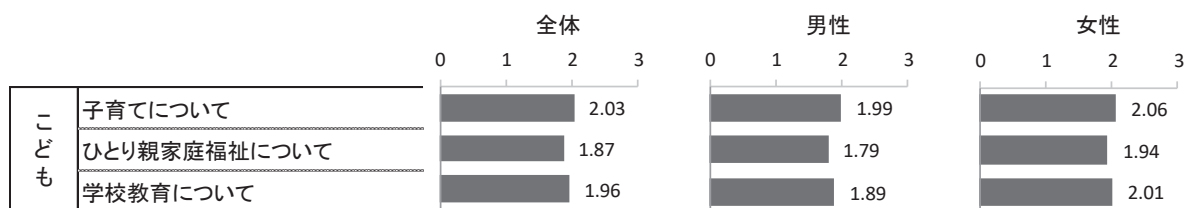
年齢別でみると、40歳代・70歳代以外の年齢では「子育てについて」が最も高くなっており、特に20歳代・30歳代で「子育てについて」が2.20以上と高い値になっています。40歳代・70歳代は「学校教育について」が最も高くなっています。

図表40 こどもの重要度の割合

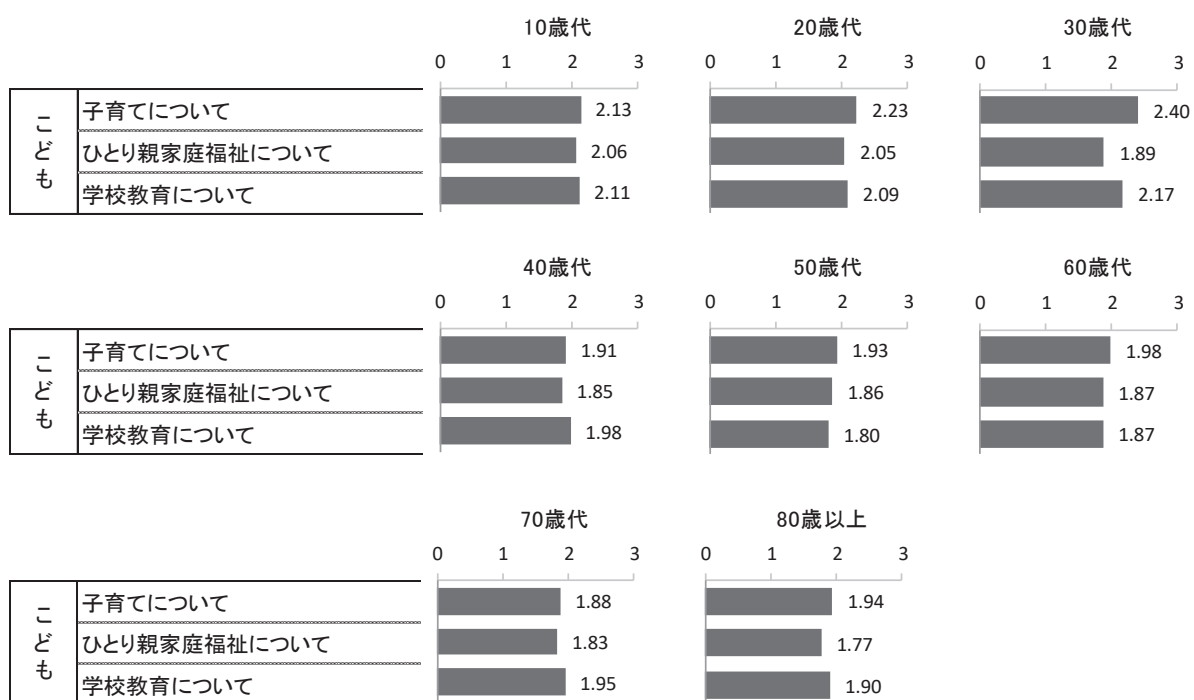


図表 4 1 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



<年齢別>



⑥ 行財政運営

施策項目	主な取組み
行財政運営について	・キャッシュレス決済の導入など、ＩＣＴ（情報通信技術）の活用 ・各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・健全財政の堅持

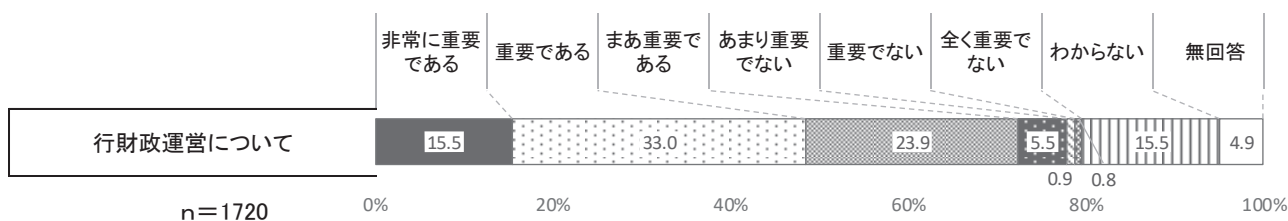
行財政運営分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は72.4%となっています。

評価平均得点を全体でみると、1.59 となっています。

性別でみると、女性が男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、20歳代で最も高くなっています。

図表 4 2 行財政運営の重要度の割合

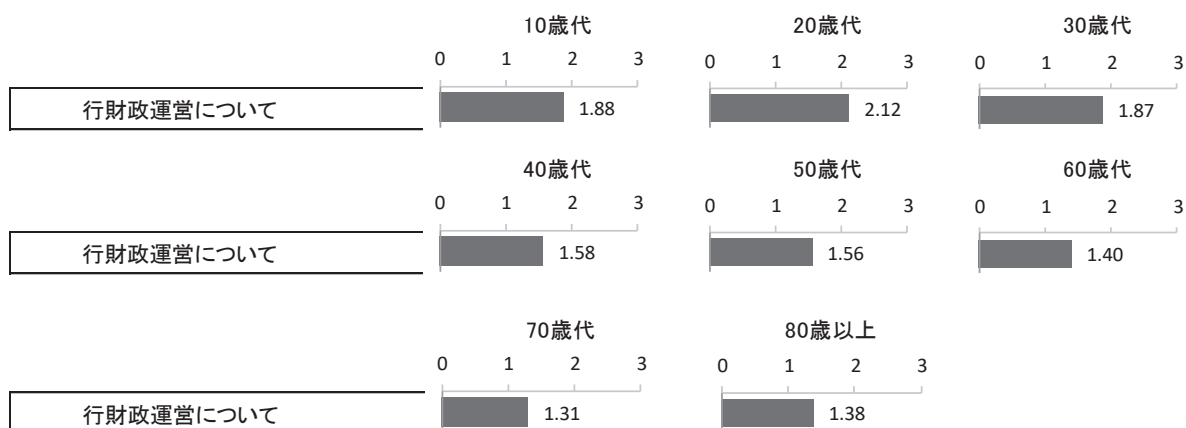


図表 4 3 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体・性別>



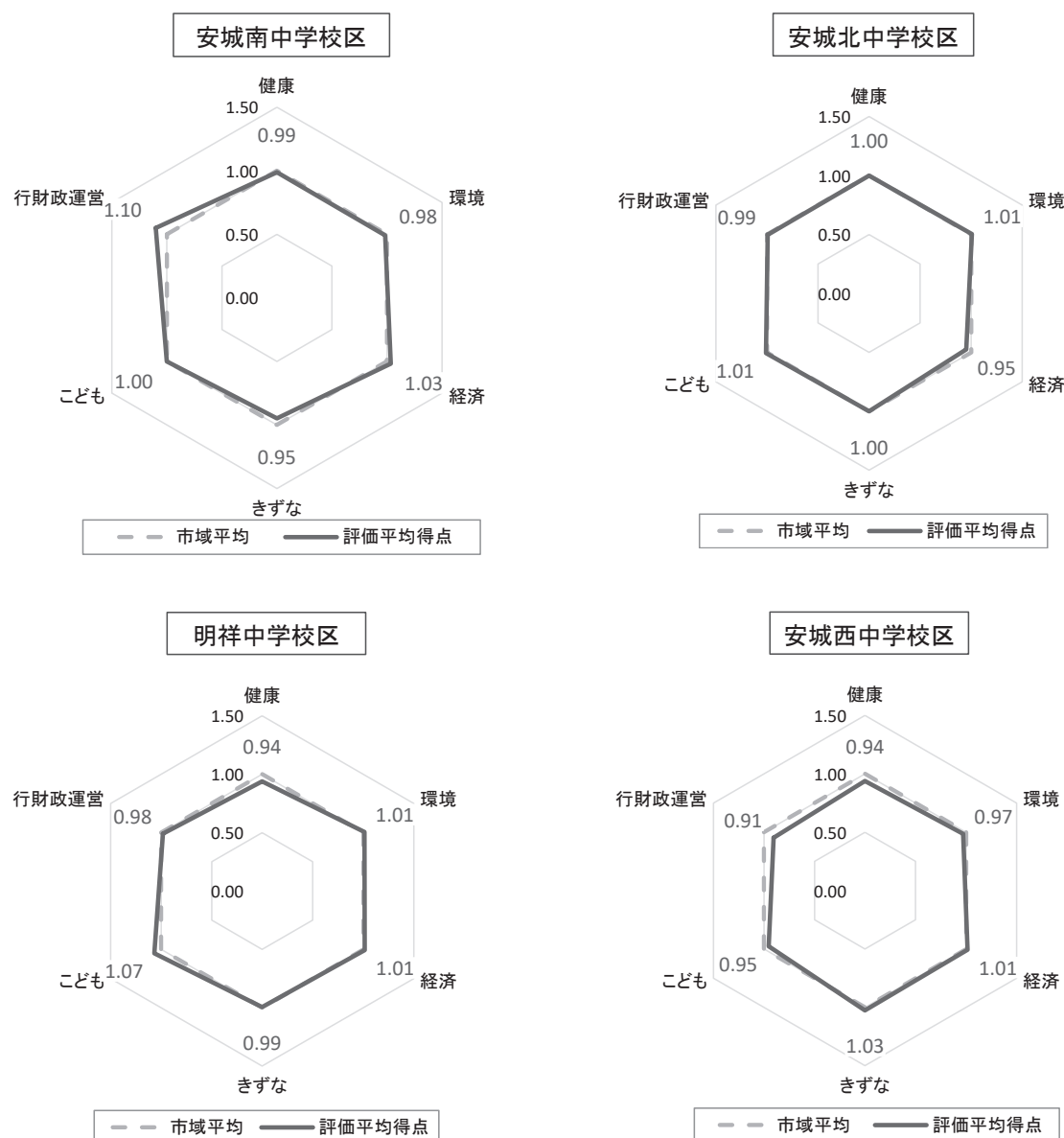
<年齢別>

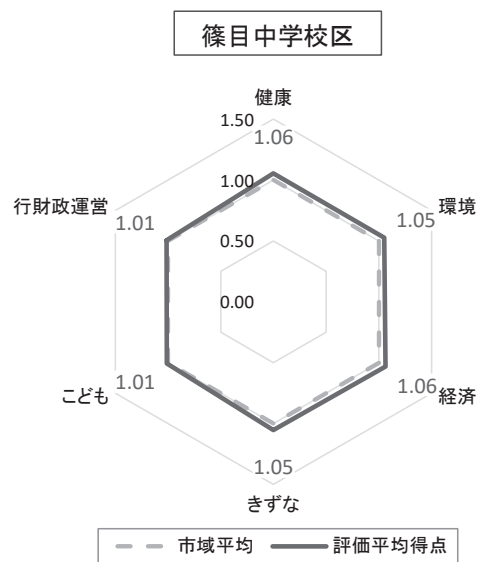
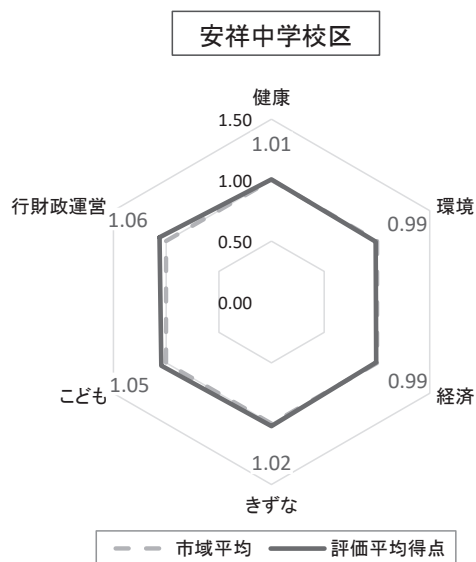
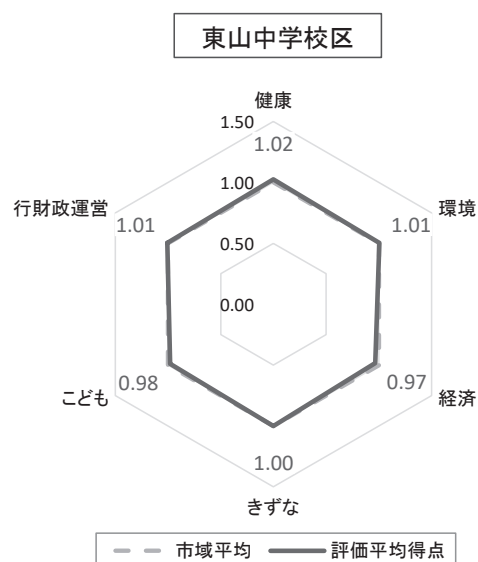
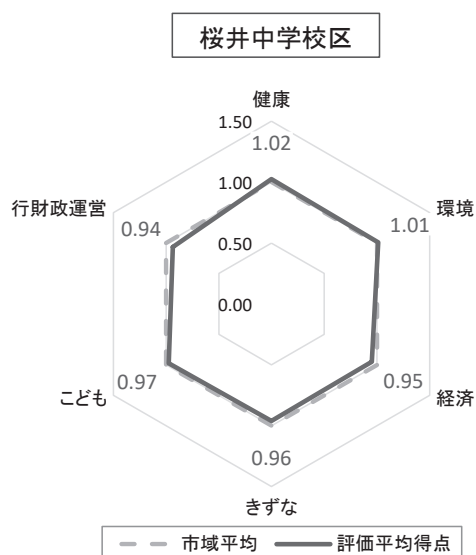


3) 居住地区別評価

居住地区別の重要度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、篠目中学校区は全分野で市域平均よりも重要度が高くなっています。安城南中学校区では「行財政運営」「経済」、安城北中学校区では「環境」「こども」、安城西中学校区では「経済」「きずな」、桜井中学校区では「健康」「環境」の2分野で、明祥中学校区では「環境」「経済」「こども」、東山中学校区では「健康」「環境」「行財政運営」の3分野で、安祥中学校区では「健康」「きずな」「こども」「行財政運営」の4分野で市域平均よりも高くなっています。

図表 4 4 居住地区ごとの施策分野別重要度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）





	健康	環境	経済	きずな	子ども	行財政運営
市域平均	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
安城南中学校区	0.99	0.98	1.03	0.95	1.00	1.10
安城北中学校区	1.00	1.01	0.95	1.00	1.01	0.99
明祥中学校区	0.94	1.01	1.01	0.99	1.07	0.98
安城西中学校区	0.94	0.97	1.01	1.03	0.95	0.91
桜井中学校区	1.02	1.01	0.95	0.96	0.97	0.94
東山中学校区	1.02	1.01	0.97	1.00	0.98	1.01
安祥中学校区	1.01	0.99	0.99	1.02	1.05	1.06
篠目中学校区	1.06	1.05	1.06	1.05	1.01	1.01

4. 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布

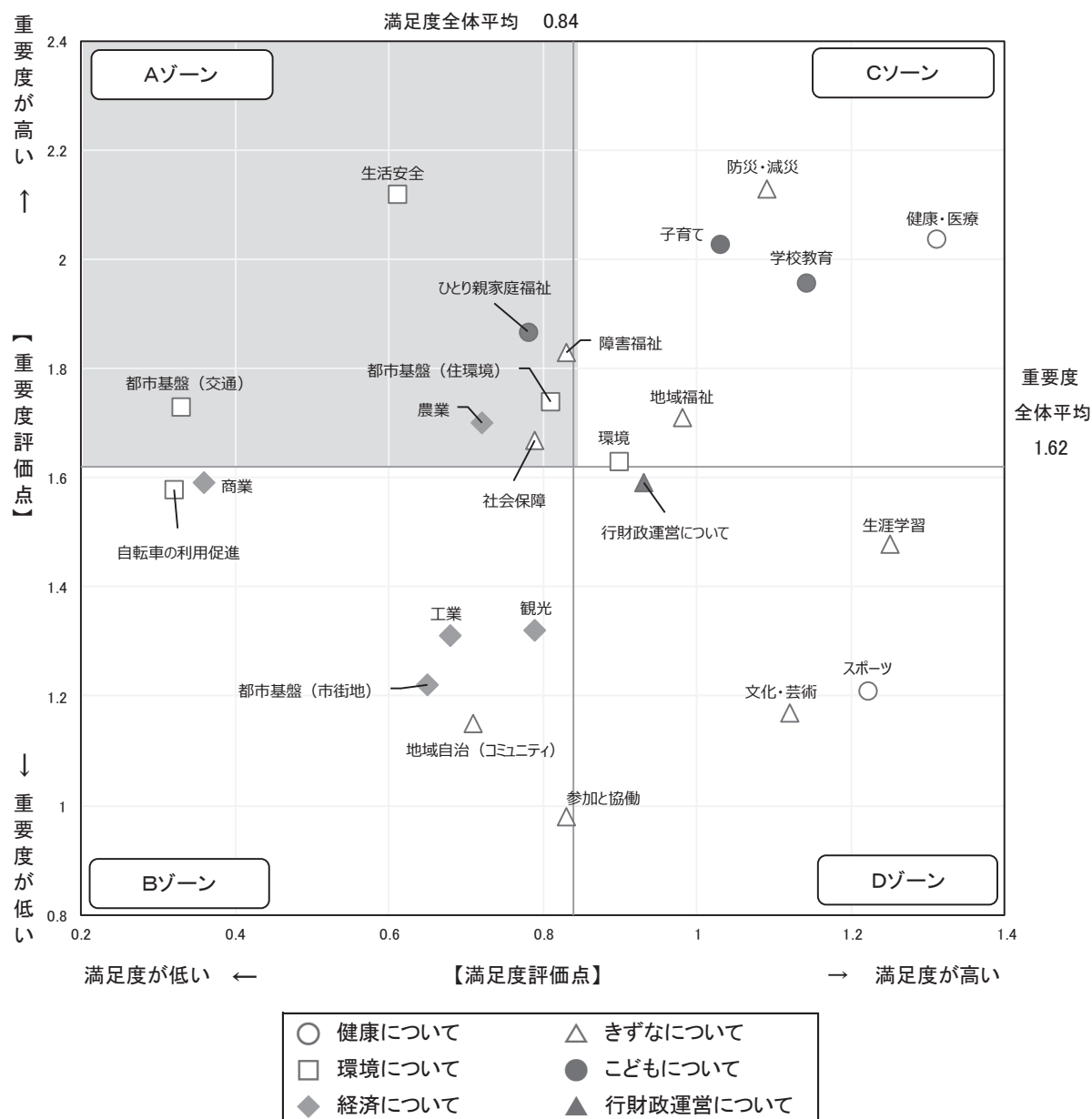
満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって、6分野24項目の満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係を分布図にしたものが次ページの図です。

満足度評価の平均得点は、0.32 から 1.31 の範囲にあり、平均値 0.84 です。また、重要度評価の平均得点は、0.98 から 2.13 の範囲にあり、平均値は 1.62 です。

網掛けの部分の「A ゾーン」に位置する施策項目は、《施策の必要性が十分認識され、かつ今後の取組みのさらなる推進や改善に対する市民のニーズ（期待）が高い施策項目》を示しています。

今回の調査では、今後、優先的に取り組むべき施策項目として、「生活安全について」「都市基盤（交通）について」「都市基盤（住環境）について」「ひとり親家庭福祉について」「障害福祉について」「農業について」「社会保障について」の7項目が該当しています。

図表 4-5 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布



【A ゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より高い	グラフ左上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識されているものの、取組みに対する満足度が低く、市民が最も充実を求めていると考えられます。そのため従来の取組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要があります。
【B ゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より低い	グラフ左下に位置する取組みは、施策の必要性の認識が低く、取組みに対する満足度も低いと考えられます。そのため施策の重要性に対する理解を高めるとともに取組みの見直しや方向性などを十分検討し、満足度を上げていく必要があります。
【C ゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より高い	グラフ右上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識され、その取組みにも満足されていると考えられます。今後も現在の水準を維持するため、着実な取組みが求められます。
【D ゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より低い	グラフ右下に位置する取組みは、施策の必要性の認識は低く、取組みには満足されていると考えられるため、今後も現状どおりの着実な取組みが求められます。

図表 4 6 満足度と重要度の評価平均得点

分類	項目	満足度評価点	重要度評価点
健康	健康・医療について	1.31	2.04
	スポーツについて	1.22	1.21
環境	環境について	0.90	1.63
	都市基盤(住環境)について	0.81	1.74
	生活安全について	0.61	2.12
	都市基盤(交通)について	0.33	1.73
	自転車の利用促進について	0.32	1.58
経済	農業について	0.72	1.70
	商業について	0.36	1.59
	工業について	0.68	1.31
	観光について	0.79	1.32
	都市基盤(市街地)について	0.65	1.22
きずな	防災・減災について	1.09	2.13
	地域福祉について	0.98	1.71
	障害福祉について	0.83	1.83
	社会保障について	0.79	1.67
	生涯学習について	1.25	1.48
	文化・芸術について	1.12	1.17
	参加と協働について	0.83	0.98
	地域自治(コミュニティ)について	0.71	1.15
こども	子育てについて	1.03	2.03
	ひとり親家庭福祉について	0.78	1.87
	学校教育について	1.14	1.96
	行財政運営について	0.93	1.59

3 日常生活について

1. 健康状態について

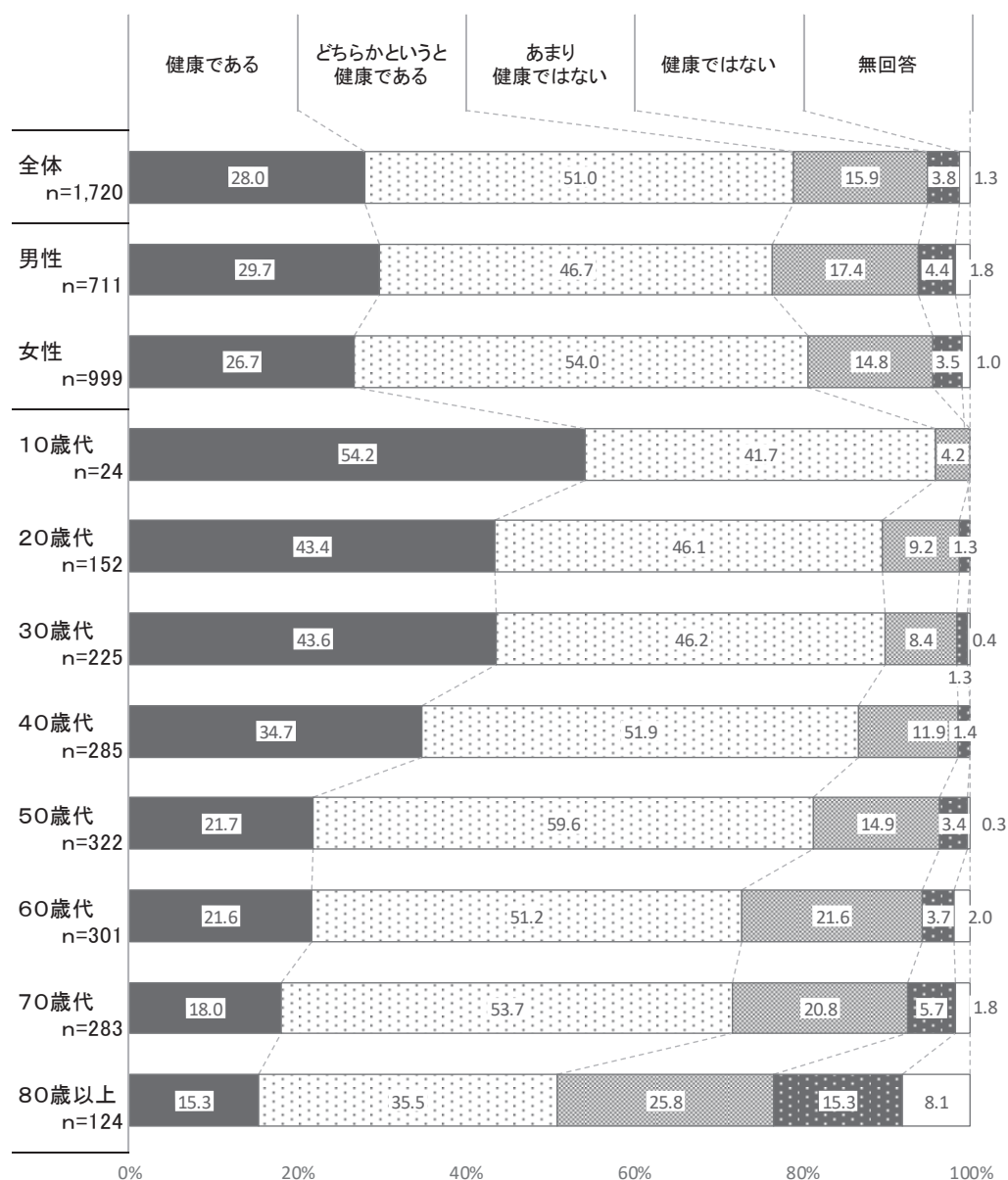
問28 ご自身は健康であると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

自身の健康状態について、全体でみると、「健康である」(28.0%)と「どちらかという健康である」(51.0%)をあわせた“健康である”が79.0%、「あまり健康でない」(15.9%)と「健康ではない」(3.8%)をあわせた“健康ではない”は19.7%となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、“健康ではない”人の割合が高くなる傾向にあります。

図表47 自身の健康状態（全体・性・年齢別）



2. 食生活の問題点

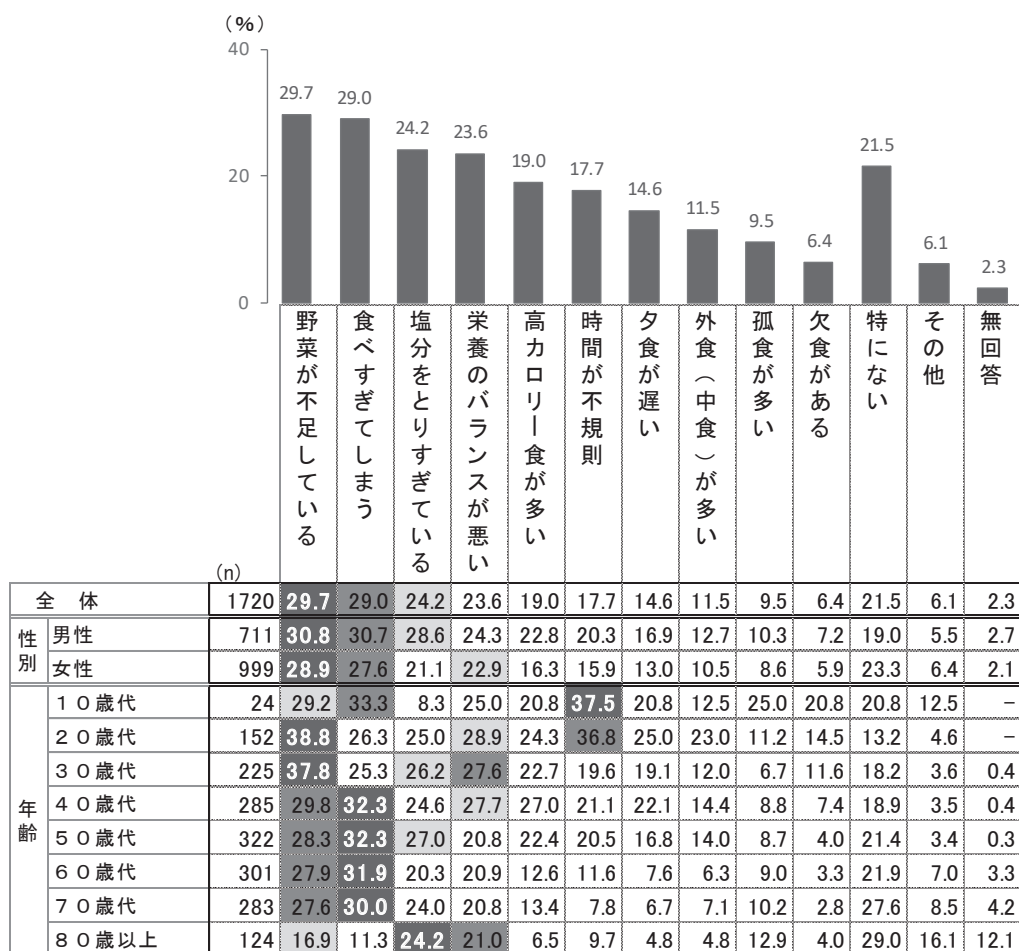
問29 自身の食生活の問題点はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

食生活の問題点について、全体でみると、「野菜が不足している」が29.7%で最も高く、「食べすぎてしまう」(29.0%)、「塩分をとりすぎている」(24.2%)の順となっています。

性別でみると、男性は、「野菜が不足している」(30.8%)、「食べすぎてしまう」(30.7%)、「塩分をとりすぎている」(28.6%)の順となっています。一方、女性は「野菜が不足している」(28.9%)、「食べすぎてしまう」(27.6%)、「栄養のバランスが悪い」(22.9%)の順となっています。

年齢別でみると、10歳代では「時間が不規則」、20歳代・30歳代では「野菜が不足している」、40歳代～70歳代は「食べすぎてしまう」、80歳以上で「塩分をとりすぎている」の割合が高くなっています。

図表48 食生活の問題点（全体・性・年齢別）



<「その他」の回答>

- 間食が多い
- 甘い物の取りすぎ
- お酒の量が多い 等

3. 1日の歩行時間

問30 1日にどれくらいの時間を歩きますか。※ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含みます。(あてはまるもの1つに○)

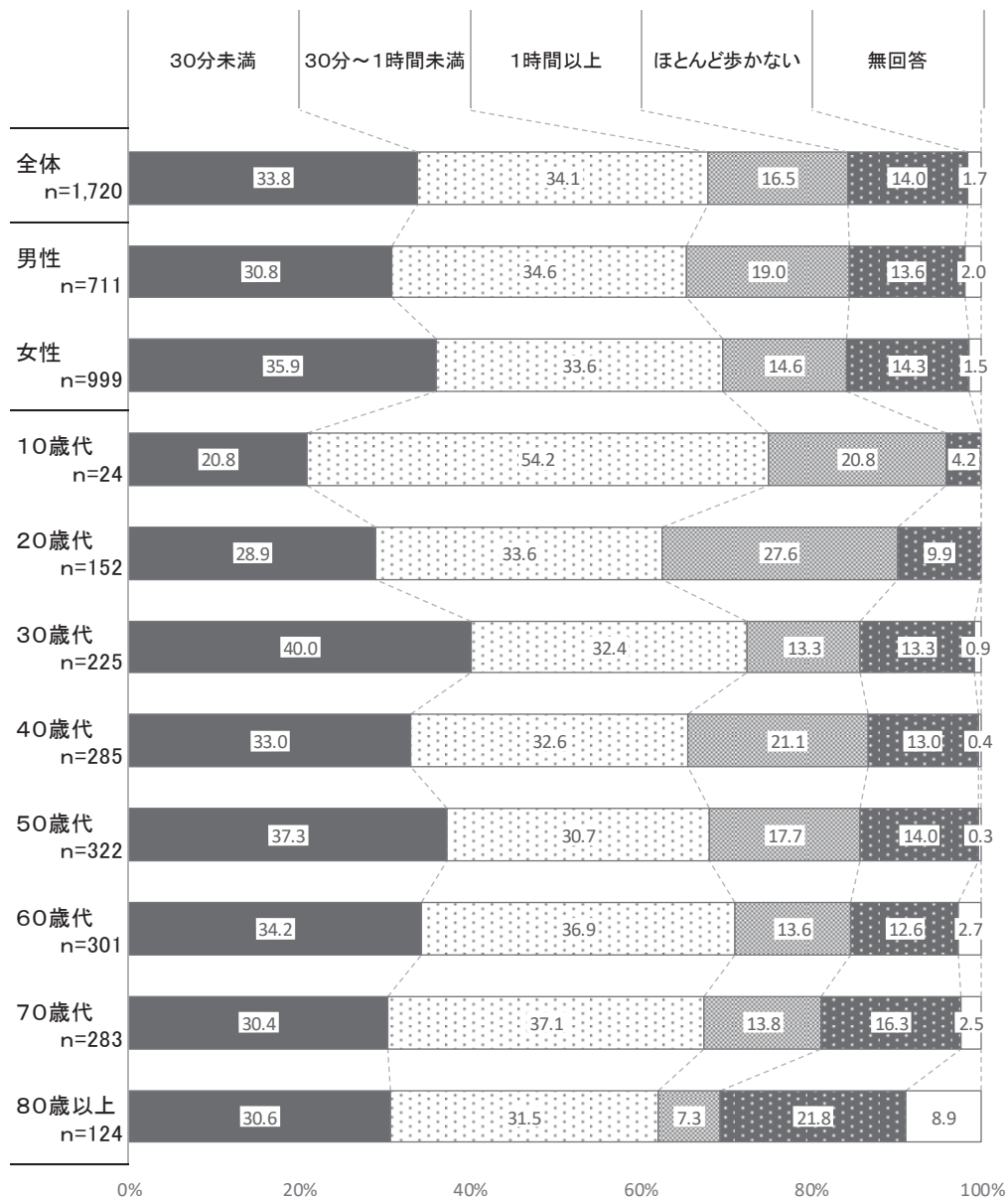
1日の歩行時間について、全体でみると、「30分～1時間未満」(34.1%)が最も高く、次いで「30分未満」(33.8%)が高くなっています。1日に“30分以上”(「30分～1時間未満」+「1時間以上」)歩く人は50.6%となっており、半数を超えています。

性別でみると、“30分以上”歩く人は男性が53.6%、女性が48.2%となっています。

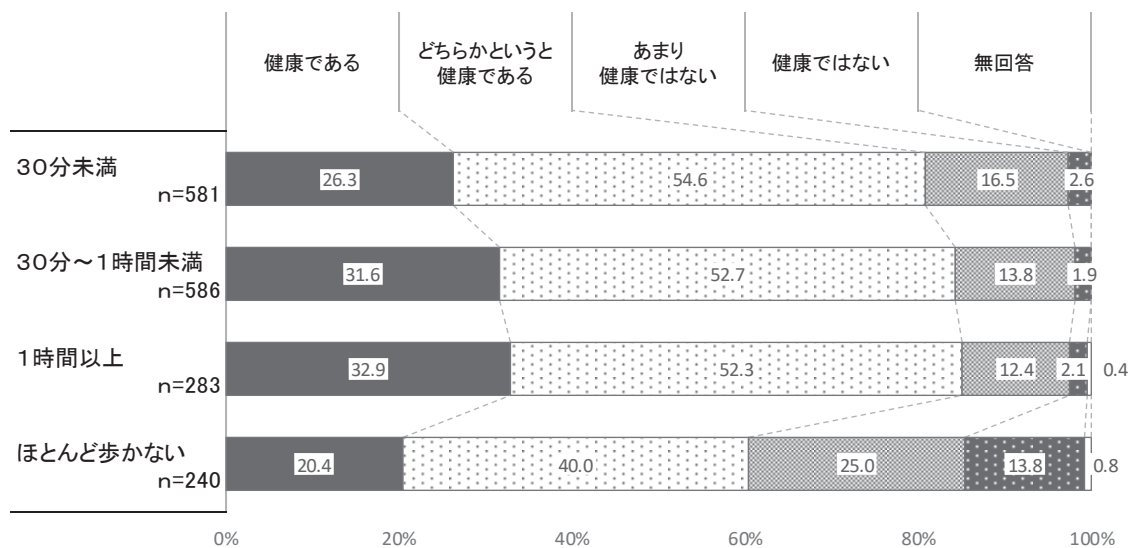
年齢別でみると、「ほとんど歩かない」人の割合は10歳代から年齢が高くなるとともに少しずつ増加する傾向にあります。80歳以上では特に多く21.8%となっています。

1日の歩行時間別の健康状態をみると、1日の歩行時間が多くなるほど、「健康である」人の割合が増える傾向にあります。

図表 4 9 1日の歩行時間（全体・性・年齢別）



図表 5 0 1日の歩行時間別の健康状態



4. スポーツ・運動の頻度

問31 あなたは普段どれくらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか。※ラジオ体操やさんぽ、山や公園などでの散策も運動に含みます。(あてはまるもの1つに○)

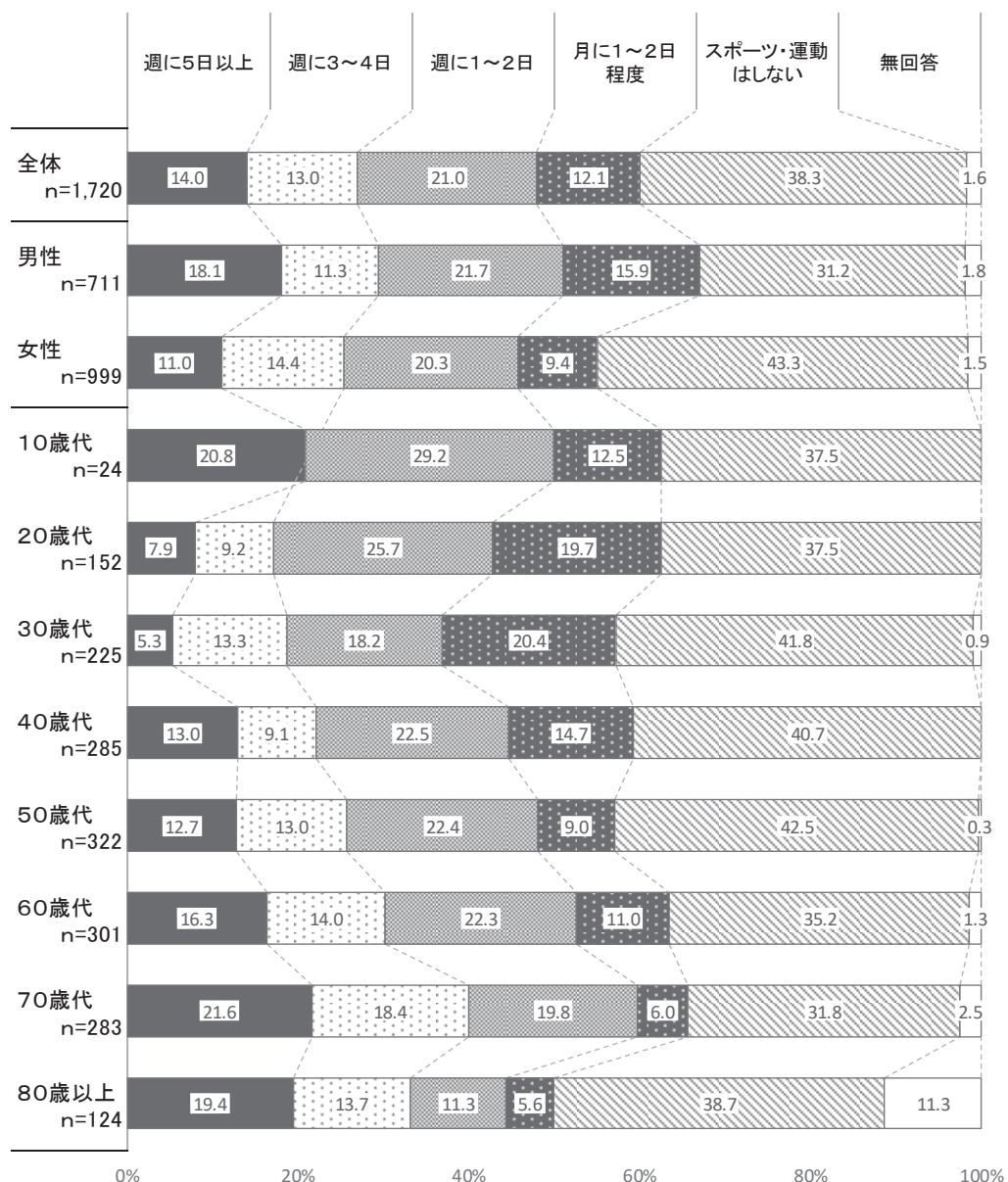
スポーツ・運動の頻度について、全体でみると、「スポーツ・運動はしない」が38.3%と最も高く、次いで「週に1～2日」(21.0%)、「週に5日以上」(14.0%)となっています。“週に1日以上”(「週に5日以上」+「週に3～4日」+「週に1～2日」)は48.0%となっています。

性別でみると、男性は“週に1日以上”が51.1%、「スポーツ・運動はしない」が31.2%となっており、女性は“週に1日以上”が45.7%、「スポーツ・運動はしない」が43.3%となっています。

年齢別でみると、“週に1日以上”は、70歳代(59.8%)が最も高く、60歳代(52.6%)、10歳代(50.0%)の順となっています。

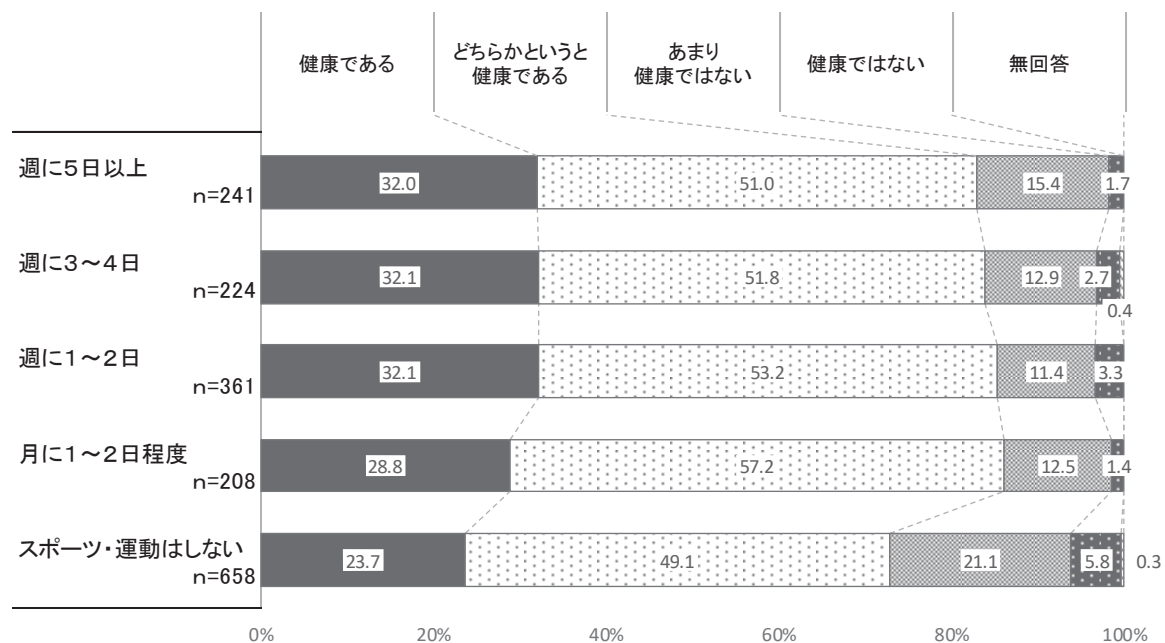
一方、「スポーツ・運動をしない」は、30歳代・40歳代・50歳代で4割を超えています。

図表5-1 スポーツ・運動の頻度(全体・性・年齢別)



スポーツ・運動の頻度別の健康状態をみると、“月に1日以上”（「週に5日以上」＋「週に3～4日」＋「週に1～2日」＋「月に1～2日程度」）スポーツ・運動をしている人で“健康である”人は8割を超えています。また、「スポーツ・運動はしない」人は7割程度にとどまっています。

図表 5 2 スポーツ・運動の頻度別の健康状態



5. インカレ開催の認知

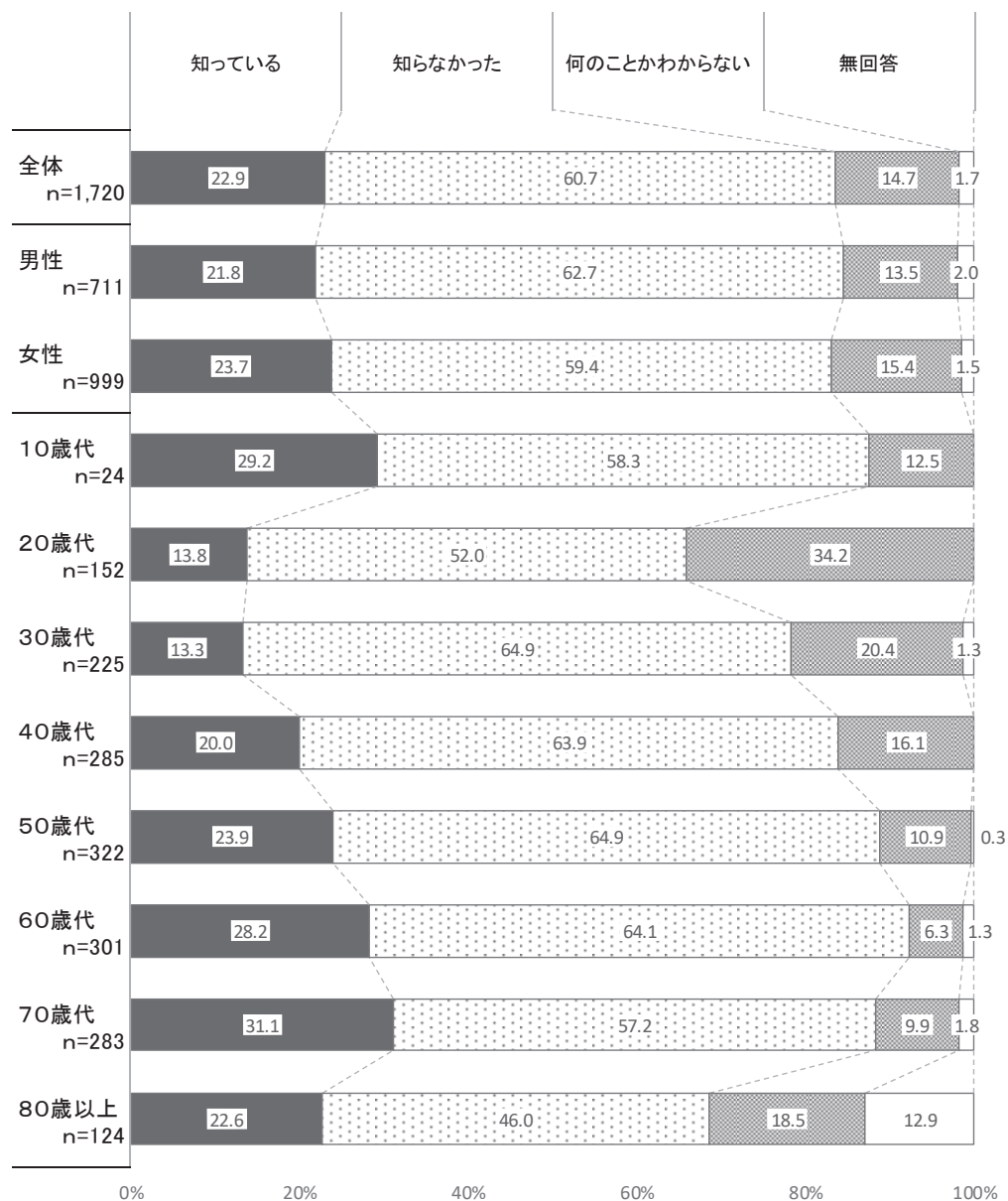
問32 安城市では「みるスポーツ」も推進しています。全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）が安城市で開催されます。あなたは安城市で開催されるのを知っていましたか。（あてはまるもの1つに○）

「みるスポーツ」について、全体でみると「知っている」は22.9%であるのに対し、“知らない”（「知らなかった」＋「何のことかわからない」）は75.4%となっており、認知度はかなり低い状況となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別では、「知っている」の割合は70歳代が31.1%と最も高く、30歳代が13.3%と最も低くなっています。30歳代以上では年齢が上がるにつれて認知度も上がっていく傾向がみられる一方、6割前後の人が「知らなかった」と答えており、いずれの年齢でも“知らない”人の方が多い状況となっています。

図表53 インカレ開催の認知（全体・性・年齢別）



6. 通勤・通学以外の移動手段

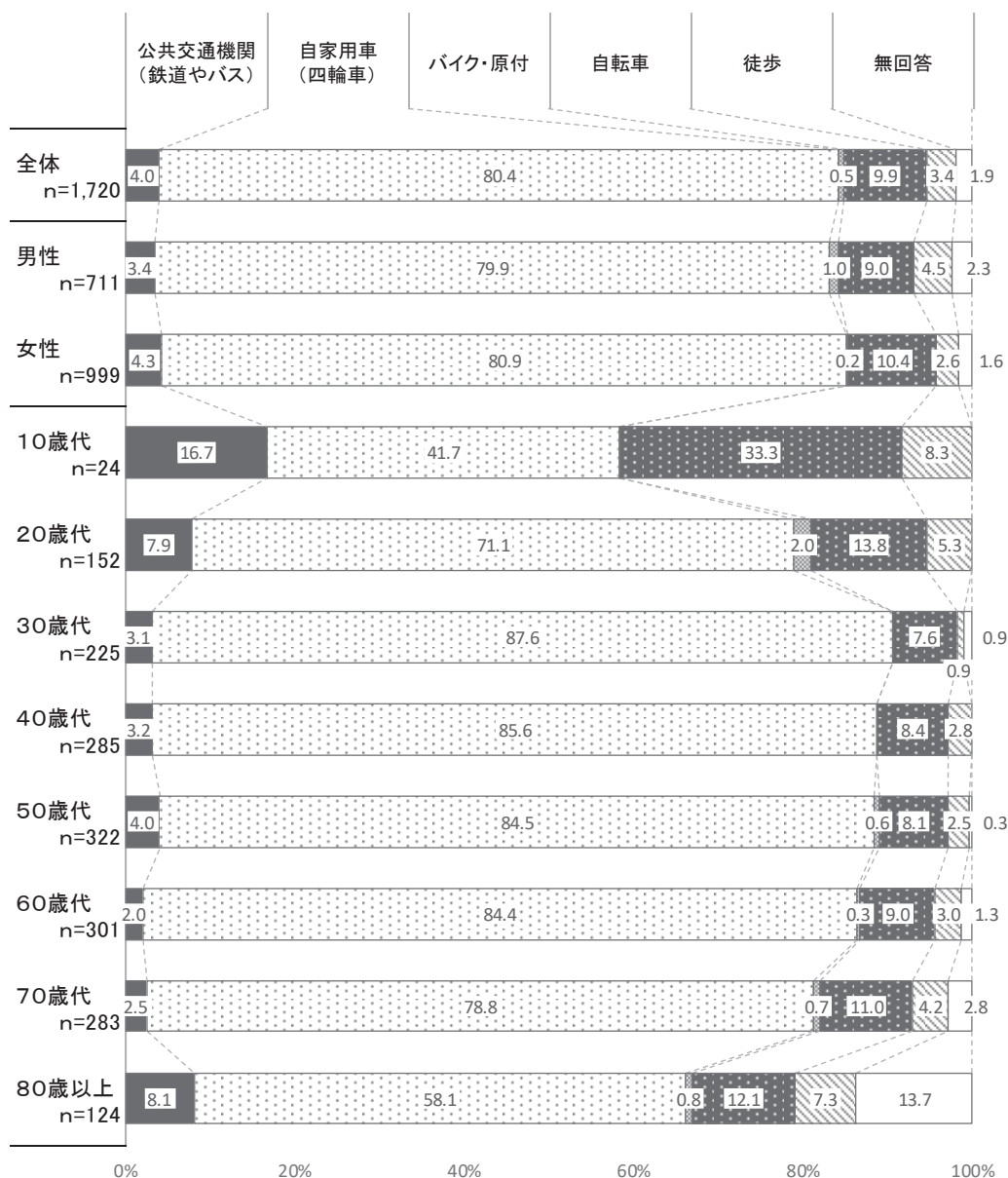
問33 通勤・通学以外で安城市内を移動するとき、あなたが最も多く利用する交通手段はどれですか。（あてはまるもの1つに○）

通勤・通学以外での移動手段について、全体では「自家用車（四輪車）」が80.4%と最も高く、次いで「自転車」（9.9%）、「公共交通機関（鉄道やバス）」（4.0%）となっており、自家用車の利用が多くを占めています。

性別による大きな差はみられません。

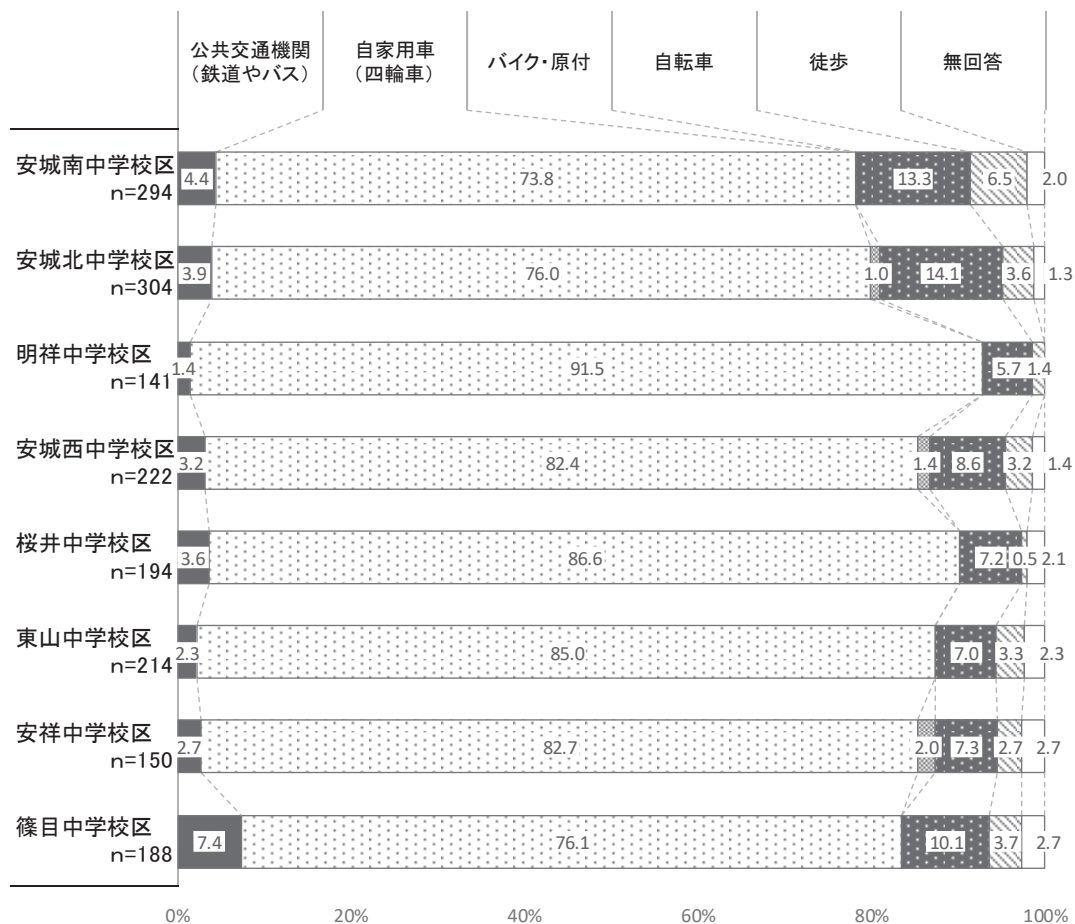
年齢別でみると、10歳代では「公共交通機関（鉄道やバス）」、「自転車」の割合が他の年齢に比べ高くなっています。20歳代～80歳以上では、「自家用車（四輪車）」の割合が突出して高く、特に30歳代～60歳代では8割を超えています。80歳以上では、「自家用車（四輪車）」の利用が減少するとともに、「公共交通機関（鉄道やバス）」や「自転車」、「徒歩」などを利用する割合が他の年齢に比べ高くなっています。

図表5-4 通勤・通学以外の移動手段（全体・性・年齢別）



居住地区別でみると、すべての中学校区で「自家用車（四輪車）」が最も高く、明祥中学校区では9割を超えています。安城南中学校区・安城北中学校区・篠目中学校区では「自転車」が1割を超えています。

図表 5 5 通勤・通学以外の移動手段（居住地区別）



7. 主な移動手段

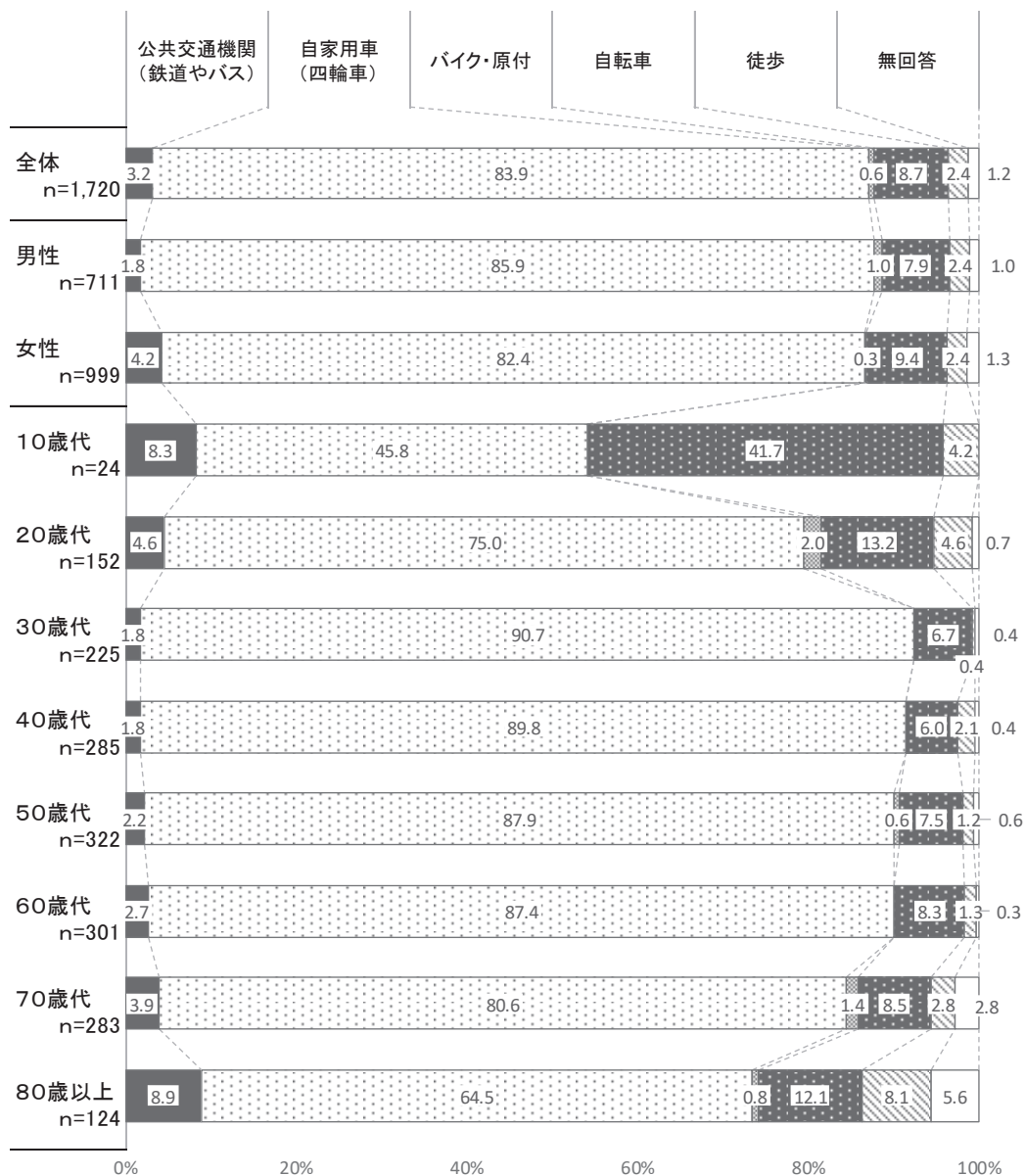
問34 安城市内での移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか。(あてはまるもの1つに○)

安城市内での移動手段について、全体でみると、「自家用車（四輪車）」が83.9%と最も高くなっています。次いで、「自転車」（8.7%）、「公共交通機関（鉄道やバス）」（3.2%）の順となっています。

性別による大きな差はみられません。

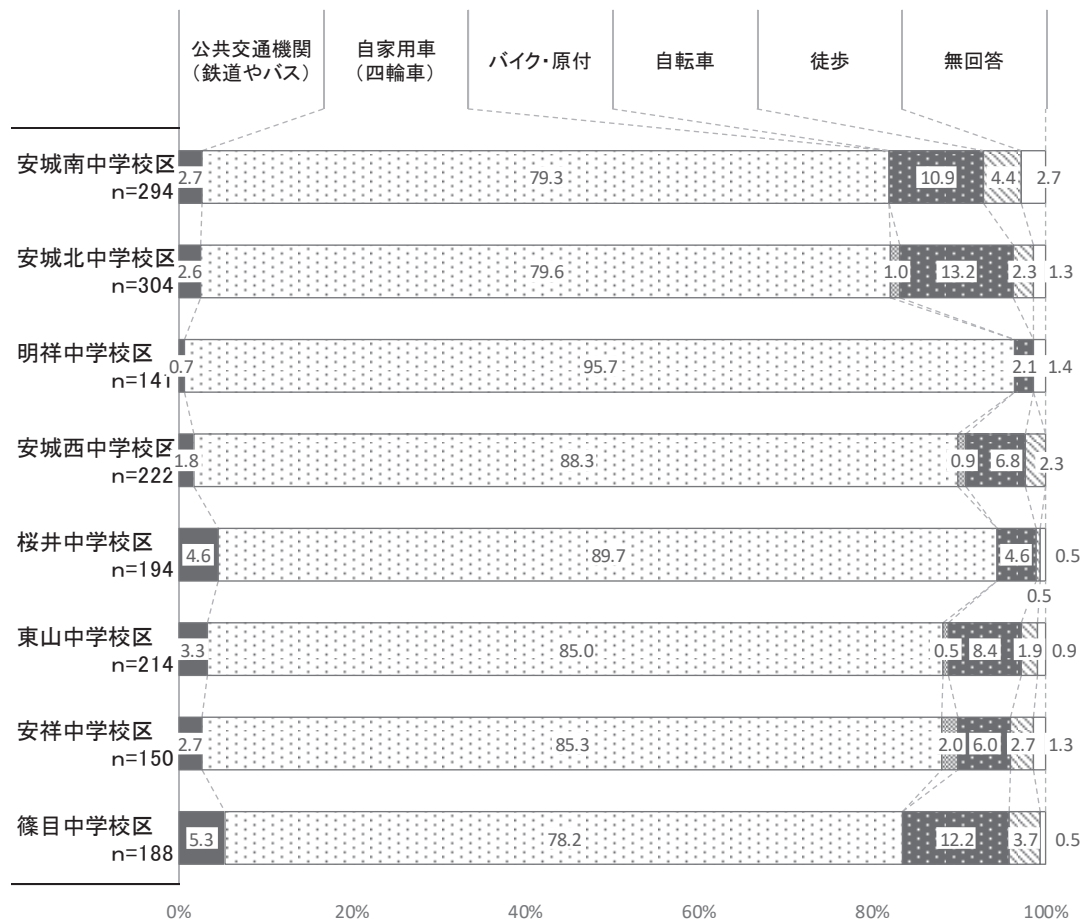
年齢別でみると、10歳代では「自転車」（41.7%）の割合が他の年齢に比べ高くなっています。20歳代以上では、「自家用車（四輪車）」が突出して高く、特に30歳代～70歳代では8割を超えています。20歳代・80歳以上では「自転車」の割合が他の年齢に比べ高くなっています。

図表56 安城市内での移動手段（全体・性・年齢別）



居住地区別でみると、すべての中学校区で「自家用車（四輪車）」が最も高く、明祥中学校区では9割を超えています。安城南中学校区・安城北中学校区・篠目中学校区では「自転車」が1割を超えています。

図表 5 7 安城市内での移動手段（居住地区別）



8. 今後の自転車の利用

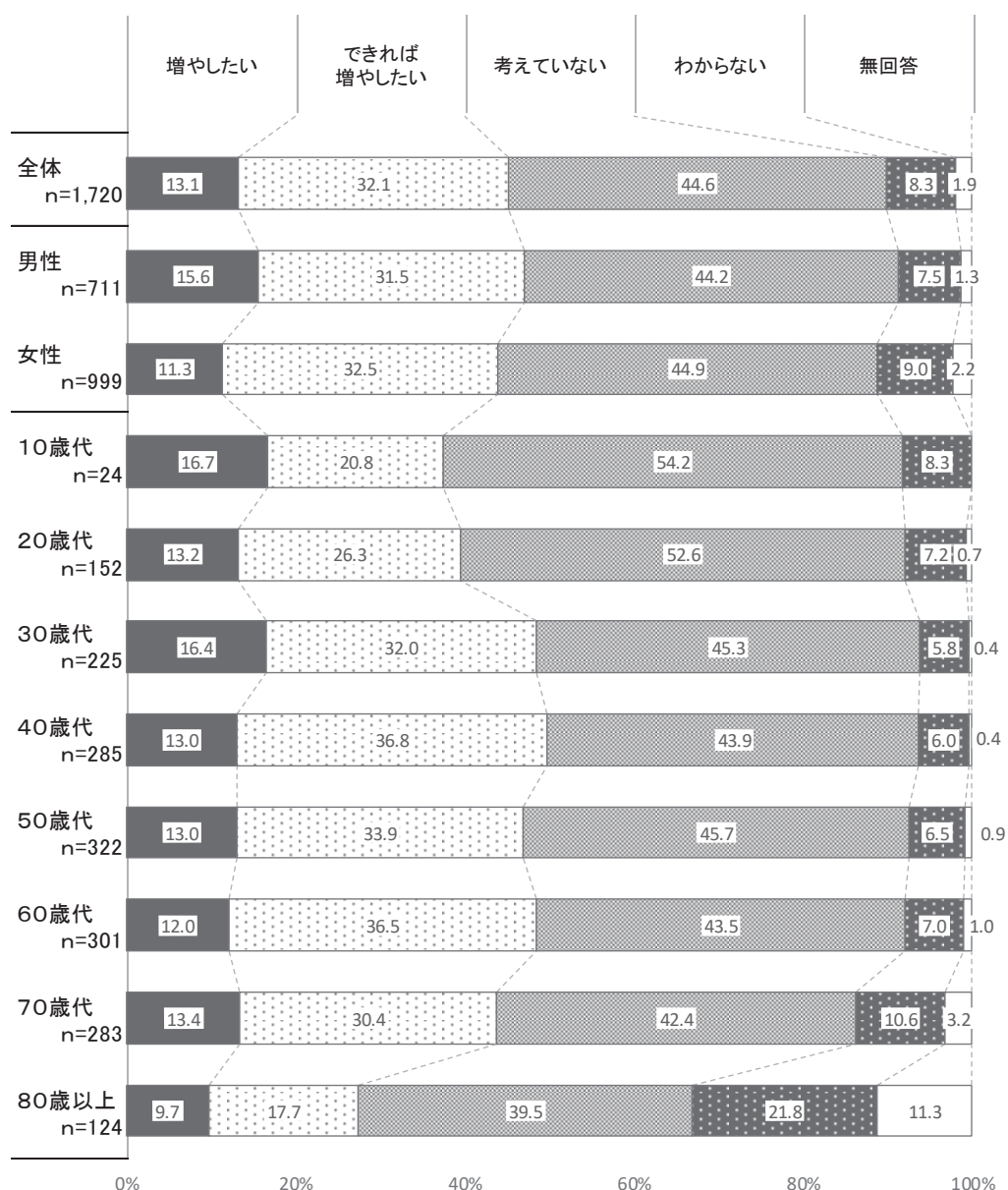
問35 移動手段として、自転車の利用を増やしていきたいですか。（あてはまるもの1つに○）

今後の自転車の利用について、全体でみると、“増やしたい”（「増やしたい」＋「できれば増やしたい」）は45.2%となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、10歳代・20歳代・80歳以上では「考えていない」割合が高く、“増やしたい”（37.5%、39.5%、27.4%）が「考えていない」（54.2%、52.6%、39.5%）を下回っていますが、30歳代～70歳代では“増やしたい”割合が高く、「考えていない」を上回っています。

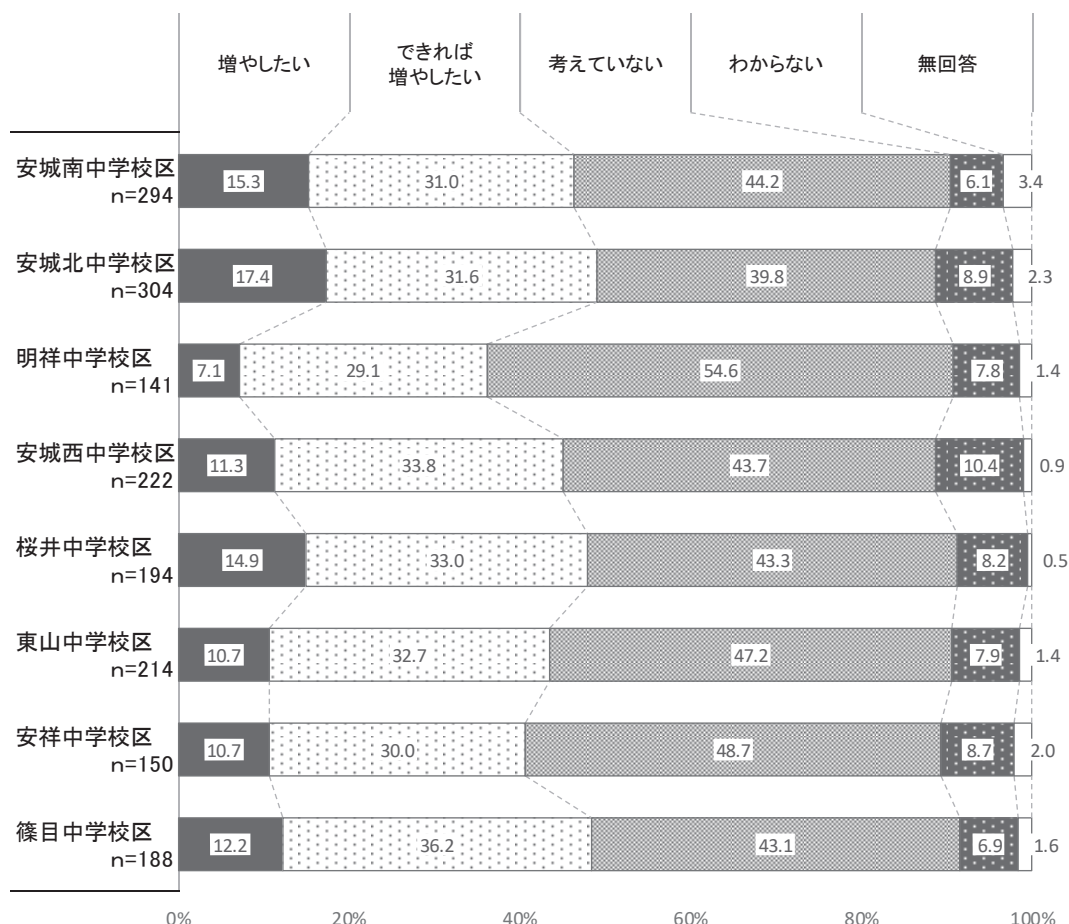
図表58 今後の自転車利用への意向（全体・性・年齢別）



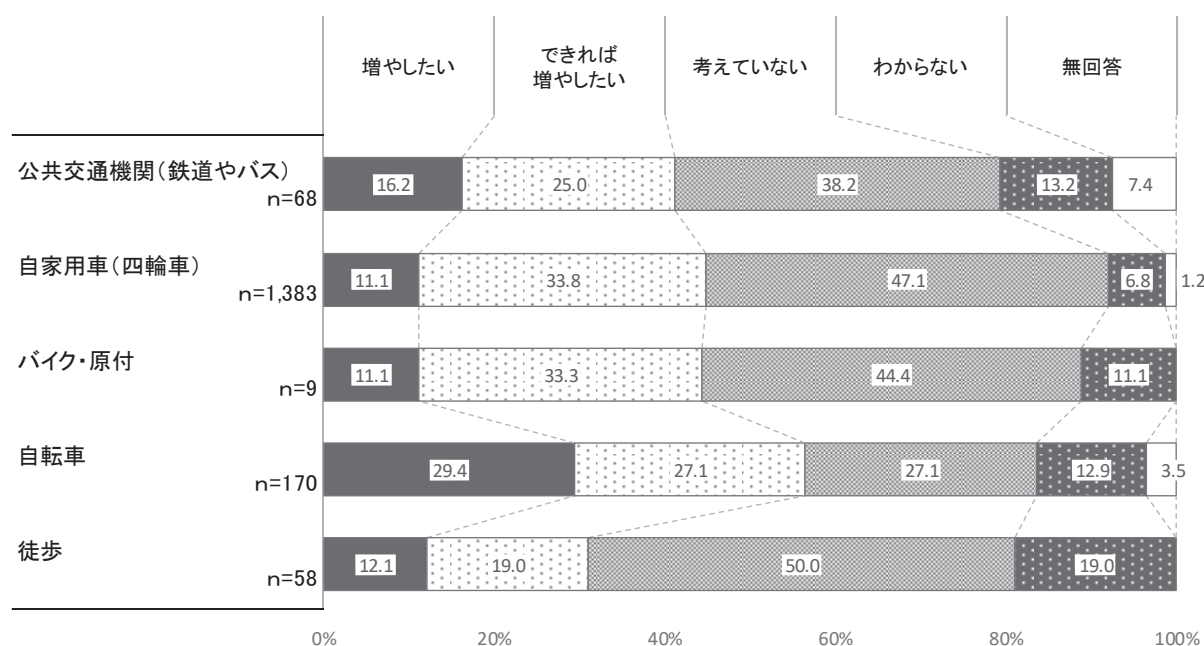
居住地区別でみると、“増やしたい”が最も高いのは安城北中学校区（49.0％）で、最も低いのは明祥中学校区（36.2％）となっています。

外出先への移動手段別でみると、“増やしたい”が最も高いのは、すでに「自転車」を利用している人（56.5％）で、次いで「自家用車（四輪車）」（44.9％）、「バイク・原付」（44.4％）、「公共交通機関（鉄道やバス）」（41.2％）、「徒歩」（31.1％）の順となっています。

図表 5 9 今後の自転車利用への意向（居住地区別）



図表 6 0 今後の自転車利用への意向（通勤・通学以外の移動手段別）



9. 安城市の文化芸術や歴史への愛着や誇り

問36 本市の文化芸術や歴史に愛着や誇りを感ずますか。(あてはまるもの1つに○)

安城市の取組み

- ・ 市民芸術祭（安美展、市民文芸まつりなど）の開催
- ・ 歴史博物館特別展・企画展の開催
- ・ 史跡本證寺境内の調査と保護

安城市の文化や芸術への愛着や誇りについて、全体でみると、“感じる”（「感じる」＋「どちらかといえばそう感じる」）は42.9%、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」＋「感じない」）は28.0%となっています。

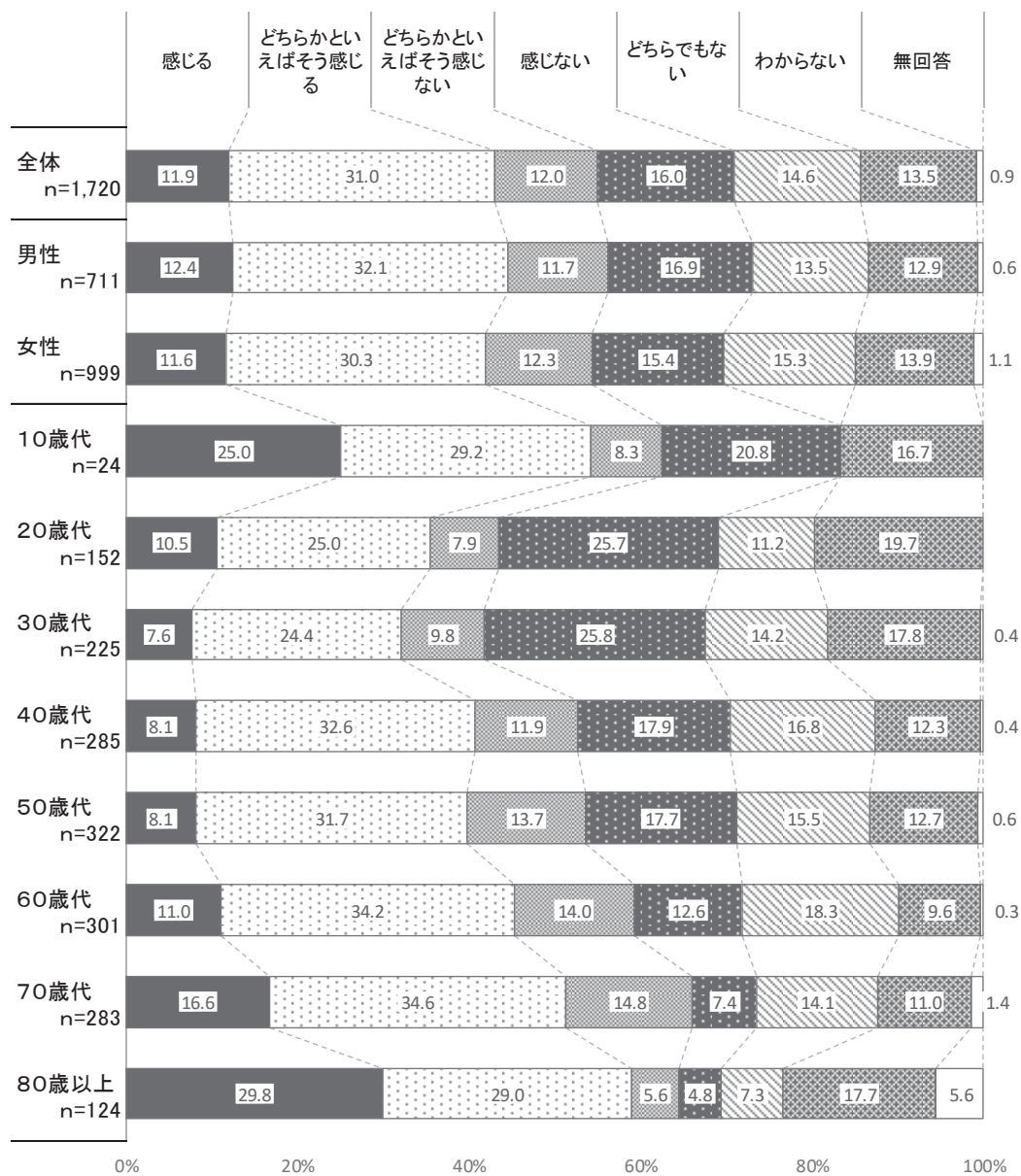
性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、10歳代・70歳以上では“感じる”が半数を超えています。一方で、20歳代・30歳代は35.5%、32.0%と3割程度となっています。また、50歳代以降は年齢が上がるにつれて、“感じる”の割合が高くなる傾向にあります。

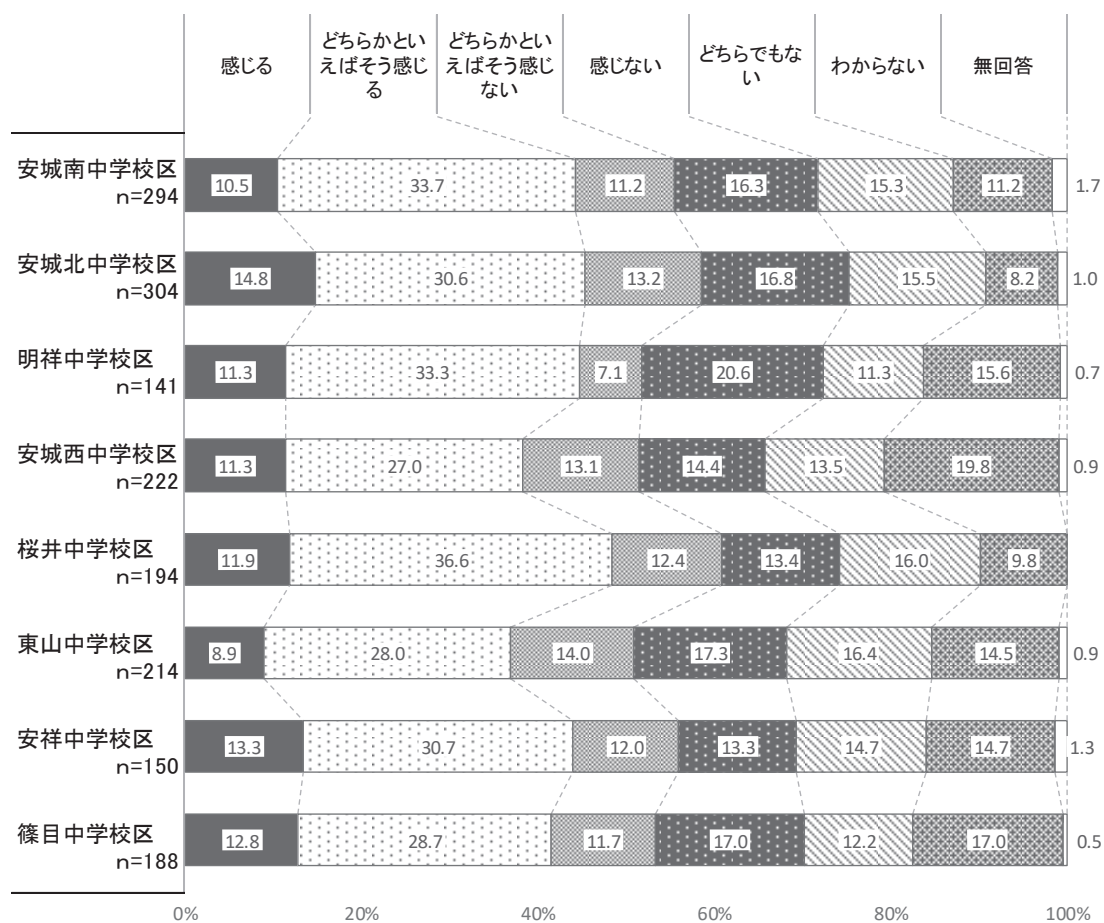
居住地区別でみると、“感じる”が最も高いのは桜井中学校区（48.5%）となっています。

居住年数別でみると、年数が長いほど“感じる”と答える割合が増える傾向にあります。

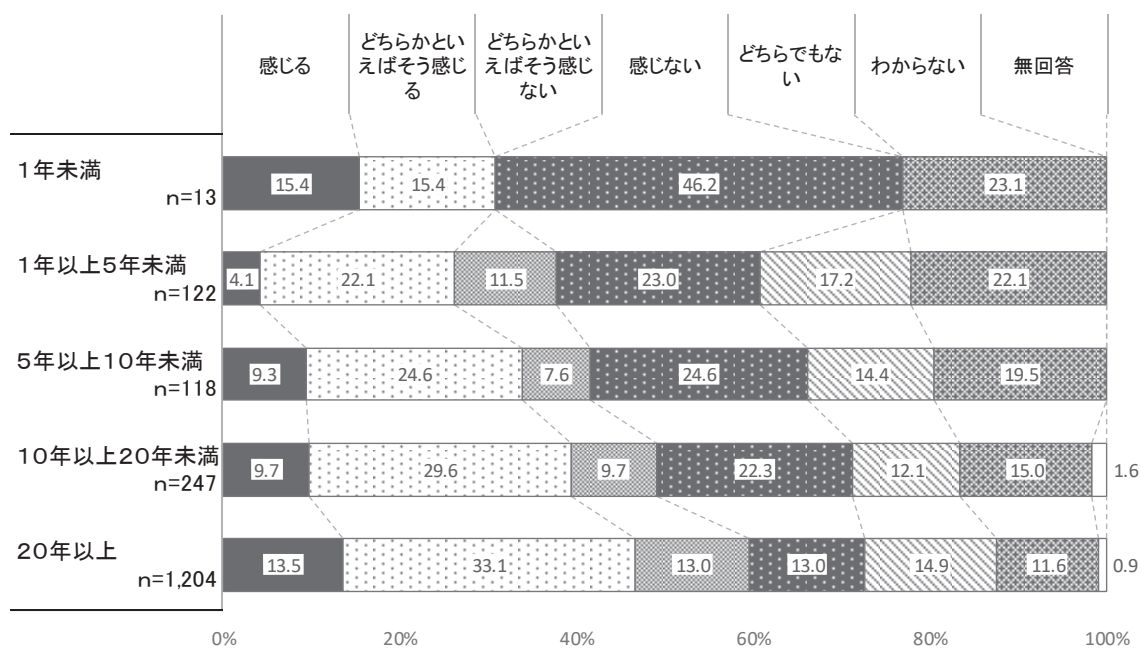
図表 6 1 安城市の文化芸術や歴史への愛着や誇り（全体・性・年齢別）



図表 6 2 安城市の文化芸術や歴史への愛着や誇り（居住地区別）



図表 6 3 安城市の文化芸術や歴史への愛着や誇り（居住年数別）



10. デンパークの満足度

問37 本市の貴重な観光資源であるデンパークについてお聞きます。（あてはまるもの1つに○）

安城市の取組み

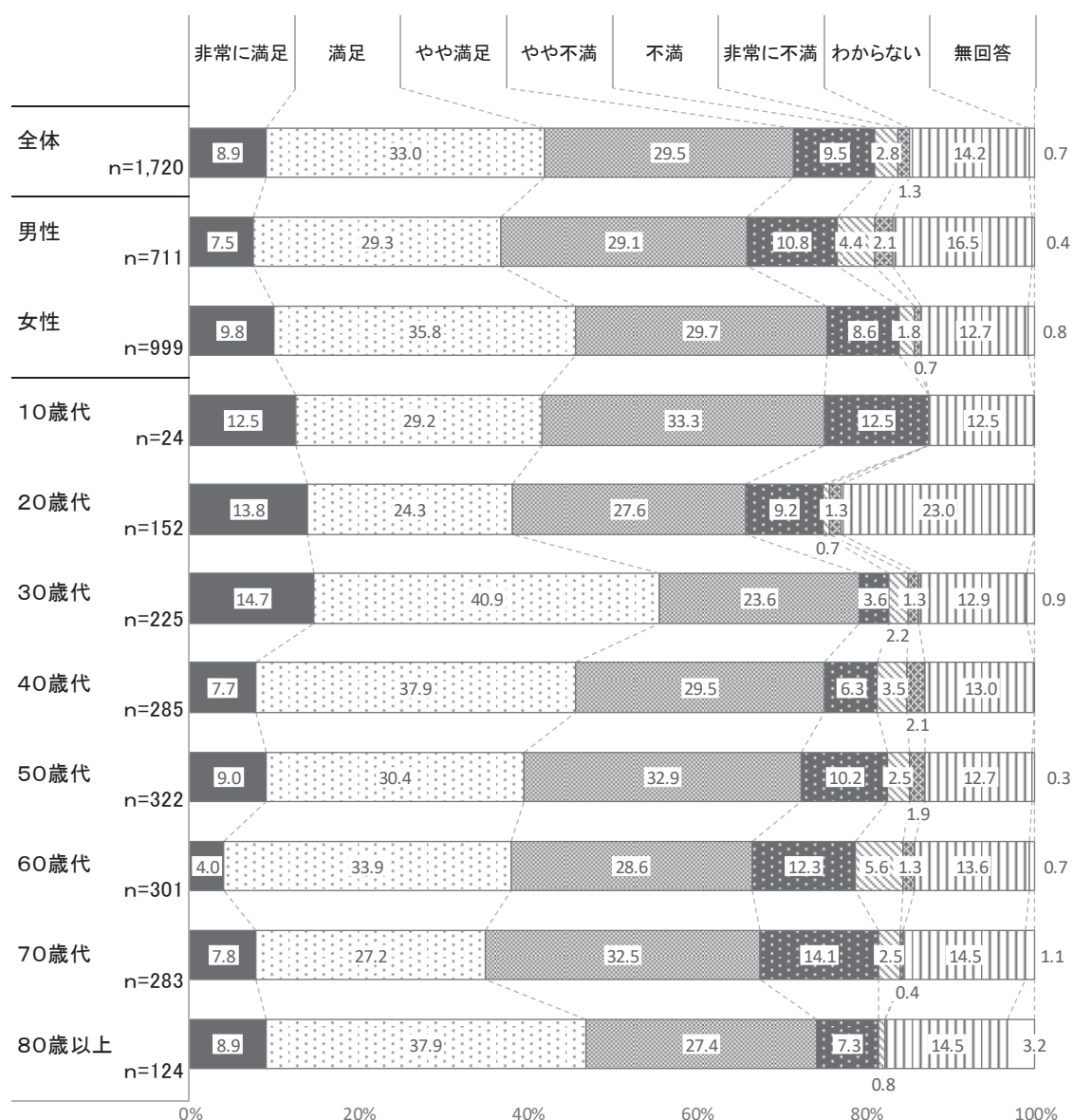
- ・花と緑の魅力ある公園づくり
- ・地元農産物や特産品のPR等地場産業の振興
- ・子どもの遊び場などのリニューアルや様々なイベント

デンパークの満足度について、全体でみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は71.4%となっています。

性別でみると、“満足”は男性が65.9%、女性が75.3%で、女性の方が高くなっています。

年齢別でみると、10歳代・30歳代・40歳代・50歳代・80歳以上では7割以上が“満足”と答えています。

図表6-4 デンパークの満足度（全体・性・年齢別）



1 1. 子育て中の人への就労環境の整備

問38 本市は子育て中の人が仕事をしやすい環境が整っていると思いますか。(あてはまるものの1つに○)

安城市の取り組み

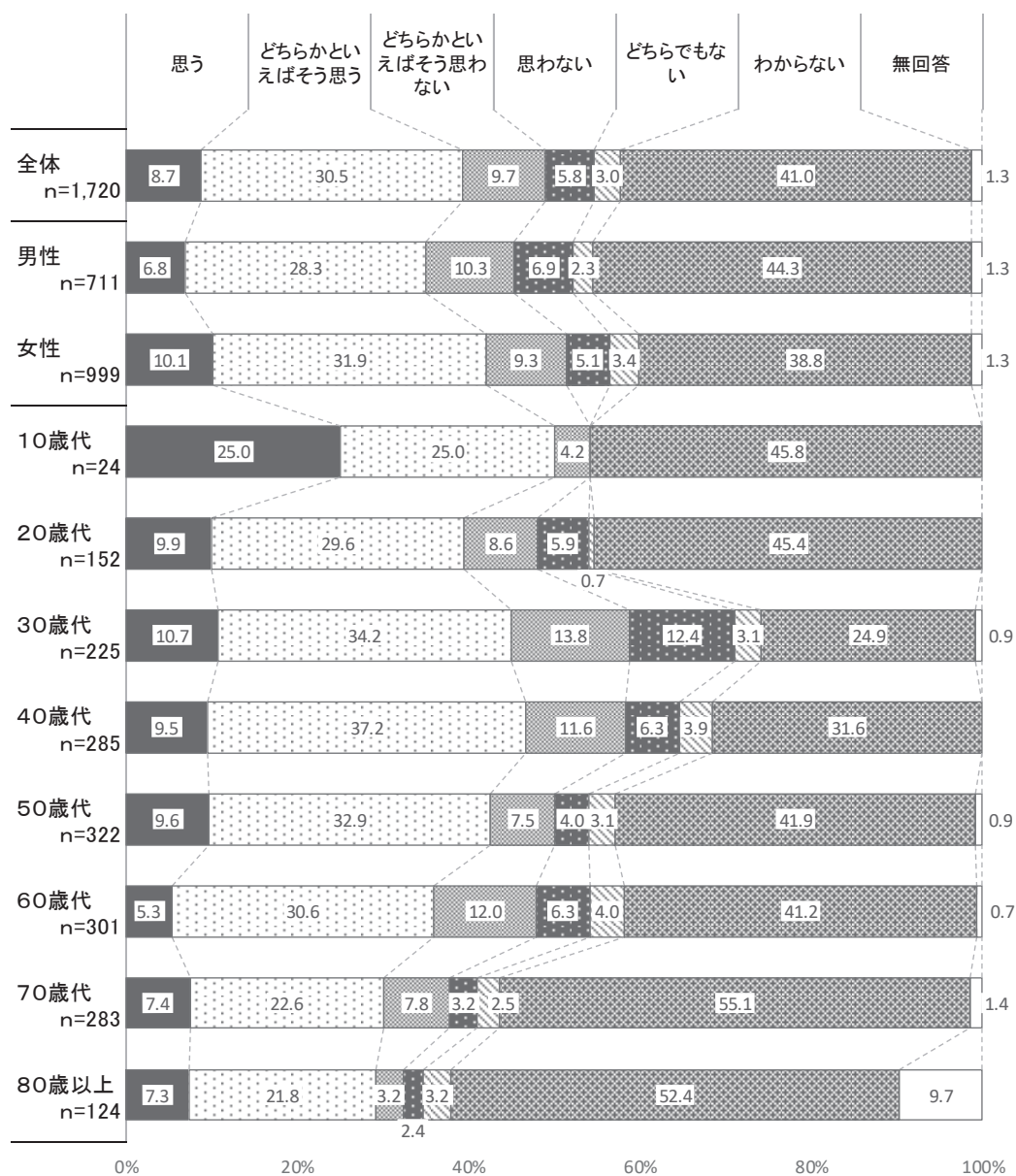
- ・ 児童クラブの学年拡大（定員に余裕のあるクラブから6年生まで受入れ）
- ・ 低年齢児の受入れ拡大（保育園の改修、民間保育所などの誘致）
- ・ 子育て女性の再就職支援（セミナー、相談会の開催）

子育て中の人が仕事をしやすい環境が整っているかについて、全体でみると“思う”（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は39.2%、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「思わない」）は15.5%となっています。

性別でみると、“思う”の割合は女性（42.0%）の方が、男性（35.1%）よりも高くなっています。

年齢別でみると、30歳代・40歳代を除くすべての年齢で「わからない」が4割を超えており、70歳代・80歳以上では5割を超えています。一方、30歳代・40歳代では“思う”が44.9%、46.7%と他の年齢と比べて高い割合となっています。

図表 6 5 子育て中の人への就労環境の整備（全体・性・年齢別）



1 2. 消費生活に関する相談体制

問39 本市は消費生活に関する相談体制が整っていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

安城市の取組み

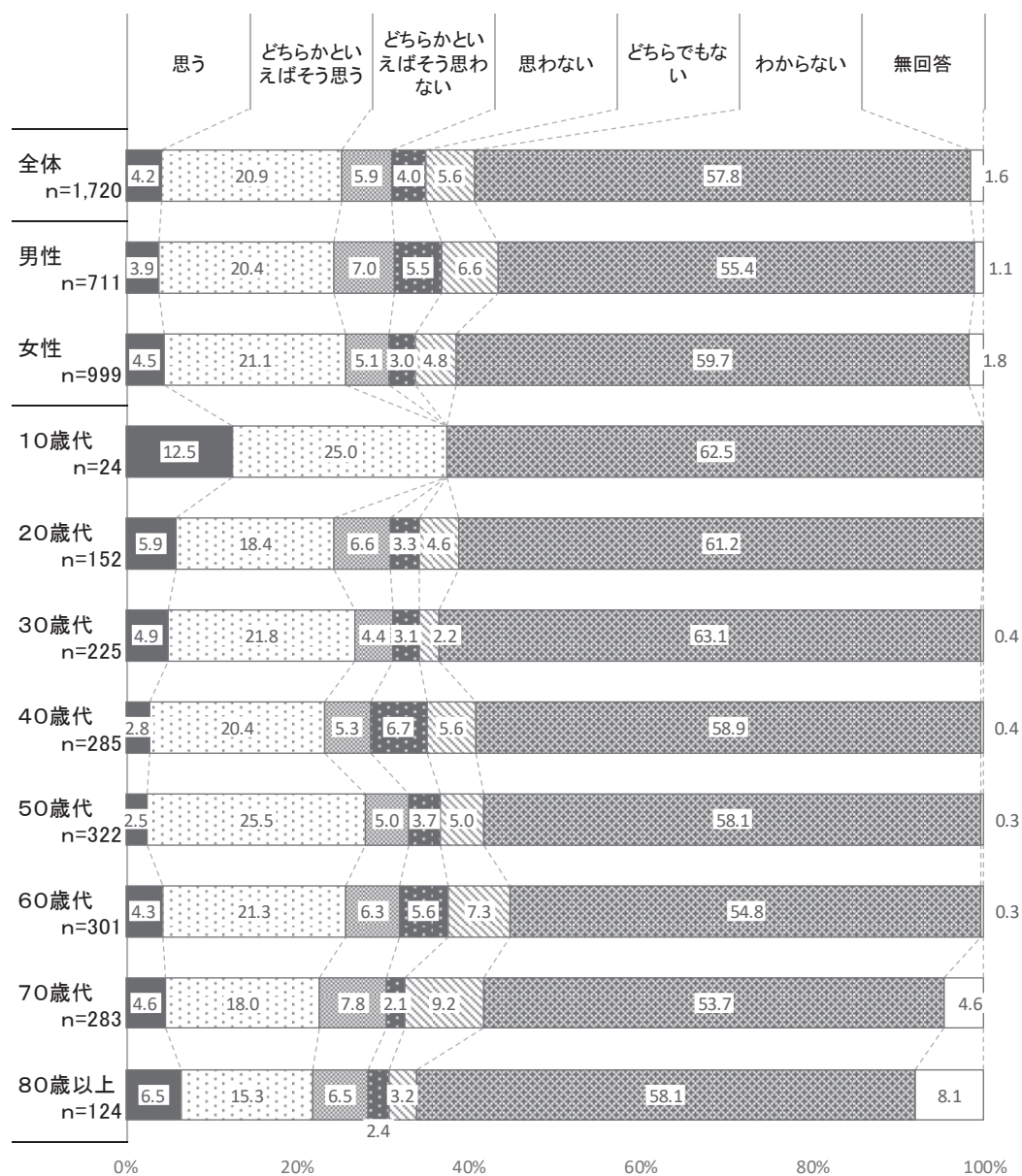
- ・消費生活センターの開設（月・火・木・金／午前9時30分～午後4時）
- ・消費生活講座の実施

消費生活に関する相談体制が整っているかについて、全体でみると、整っていると“思う”（「思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は25.1%、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「思わない」）は9.9%となっています。一方で、「わからない」は57.8%となっています。

性別でみると、“思わない”の割合は、男性（12.5%）の方が、女性（8.1%）よりも高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢も「わからない」が多く、年齢が上がるにつれてその割合が低くなる傾向にあります。

図表 6 6 消費生活に関する相談体制（全体・性・年齢別）



13. 「自分ごと」を意識したまちづくりの進捗について

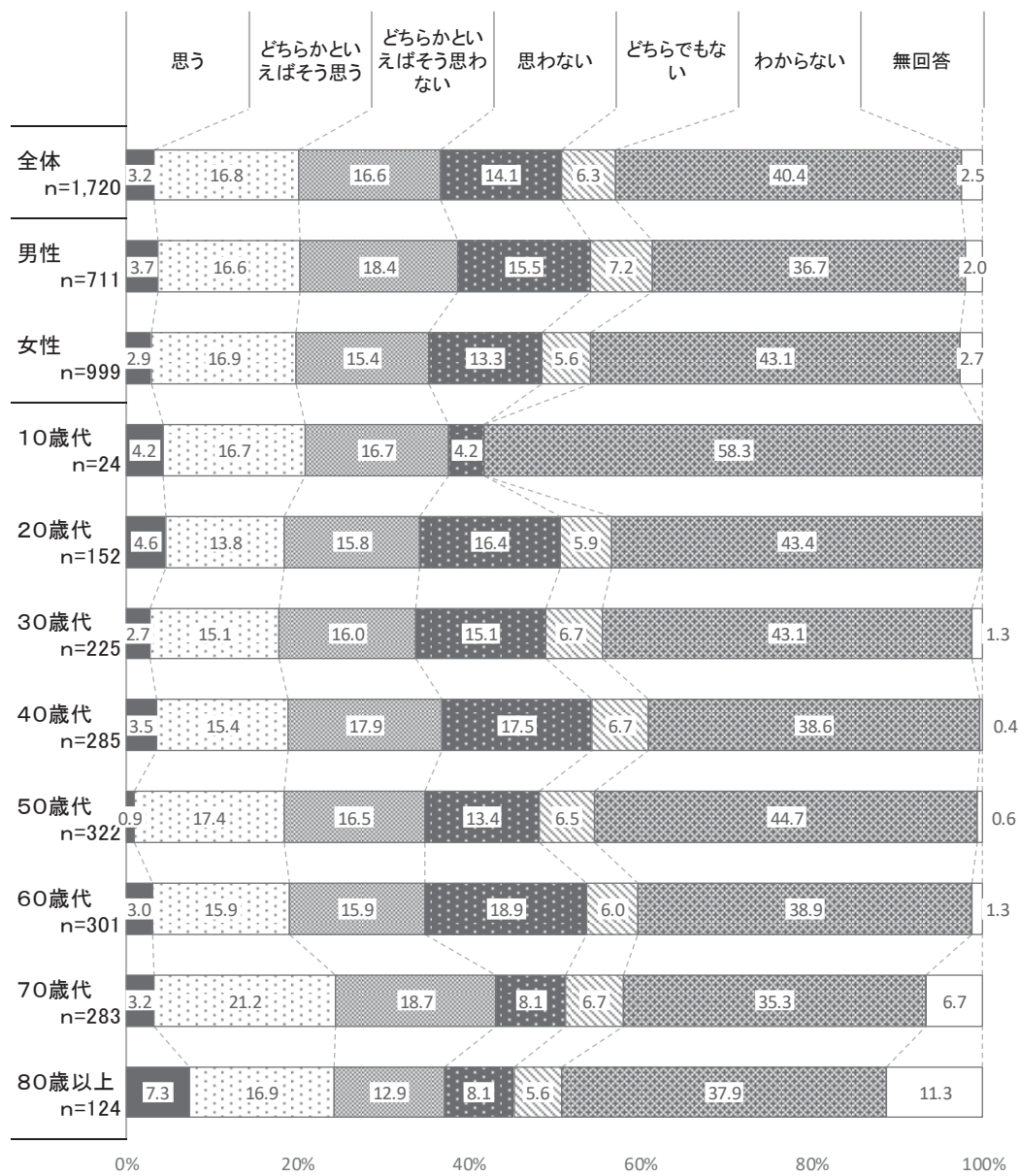
問40 本市では自治基本条例の見直しを行い、よりわかりやすい表現に改めるとともに、市民参加や協働を進め、まちづくりを「自分ごと」と捉え参加できる地域社会の実現、市民の意識の醸成に努めています。まちづくりを「自分ごと」と捉える意識の醸成は進んでいると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

まちづくりを「自分ごと」と捉える意識の醸成は進んでいると思うかについて、全体でみると、「わからない」が最も高く、40.4%となっています。“思う”(「思う」+「どちらかといえばそう思う」)(20.0%)の割合は、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「思わない」)(30.7%)の割合を下回っています。

性別でみると、“思わない”の割合は、男性(33.9%)の方が、女性(28.7%)よりも高くなっています。また、「わからない」の割合は、男性(36.7%)より女性(43.1%)の方が高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「わからない」と答えた割合が最も高く、特に10歳代では58.3%と6割近くを占めており、10歳代と80歳以上を除くすべての年齢で“思う”が“思わない”を下回っています。

図表 6 7 「自分ごと」を意識したまちづくりの進捗について（全体・性・年齢別）



14. マイナンバーカードによる証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況

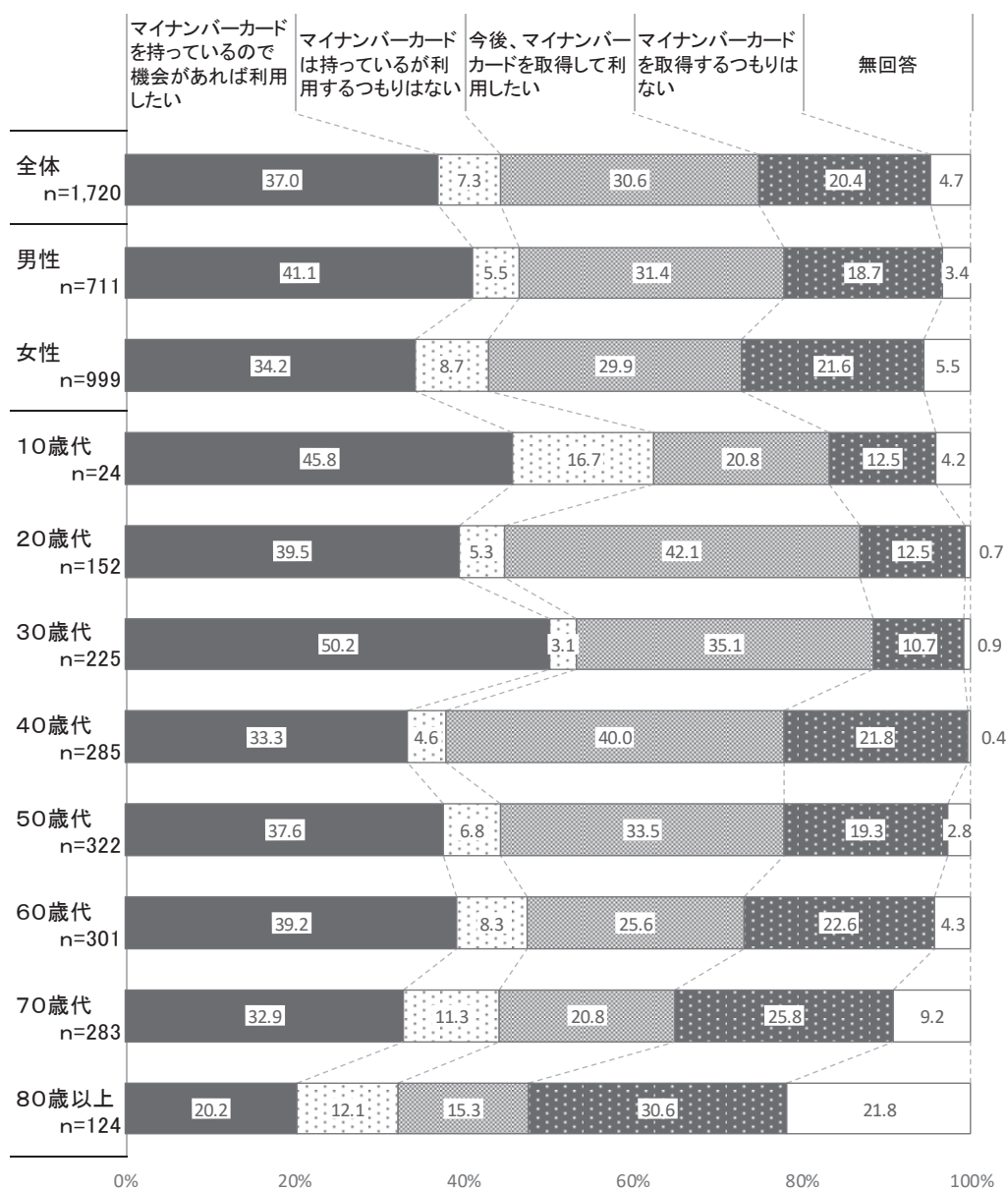
問41 マイナンバーカードがあればコンビニで住民票、印鑑証明書及び戸籍証明書が取得できます（ただし、一部条件により取得できない場合があります）。コンビニ交付サービスについてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

コンビニ交付サービスの利用について、全体でみると「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」が37.0%と最も高くなっています。次いで「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」が30.6%となっています。「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」(37.0%)と「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」(30.6%)をあわせた“利用したい”は67.6%となっています。

性別でみると、“利用したい”の割合は、男性（72.5%）の方が女性（64.1%）より高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ、“利用したい”割合が低くなる傾向にあります。

図表 6 8 マイナンバーカードによる証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況（全体・性・年齢別）



1) 「マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない」理由

「マイナンバーカードを持っているが利用するつもりはない」理由として、「情報漏えいが心配」、「市役所・支所が近いため」、「利用する機会がない」等が挙げられました。

図表 6 9 「マイナンバーカードを持っているが利用するつもりはない」主な理由

- ・情報漏えいが心配
- ・市役所・支所が近いため
- ・利用する機会がない
- ・必要がない
- ・面倒だから

2) 「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由

「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由としては、「必要性を感じない」「心配または不安」「面倒だから」等が挙げられました。

図表 7 0 「マイナンバーカードを取得するつもりはない」主な理由

- ・必要性を感じない
- ・情報漏えい等の心配・不安
- ・面倒だから
- ・利用する機会がない
- ・高齢のため

15. 地震の備え（家具等の固定）

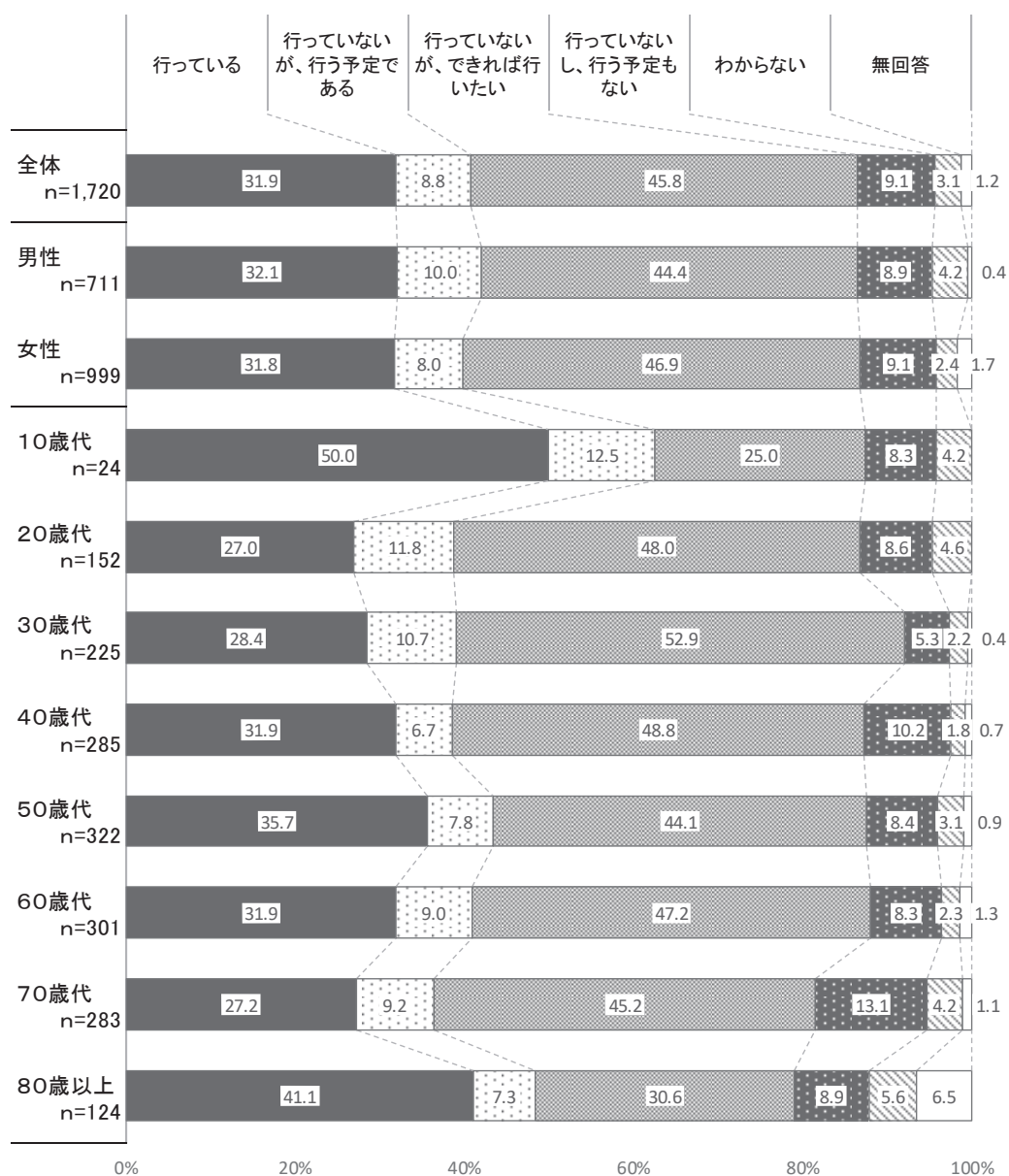
問42 地震への備えとして、家具等の転倒防止のための固定を行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

家具等の固定を行っているかについて、全体でみると、「行っている」は31.9%、「行っていない」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」＋「行っていないし、行う予定はない」）は63.7%となっています。また、「いずれ行いたい」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」）は54.6%となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、10歳代・80歳以上は「行っている」の割合が最も高く、4割を超えています。一方で、20歳代～70歳代は「行っている」は3割程度で、いずれの年齢も「行っていないが、できれば行いたい」が最も高く、5割前後となっています。一方、60歳代以上では、「いずれ行いたい」で年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。

図表71 地震の備え（家具等の固定）（全体・性・年齢別）



16. 地震の備え（食料等の備蓄）

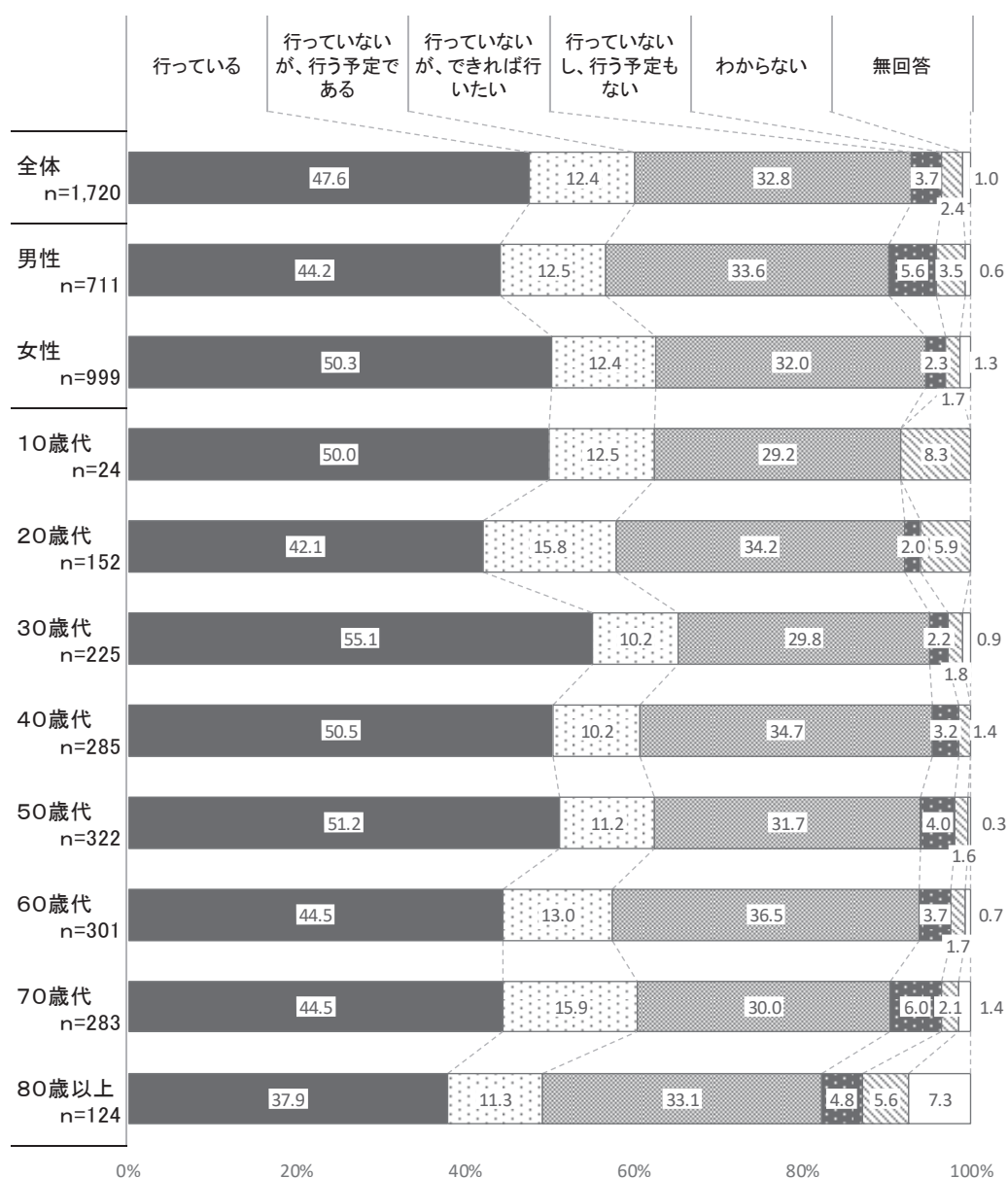
問43 地震への備えとして、食料や飲料水の備蓄を行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

食料や飲料水の備蓄について、全体でみると、「行っている」は47.6%、「行っていない」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」＋「行っていないが、行う予定はない」）は48.9%となっています。また、「いずれ行いたい」（「行っていないが、行う予定である」＋「行っていないが、できれば行いたい」）は45.2%となっています。

性別でみると、「行っている」の割合は、女性（50.3%）の方が男性（44.2%）よりも高くなっています。

年齢別でみると、「行っている」の割合が最も高いのは30歳代（55.1%）で、80歳以上を除くすべての年齢で4割以上の人が備蓄を行っていると回答しています。また、50歳以上では年齢が上がるにつれて「行っている」の割合が低くなる傾向にあります。

図表72 地震の備え（食料等の備蓄）（全体・性・年齢別）



17. 「健幸」の認知度

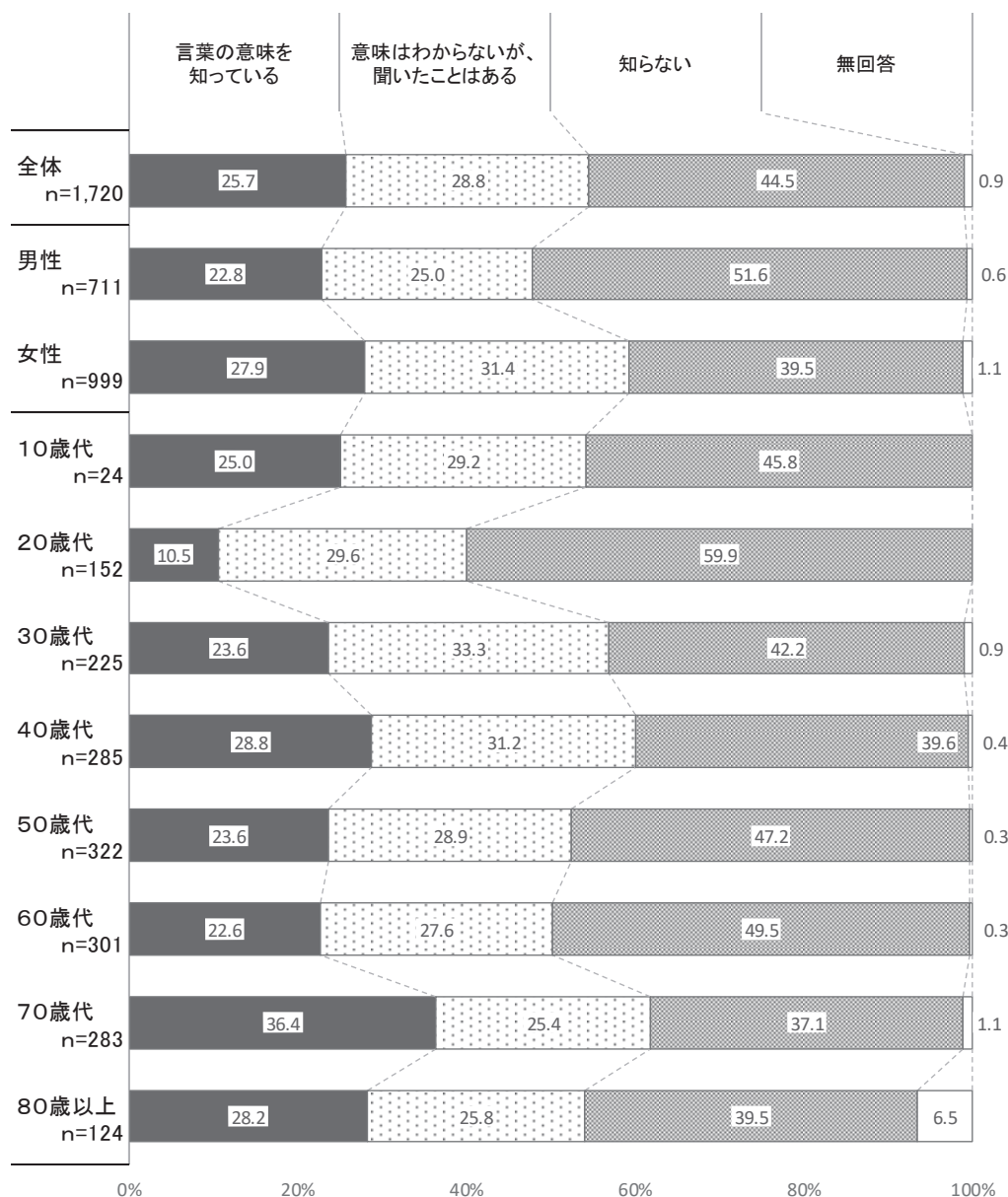
問44 「健幸（ケンサチ）」という言葉を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

「健幸」について、全体でみると、「知らない」が44.5%と最も高く、次いで「意味はわからないが、聞いたことはある」（28.8%）となっています。「言葉の意味を知っている」（25.7%）と「意味はわからないが、聞いたことがある」（28.8%）をあわせた“知っている”割合は54.5%となっています。

性別でみると、“知っている”は男性が47.8%、女性が59.3%となっており、女性の方が男性よりも高い割合となっています。

年齢別でみると、40歳代・70歳代では、“知っている”が6割を超えています。一方で、20歳代では、4割程度と他の年齢と比べて低くなっています。

図表73 「健幸」の認知度（全体・性・年齢別）



18. 「健幸」のために普段から心掛けていること

問45 「健幸（ケンサチ）」とは、市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「いきがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。普段から心掛けていることを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

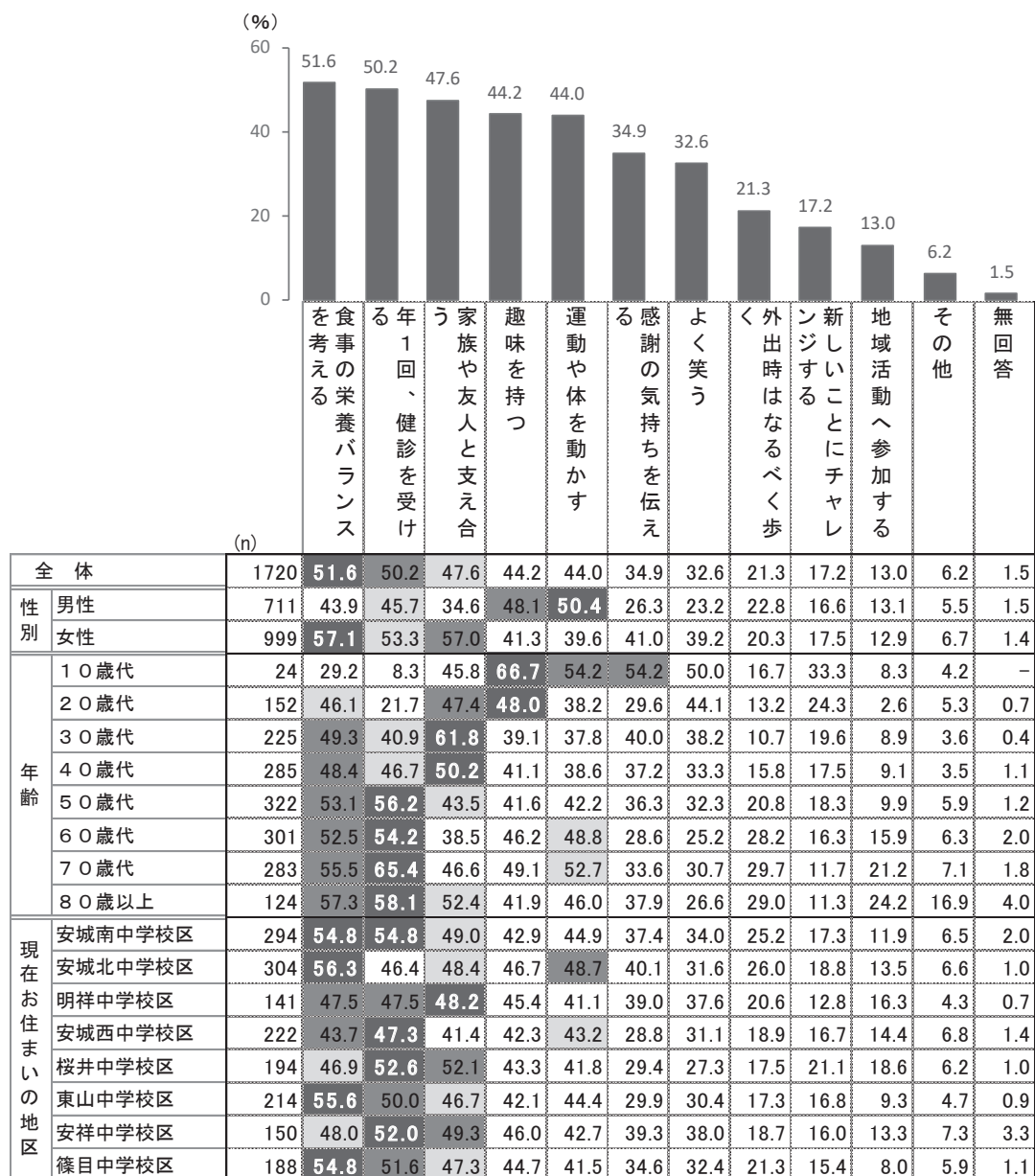
普段から心掛けていることについて、全体でみると、「食事の栄養バランスを考える」が51.6%と最も高くなっており、次いで「年1回、健診を受ける」（50.2%）、「家族や友人と支え合う」（47.6%）となっています。

性別でみると、男性は「運動や体を動かす」（50.4%）、「趣味を持つ」（48.1%）、「年1回、健診を受ける」（45.7%）、女性は「食事の栄養バランスを考える」（57.1%）、「家族や友人と支え合う」（57.0%）、「年1回、健診を受ける」（53.3%）の順となっています。

年齢別でみると、10歳代・20歳代では「趣味を持つ」、30歳代・40歳代では「家族や友人と支え合う」、50歳代～80歳以上では「年1回、健診を受ける」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、安城南中学校区では「食事の栄養バランスを考える」と「年1回、健診を受ける」が、明祥中学校区では「家族や友人と支え合う」、安城北中学校区、東山中学校区、篠目中学校区では「食事の栄養バランスを考える」が最も高くなっています。その他の中学校区では、「年1回、健診を受ける」が最も高くなっています。

図表 7 4 「健幸」のために普段から心掛けていること（全体・性・年齢・居住地区別）

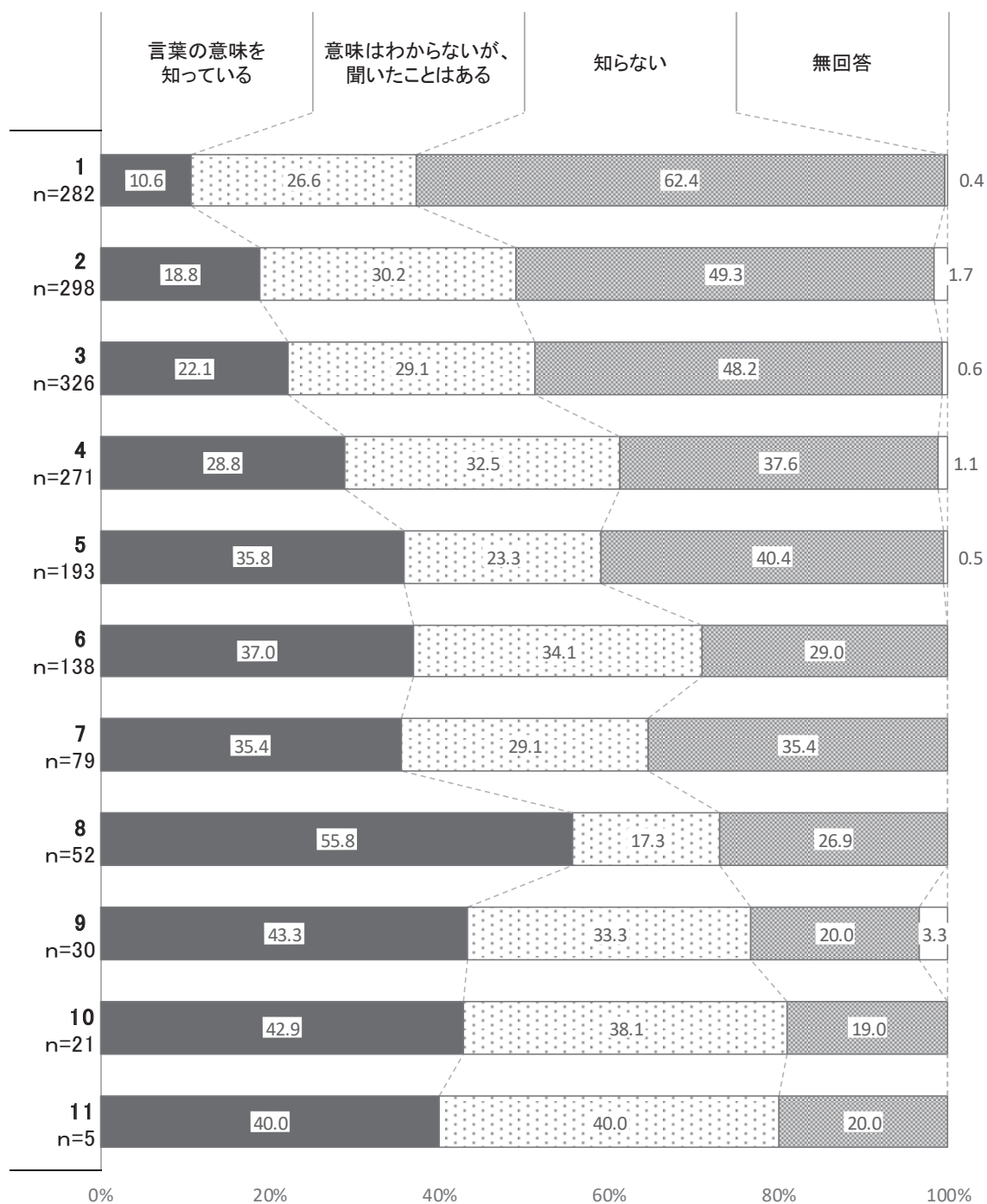


<「その他」の回答>

- 近所の人にあいさつをする。
- 気分転換（ストレス解消）
- 子どもと遊ぶ 等

「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度をみると、回答数が多いほど「健幸」の認知度が高い傾向にあります。

図表 7 5 「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度



19. SDGsの認知度と取組み

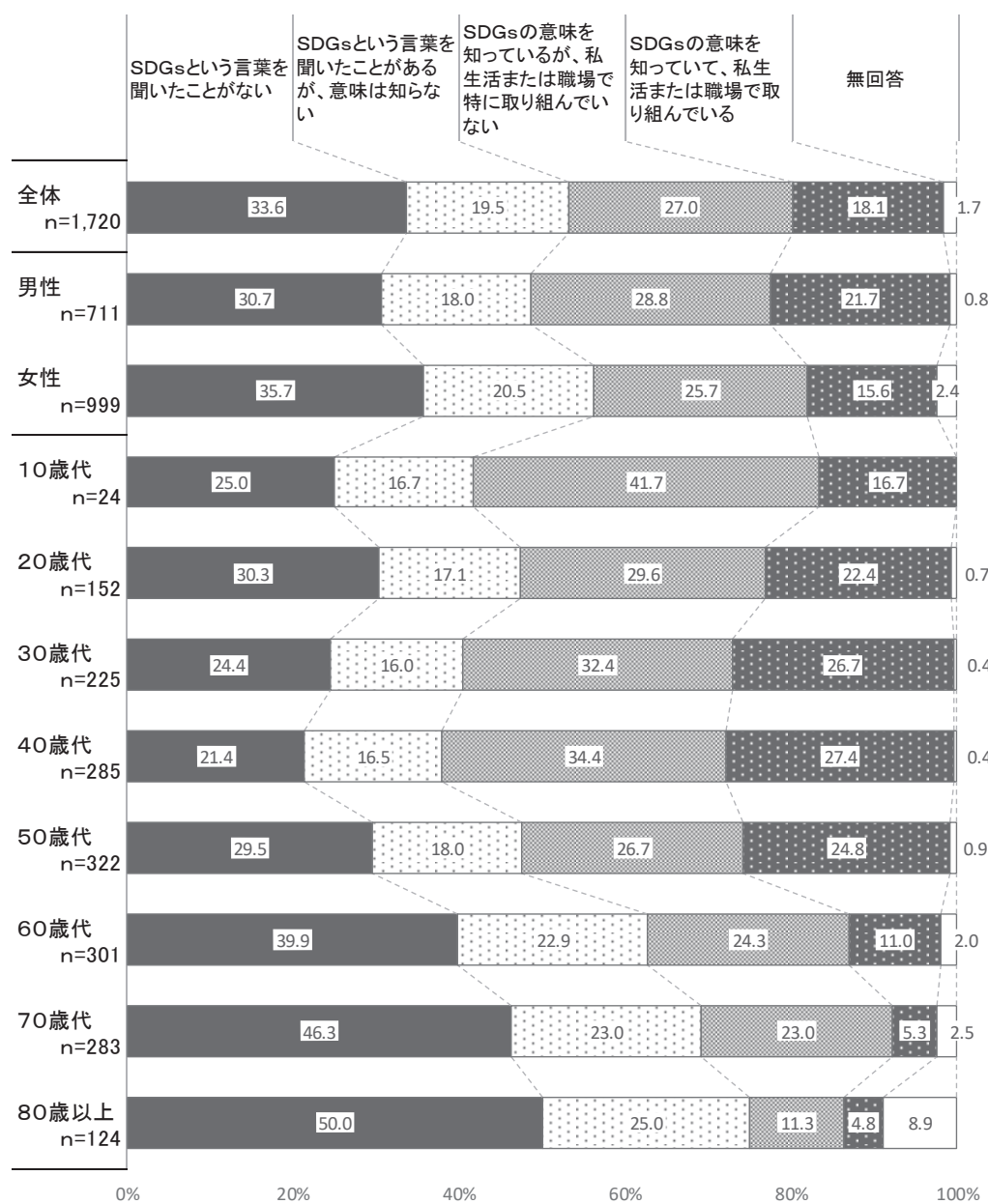
問46 本市は「ケンサチはSDGs」のスローガンのもと、持続可能でケンサチなまちづくりを推進しています。「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2030年までに「誰一人取り残されない」持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsについてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

SDGsについて、全体でみると、“知っている”（「SDGsという言葉聞いたことがあるが、意味は知らない」＋「SDGsの意味を知っているが、私生活または職場で特に取り組んでいない」＋「SDGsの意味を知っていて、私生活または職場で取り組んでいる」）は64.6%、「SDGsという言葉聞いたことがない」は33.6%となっています。

性別でみると、“知っている”は男性が68.5%、女性が61.8%となっており、男性の方が女性よりも高い割合となっています。

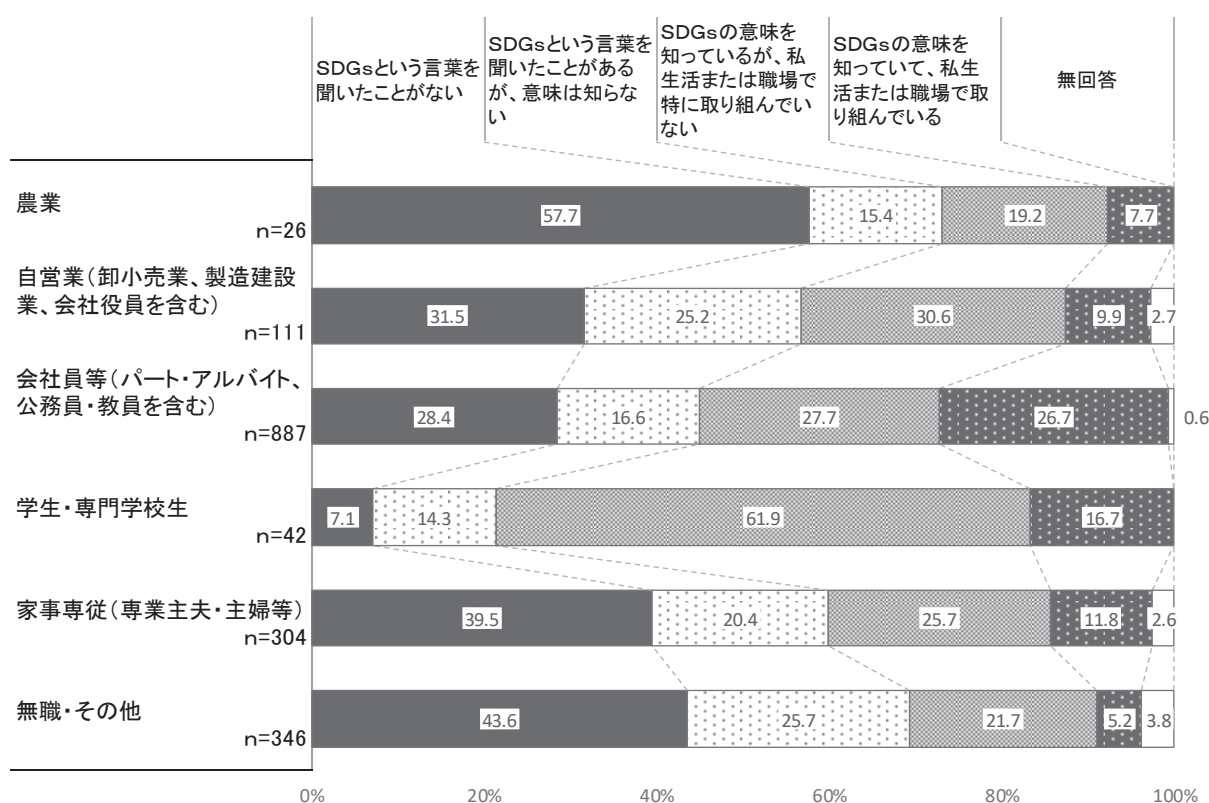
年齢別でみると、“知っている”は40歳代が78.3%と高くなっています。一方で、50歳代以上では、年齢が上がるにつれて“知っている”割合が減少する傾向にあります。

図表 7 6 SDGs の認知度と取組み（全体・性・年齢別）



職業別でみると、“知っている”と答えた人の割合は「学生・専門学校生」(92.9%)、「会社員等(パート・アルバイト、公務員・教員を含む)」(71.0%)、「自営業(卸小売業、製造建設業、会社役員を含む)」(65.7%)、「家事専従(専業主夫・主婦等)」(57.9%)、「無職・その他」(52.6%)、「農業」(42.3%)の順となっており、職業によって大きな差がみられます。

図表 7 7 S D G s の認知度と取組み（職業別）



4 自由記入意見のまとめ

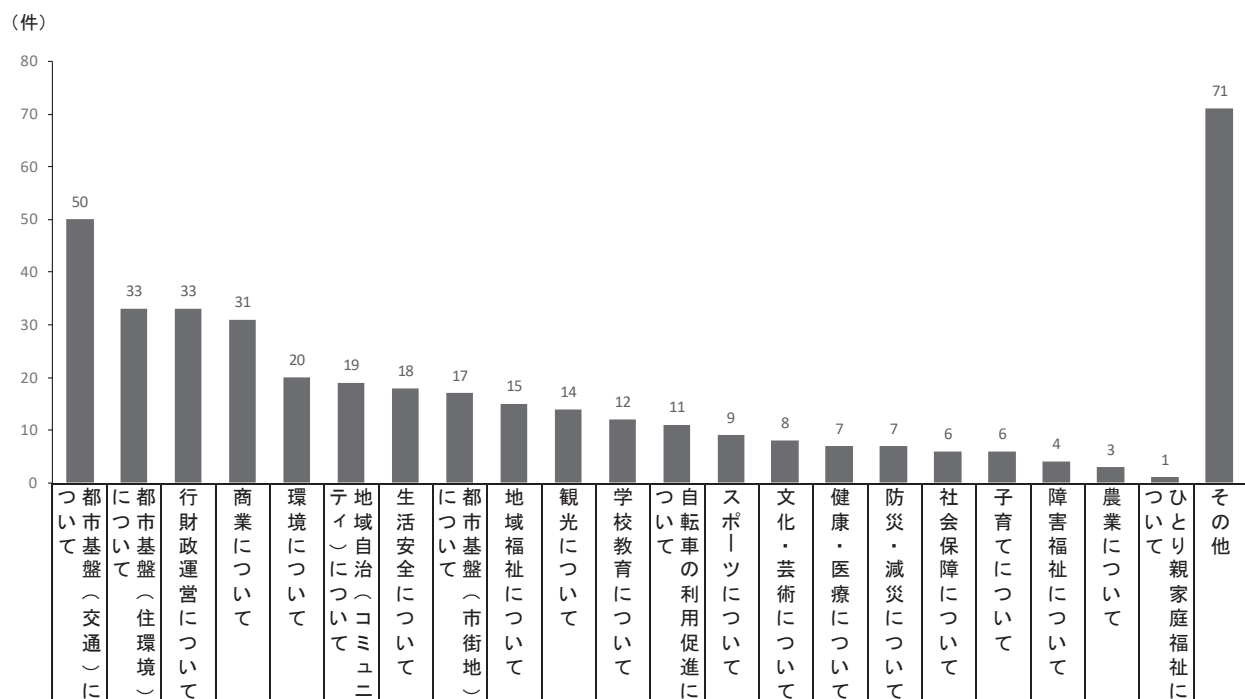
安城市の今後のまちづくりについて計355人の方から自由意見が寄せられ、延べ396件の意見が寄せられました。

1. 自由記入意見の内訳

「都市基盤（交通）について」に関する内容が50件と最も多く、次いで「都市基盤（住環境）について」「行財政運営について」に関する内容がそれぞれ33件になっています。

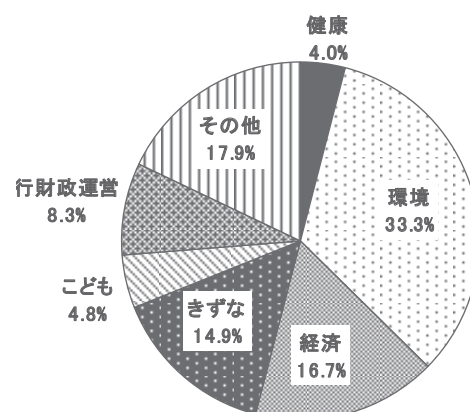
施策分野別では、「環境」に関する内容が132件（33.3%）と最も多く、次いで「経済」に関する内容が66件（16.7%）、「きずな」に関する内容が59件（14.9%）となっています。

図表 7 8 自由記入意見の項目別件数



図表 7 9 施策分野別自由記入意見の内訳

施策分野	件数	%
健康	16	4.0%
環境	132	33.3%
経済	66	16.7%
きずな	59	14.9%
こども	19	4.8%
行財政運営	33	8.3%
その他	71	17.9%
計	396	100.0%



2. 主な意見

① 健康

○健康・医療について

・ ケンサチというなら、もっと体を動かしやすい環境作りをして欲しい。サイクリングロードを活用して夜でもランニングしやすいような作りしてほしい。
・ 市民全体健康な町に、派手にしない町に。
・ コロナの情報が少ないので逆に不安になる。誰がではなくどのようなことで感染したのかが知りたい（自分が気をつけている事でいいのか不安になる）。
・ コロナ予防のワクチン接種は、私達高齢者は接種できたが、一番社会に貢献している中年層やこれからの担い手となる若年層がワクチン不足（？）で足踏み状態。全国的な問題とは言え何とかして欲しいと毎日祈っています。五輪後も市民皆が健康でいたいです。
・ コロナワクチンの充実、飲食店などのコロナ不況の人達への支援、子育て世代への支援はお金ではなく、たくさんの大人が子どもに関わりを持つ工夫をしたほうが良い。

○スポーツについて

・ 少ない人数で楽しめるテニスができるように、テニスコートの整備をしてほしい（特に安城北部）。
・ 健康の為にプールに行きたいのですが 400 円は高齢者には少し高額な気がします。刈谷市は 250 円、たぶん西尾市も 250 円。安城は高すぎます。
・ 公園内に設置してある健康器具の数をもっと増やしてほしいです。
・ 緑地、公園などでどなたでも行けるラジオ体操、その他、年寄りでも楽しむ場所を造ってください。ポイントまで行くのが遠い。

② 環境

○環境について

・ 三河安城のスーパーに設置されていたリサイクルステーションが無くなり、段ボールや古着をリサイクルできる所が遠くなった。リサイクルステーションの数が足りないと思う。
・ ゴミ回収について、午後になっても燃えるゴミの回収が無く、においもしており困っております。一度対応を考えていただけると嬉しいです。
・ ゴミ分別の基準がわかりにくい（例：かたいプラスチックは危険物か、プラスチックゴミか）。ファイルの表紙のプラスチックはプラゴミ？燃えるゴミ？危険物？
・ ごみ袋 35L は少々小さい。45L に戻してほしい。
・ 場所によってゴミのポイ捨てが気になります。市民の環境に対する意識を高める機会があれば良いなと思いました。
・ ペットボトルも町内のゴミステーションで捨てられたらありがたい（燃えるゴミ、燃えないゴミ、プラスチックみたいに）。

○都市基盤（住環境）について

・ 明祥中学校区は、田、畑が多く、静かだけれども交通の便が悪く、スーパー、ドラッグストアなどがまったくない為、年寄りになったら、不便を感じる。ウォーキングが出来たり、子どもも体を動かせる無料の公園が増えると良い。
・ 調整区域をもう少し少なくして住める場所を増やしてほしい。
・ 新幹線の三河安城駅周辺の活性化が必要かと思います。周辺の市と比べて、とても便が良く、生活しやすい街だと思っています。市政に関わる方々の努力に感謝しています。
・ 安城駅周辺の再開発。商店街がさびれている。頑張ってください。
・ JR 安城駅のトイレやホームが汚いので整備してほしい。
・ 車道、歩道をしっかり分けし、歩道を広くとってほしい。草が生え放題になっている。無駄な所にお金を使わず、安全に生活、住めるように整えて欲しい。
・ 潤沢なしの基金を利用し、市民が暮らし易い行政をしてほしい。新安城駅の改修工事に名鉄と半々の費用負担にしてほしい。開かずの踏切対策をしてほしい（新安城の西側）。パソコン、インターネットなどで不慣れな高齢者のことを考えて欲しい。

○生活安全について

・ 防犯システムの充実。犯罪のない町づくり。
・ 街頭が少なく夜道を歩くのに不安で怖い。もっと増やしてほしい。
・ 市内の公園の遊具が古いものがあり、小さな子どもでも安全に遊べるようにしてほしいので、遊具の管理や点検をお願いします。
・ 新安城駅付近で跡をつけられたことが何度かある（警察連絡済み）。住宅街でも人気のない所には防犯カメラを設置してほしい。

○都市基盤（交通）について

・ 交差点での交通事故防止の為、すべての交差点を歩車分離式にしたらどうでしょうか。
・ 自動車道がガタガタで、雑草も多く、何度か転びそうになる。昭林公民館～南高校へ行く道。
・ 市役所まわり、桜井地区と開発が進んでいますが他の地区も道路を広げたり、標識を大きく見やすくしてもらいたい。総合運動公園近くは大きいけど、他はどうでしょうか？
・ 片側二車線の道路を一車線にしてほしい。運転しづらく危険に感じます。県道 48 線も一車線に変わりました。警察署の前、コロナワールドの東など、一部残っています。残念です。
・ 交通渋滞が多い（朝・晩のラッシュ以外でも）。道路の拡張よりも、右折レーンを増やしてほしい。抜け道として、農道・集落内を、高速で乱暴に走る車が多く、危険に思うことが多々ある。
・ 交通の要所として、事故の抑止と渋滞の緩和。
・ あんくるバスの沿線の拡充（運行時間含む）。市内でもあんくるバスが通っていないエリアがある。運行時間が少なく使用しづらい。
・ 安城駅と新安城駅のロータリーが狭いから本当になんとかしてほしい。駅の周りの駐車場が少ないし高い。

○自転車の利用促進について

・ 町中が狭く、自転車の移動は難しい。安全に走れる道を確保。アンフォーレも車の止め方、入り方が不便。今までに1回しか利用していない。
・ 緑道での自転車走行の注意事項がなにもない。並列走行中止、スピードの注意事項の掲示、看板等なにもない。3列歩行、3列走行が非常に多い。
・ 自転車専用の道を作って欲しい。
・ 私は自転車を乗りませんが主人が言うには、自転車レーンが狭くて危険なところが多く見かけられ車と接触しそうであるとの事です。車道が狭い所を運転している時に、自転車がレーンを走行中、ふらついてたり、転倒したりするのではないかと大変心配になり、運転しにくいです。
・ 主婦や子どもが自転車を利用する事が多いが、走行する為の道幅が狭かったりする。また、ルールもあやふや、今一つよくわからない。
・ 歩道と車道と自転車道の区分を進めてほしい。現状では自転車が走るための余裕がなく、車道を走れば車に迷惑をかけ、歩道を走れば歩行者に迷惑をかけてしまっている。自転車の利用を増進するためにも車道左側に走行できる余裕が必要である。
・ 自転車のマナーが悪く危ない。

③ 経済

○農業について

・ 田、畑の維持が無理です。
・ 商業施設等に安城の野菜を無人販売などで、季節の野菜や体に必要な栄養の紹介などで安城のいい所をアピールしてほしい。
・ 安城産の野菜、果物の地産地消を推進してほしい。スーパーの店内に安城産が少ない。安城イチジクの加工品は安城産で加工場が兵庫県では買わない。安城農林高の加工品が見つからない。

○商業について

・ モール安城の跡地を見るたびに寂れた町だと感じる。どうにかして欲しい。末広・花ノ木町は、駐車場と住宅しかなく、商業施設がないので市が発展しない。もっと、大型店を誘致して欲しい。
・ 1日中過ごせる大型商業施設があると良い。
・ 駅のまわりの商店街の活性化を頑張してほしい。せっかく、アンフォーレのような利用施設があっても周りが閉まっていれば印象が悪い。桜井の方ばかりきれいにするのはではなく、昔ながらの商店街も大事にしてほしい。シャッターが閉まっている所が多く感じる。40年以上安城に住んでいるのでずっと好きな街であって欲しい。
・ 商業施設がない。隣の市まで行ってお金を落とすより自分の住んでいる市にお金を落としたい(使いたい)。若者にとっても魅力的な街にして欲しい。
・ 商店街がさみしいですね。昔のようににぎやかになると嬉しいけれど難しいですね。お値打ちな野菜、くだもの、パン屋、惣菜屋などなど活気ある商店街が見たいものですね。
・ 安城駅の近くにコンビニが無いのが不便。
・ 娯楽施設を増やしてほしい。

・ 大型商業施設がほしい、買い物を他市でせざるを得ないのは悲しい。
・ 市全体にキャッシュレス化を進めて欲しい。

○観光について

・ デンパークについて。子どもが小さい頃はよく行っていましたが、今は年に 0～1 回程度です。大人でも楽しめるような魅力があればまた行きたいと思います。リーズナブルな料金で工作（大人向け）など。ガーデニングについて気軽に聞けるなど。
・ 年に 2 回入園無料でデンパークに入れるのはありがたいが、普段の入園料をもう少し下げて欲しい。
・ 花が好きで、かつてあじさいの挿木をして 3 千本以上植樹をした事がある。例えば桜と藤の公園、ひまわりの畑など市内で鑑賞できる所、出来ればデンパーク附近で駐車場を整備すれば相乗効果で双方楽しむ人が増えると考えます。

○都市基盤（市街地）について

・ もう少し緑豊かな町にしてほしいです。
・ キレイな町づくりの為に、既存の物の修繕や、アスファルトをさえぎる雑草の手入れ、防犯カメラ、歩行の為に街灯の設置をしてもらえると、歩行や自転車を使用し、環境重視で生活ができる。
・ 街路樹が他の市に比べて大変ひどい状態になっている。もう少し、長期のプランを立てて美しい街路樹を作って欲しい。県道 48 号線のいちょうの木は、とても残念。美しいはずのいちょうの木を秋に見た事がない。
・ 歩道幅の狭い所に街路樹があり、歩きにくい所もあります。移植して歩道を広くしたらと思います。街全体がすっきりときれいになります。
・ もっときれいで住みやすい町にしてほしい。
・ 農地がなくなり、企業や運送会社ができ、大型トラック等の道路の整備ができていない。昔のような、田園地帯の広がる、人にやさしい環境がいい。子ども達の為に人工的でなく自然な環境を残して欲しい。日本のデンマークと言われた頃のように。

④ きずな

○防災・減災について

・ 北明治の都市計画並び区画整理事業について災害に強い街づくりを再調査願いたい。
・ 防災ラジオを有効に発信して欲しい（有事の時避難場所が開設されているかどうかなど）。
・ 水害対策の強化
・ ハザードマップの説明会の実施。企業高層マンション等の災害避難時に対して対応の協力。市役所、駅、アンフォーレ等、起点での〇km、所用〇分等のマップの作成→ふだんから自分たちで健康作り。
・ ハザードマップの表し方がアバウト過ぎる。避難場所への案内は具体性に（この地区はどの様にどこへ）欠け、安心、安全の導きが足りない。町内会からの声掛けもない。道路は行き止まりが多く車の流れが悪く通学児童に危険な状態。

○地域福祉について

・ 老人福祉について積極的に取り組んでほしい。
・ 高齢化に対応した市独自の交通手段の充実。
・ 車が運転できなくても、生活しやすいまちづくりをお願いしたい。免許を返した人にタクシー補助券を配布するなど。
・ 乗り合いタクシーを増やしてほしい。病院、買い物に行くのに老人社会に必要なもの物理的なものを考えてほしい。
・ ①高齢者の健康・介護・福祉②生活安全③防災・減災に重点を置き、市政運営を行っていただきたいです。中でも特に、①を最重要課題に置き、取り組むべきだと思います！老化は全ての人々が通る道なので、全ての市民に公平な分野に税金を使用して欲しいです！

○障害福祉について

・ JR 駅のバス停の位置から駅までが階段で足の悪い人にとって不便を感じます。陸橋の下に横断歩道があれば、エスカレータまで行けるかと思いますが。
・ もっと障害者に優しいまちになってほしいです！！
・ 自立支援の更新時、現在の医療環境精神病状態、住・人・心などの聞き取り、何か助けになるサービスなどを教えるとかあってもいい。

○社会保障について

・ 乳がん検診の補助の年齢を下げて欲しいです（全額出なくても、1/2 補助でもかまわないのでお願いします）。
・ ぜんそくやアトピーの人への補助制度を設けてほしい。
・ 子どもの未来に携る保育士さんを優遇してあげて欲しいです。仕事がキツイ割に給料が安いと感じます。もっとたくさん保育士さんを採用してください。看護師さんも同様です。
・ 大人で無職という人がないようにしてほしい。職がなく、収入が無いのが一番悲しい。福祉で手当てしても満足はできない。誰も働く場所がある世の中でありたい。

○文化・芸術について

・ 文化・芸術に関する施設を増やしてもらいたい。
・ コロナ禍で大変ですが、積極的なイベント実施をお願いします。
・ マツパホールは、リニューアルしたのに座席が狭く残念です。
・ アンフォーレの図書館の休みを少なくしてほしい。

○地域自治（コミュニティ）について

・ 昔あった《地蔵めぐり》のようなイベントが地元であると老若男女交流が深まり、地域安全性も高まるのでは。
・ 地域、町内会の声に親身になって耳を傾け、市民に暖かいまちづくりを今後も目指していただきたい。

地域によっては住みにくい所、治安が悪い所もあり、外国人が多くなっている町でそうした人たちと交流を持ち明るい町にして欲しい。
お互いに声のかけられる、近所、お隣であり助け合いたいと思う。でもそうしたくない人もおり、孤立してしまう。個人情報等で難しくなっている。
町内会への募金等はやめて欲しい。町内会で各組があり、集金される。これは必ず募金となる。やりたい人は他で募金をするので、各家庭まで町内会から集める必要はないと思う。
地域コミュニティづくりの推進と支援、学校との連携を重視する施策。

⑤ こども

○子育てについて

産後のケア体制がうまく利用できなかった。理由は、赤ちゃんがいて時間もなく、産後で身体が辛くて頼りたいのに、市役所まで事前に本人が手続きに行かなくてはいけなかった事、それが出来ずすごく悲しくなった。これからのママ・パパ達が利用しやすい仕組み作りをしてほしい。
子どもが安心して水遊びができる公園、施設が欲しいです。噴水公園、生物の観察学習のできる無料施設。不妊治療に対するメンタルヘルス、費用、相談ケア。働きながらの不妊治療のつらさと現実サポート。
子どもを育てるにはとてもいい所だと思っています。他県からきて土地勘が無いので自分の責任ですが、和泉町の近くに公立の幼稚園、こども園がなかったのが残念でした。まだ七夕祭りに行った事がないので、早くコロナがおさまって開催されるのを楽しみにしています。

○学校教育について

児童クラブの運用の弾力化。保育園よりも、小学校に進学した方が、働きづらいです。
中部児童クラブで6年生まで受け入れてほしい。
学童（児童クラブ）の環境設備をしてほしい。教室を広くしてほしい（人が多くて密に感じる）。備品にかかるお金を増やしてほしい。
子どもは安城市にとっての財産だと思っています。その子どもたちの教育において、幼・保育園のおやつの有り方、あたえ方、中学生へのiPadの帰ってからの使い方など、親と共に考え、制限できるように一緒に考えて工夫してほしいです。
市内の公立高校を進学有名高になるようにレベルを高めるよう努力下さい。

○ひとり親家庭福祉について

ひとり親家庭への支援をもう少し拡充して頂きたい（ひとり親家庭なのに、いろいろ細かい条件等で支援が得られず、苦しい思いをしたので）。

⑥ 行財政運営

○行財政運営について

・ 介護保険料が高い。市民税が高い。裕福な人から取って欲しい。
・ シニアでも生活しやすいように税の軽減等。医療費の援助（65 歳以上でも 1 割負担）。
・ 環境クリーンセンター内、腐敗臭がひどい。作業員のためにも、エアカーテン・排気装置等を設置して作業環境の改善を！！
・ 税金は公平に使われるべきで、一部（多数でも）の該当者（生活困窮者を除く）だけに恩恵がある制度には使われるべきではないと思います。使う場合は、厳格な所得制限等を設けるべきだと思います。ご配慮を宜しくお願い申し上げます。
・ 各年代が健幸になるような施策を至急検討して、ずっと継続できるように。また多くの人が一緒に参加型で出きるものを是非とも考えてください。
・ ふるさと納税制度により流出していく住民税を可能な範囲で防ぎ、大幅な流入に変えられるように、特産品や観光等を活用し、全ての住民の生活が潤うような取り組みをお願いします。
・ 子供がいない人も参加しやすいイベントを増やして欲しいです。子どもがいる家庭ばかりが優遇されて、不公平と感じる事が多いです。
・ 市民からの意見を聴いて、具体的な実現のスケジュールと市民への広報活動に努力されますことを希望いたします。
・ HP など、ネットでの情報がとりにくい。もっと IT の活用を！！
・ 安城市に 50 年以上住んでいるが、まちづくりの取り組みを知らない事が余りにも多過ぎて、現実を知れてのアンケートは有効だった。町内の会合や回覧板だけでなく、キャッチや携帯アプリなどで市民全員に発信する手段を検討し実施して頂きたい！！
・ 職員の人が、もっと市民と接する機会を増やしていただければ、またいろんな意見が聞けると思う。受け身でなく積極的に！！
・ 私は、40 代の女性です。少しずつ働く時間を増やして、一昨年、扶養から外れるための手続きをするために市役所の税務課へ行ったのですが、その際、担当の男性職員の方から、「離婚ですか」と聞かれて悲しくなりました。「頑張って働いただけですよ。」と答えたのですが、SDGs に取り組んでいる市とは、とても思えませんでした。憤りを感じています。他の課の女性職員の方は、丁寧な対応でしたので、ギャップも大きかったです。

⑦ その他

○まちづくりや SDGs について

・ 市の取り組みの中に、男女共同参画や女性活躍の視点が不足しているように思います。Q4～27 の中にも入っていない。SDGs を推進するのに、岡崎市などは「SDGs 未来都市」に選ばれたりしているので安城市もそのようなアピールがあってもよいのではないのでしょうか。
--

・ 住みやすいまちづくりは、市が取り組むだけではできず、市民一人ひとりの行動も重要になってくると思います。市と市民、そして市にある企業とも連携していくことが重要であると考え、この SDGs 課ができ、モデル事業として手を挙げている企業に何の返答もないことがとても残念である。地域との連携、住みよい、よりよいまちづくりを、市民、企業なくしてはできないと思うが、どう考えていらっしゃるのでしょうか。
・ 健幸&SDGs のまちづくりについて、個人の方の取り組みを広報や HP で up していただくと、私個人も参考に行動させていただきます（リレー方式などで）。市民の方からのスタートでもいいのですが、市職員さんのそれぞれの取り組みなどを up していただきたい。
・ SDGs、英単語の頭文字と思いますが、老人の英語を知らない人には日本語で説明しては？いくら立派な事を書いたり、言ったりしても言葉も解らなければ馬の耳に念仏です。
・ 安城市がより良いまちづくりを進めるために、いろいろな目標を掲げるのはいいが、表現が難しくて分かりにくい部分が多い。もっと分かりやすくしてほしい。
・ 施設や施策をつくる時は現場に働く人たちの意見をよくきくまたは、男性だけで決めるのではなく自分の信念を持った女性、意見を言える女性を数多く入れて決めていくようにしてください。国や県の言うとおりに政策をこなすのではなく安城市としてはどうか、西三河としてはどうかとしっかりと自治の考えを持って事にあたってほしい、若者、老人が住み続けたいと思える安城市にしていきたい（できそうな事には協力していきたいと思う）。
・ 人口増を目指し、「中核市」になれるように努力してほしい。
・ 市民に寄り添う町づくりを今後もよろしくお願いします。
・ 皆が安心して生活できる社会を築いて下さい。まちがいをまちがえていると言える社会が大切だと思う。

○安城市について

・ 安城七夕に流れる音楽や、デンパークのデンマーク様式、南吉などいろいろな物が混ざりすぎて、どんな街なのかわかりづらいので、しっかりと何を売りにする市なのか、再度ブランディングが必要だと考える。岡崎に負けたくない！
・ 安城市に長年住んでいるが、市が取り組んでいる事柄をほとんど知りません。当社の従業員も多くの人がそうです。毎日働いて食べて生活する事に必死です。国が目標としている働き方改革を安城市としてもしっかり管理して、市民が心と時間に余裕が持てれば、市が取り組む事に興味を向けられると思います。小さな子どもがいない人は特に興味を持つことが難しいのでアピールの仕方も考えてほしいです。高齢者や老後の事についての取り組みもしっかり行ってほしい。老後が不安すぎます！
・ これからも市政運営に向けて頑張って下さい。他市より安城市に引越して来て、今は本当に住みやすいです（病院等）。皆様、安城市は住みやすいとの事です。
・ 緑豊かな安城市を活かし、動物（ペット）に優しいまちづくり。ペットとともに楽しめる施設（ドッグランカフェ、宿泊）。
・ 安城は農村地帯のせいか村意識が強い。もっと新しい考え方を受け入れる様な環境を整えて欲しい。

V. 參考資料

1. 調査票

安城市市民アンケートのお願い

日ごろから市政運営にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

安城市では、平成28年度から第8次安城市総合計画*のもと、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて取組を進めています。令和2年度からは、後期計画となるケンサチ2.0のもと、「健幸（ケンサチ）」のまちづくりは、SDGsの推進に資するものと考え、「ケンサチはSDGs」をスローガンとし、公民連携のまちづくりを推進しています。

このアンケートは広く市民の皆様のお考え（満足度や重要度）をお伺いし、計画の進捗状況の把握や今後の取組への基礎資料として活用させていただき、非常に重要なアンケートです。

質問項目が多く誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

* 計画期間：平成28年度から令和5年度まで（8年間）

- 1 安城市在住で18歳以上の方の中から3,000人の方を無作為に抽出しました。
- 2 このアンケートは、宛名の方に記入をお願いしましたが、何らかの都合で記入できない場合は、ご家族の中で18歳以上の方であれば、どなたでも結構ですので代わってご回答をお願いします。その場合は、記入された方の立場でお答えください。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 4 アンケートに氏名を記入する必要はありません。結果は全て統計的に処理し、アンケートの目的以外に利用することはありませんので、お考えになっていることや、お感じになっていることをありのままご回答ください。
集計結果につきましては、広報あんじょう、ウェブサイト等で公表させていただきます。
- 5 回答方法については、本調査票に記入のうえ**7月28日（水）**までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送いただくか、Webページからご回答ください。

【Web回答の方法】

Webでもご回答いただけます。右のQRコードを読み取っていただくか、「<https://www.city.やすしろ.lg.jp/sdgs/kenzochi>」を入力し、Webページにアクセスしてください。下記IDとパスワードを入力し、ご回答ください。Web調査でご回答いただいた場合は、この調査票を返送していただく必要はありません。



利用者ID

パスワード

- 6 アンケートについてご不明な点・ご質問等がありましたら、下記までおたずねください。

【お問い合わせ先】 安城市企画部健幸=SDGs課企画政策係

TEL 0566-71-2204（直通）0566-76-1111（代表）

FAX 0566-76-1112

総合計画ってなに？

アンケートの前に、「総合計画」について簡単にご紹介します。

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で一番重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。

第8次
安城市総合計画

幸せつながる健幸都市

安 城



第8次総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに次の5つの施策分野の目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。

＜目標とするまちの姿＞	
「健 康」	生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち
「環 境」	くらしの質を高める持続可能なまち
「経 済」	地域の魅力、潤いと活力あふれるまち
「きずな」	人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち
「こども」	子どもたちを社会で豊かに育むまち

「第8次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/>



つながる。かなえる。安城
健幸〈ケンサチ〉のまち、安城

1 あなた自身についておたずねします。

問1 該当するものをそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

1 性別

- 1 男性 2 女性

2 年齢（令和3年7月1日現在）

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳以上

3 職業

- 1 農業
2 自営業（卸小売業、製造建設業、会社役員を含む。）
3 会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む。）
4 学生・専門学校生
5 家事専従（専業主夫・主婦等）
6 無職・その他

4 現在お住まいの地区

（中学校区がわからない場合は、封筒のあて名シールをご参照ください。）

- 1 安城南中学校区 2 安城北中学校区 3 明祥中学校区
4 安城西中学校区 5 桜井中学校区 6 東山中学校区
7 安祥中学校区 8 篠目中学校区

5 安城市での居住年数（通算年数でお答えください。）

- 1 1年未満 2 1年以上5年未満
3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満
5 20年以上

2 安城市の住みやすさについておたずねします。

問2 安城市の住みやすさについてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- 1 住みよい 2 どちらかといえば住みよい
3 どちらかといえば住みにくい 4 住みにくい

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。住みにくいと思う点についてお答えください。（あてはまるもの2つに○）

- 1 交通の便が悪い 2 騒音、大気汚染等生活環境が悪い
3 文化、スポーツ施設、教養施設が少ない 4 緑地、公園、広場などが少ない
5 地域の連帯感が希薄である 6 日常の買い物が不便である
7 娯楽施設が少ない 8 教育、保育施設が少ない
9 福祉、医療施設が少ない 10 物価が高い
11 その他（ ）

3 これまでの安城市の取組み全般についておたずねします。

次の事項（問４～問２７）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

ア【満足度】 これまでの安城市の取組みについて、どれくらい満足していますか。

イ【重要度】 今後、これらに安城市が取り組むことはどれくらい重要とお考えですか。

それぞれ１～７のいずれか１つに○をつけてください。

	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
これまでの安城市の取組み														
○健康について（問４～問５）														
問４【健康・医療について】 ・健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施 ・健康イベント（あんじょう健康大学など）の開催 ・休日夜間急病診療所の運営 ・あんじょう健康マイレージ（アプリ版含む）事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問５【スポーツについて】 ・体育館、ソフトボール場など、スポーツ施設の管理運営及び施設改修 ・安城シティマラソン、デンパーク駅伝、ウォーキングイベントなど市民参加スポーツ事業の開催 ・全日本大学女子ソフトボール選手権大会（インカレ）、日本女子ソフトボールリーグ、バスケットボール女子日本リーグなど全国レベルのスポーツ観戦事業の開催	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
○環境について（問６～問１０）														
問６【 環境について 】 ・スマートハウス関連機器*1の設置補助 ・次世代自動車*2の購入補助 ・ごみの減量・分別に対する取り組み	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問７【 都市基盤（住環境）について 】 ・公園遊具の計画的な更新 ・下水道の計画的な整備 ・多世代で居住するための住宅の取得等の支援	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問８【 生活安全について 】 ・地域や学校などでの防犯・交通安全教室の開催 ・防犯灯・防犯カメラの設置 ・交通安全・防犯の啓発活動	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問９【 都市基盤（交通）について 】 ・あんくるバスの運行の充実（ダイヤの改正、循環線のルートの変更） ・新安城駅の整備、南安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１０【 自転車の利用促進について 】 ・自転車走行空間（ブルーライン）の整備 ・TSマーク*3取得補助 ・自転車啓発イベント（自転車教室等）の実施 ・自転車のマナー・ルール啓発活動	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*1 スマートハウス関連機器：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

*2 次世代自動車：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

*3 TS マーク：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
○経済について（問１１～問１５）														
問１１【 農業について 】 ・農地の流動化*4、担い手*5の育成 ・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施 ・地産地消・食育の推進	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１２【 商業について 】 ・商業の支援体制の充実 ・空き店舗対策の実施 ・プレミアム商品券事業などの経済対策	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１３【 工業について 】 ・安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）の設置等、創業支援の推進 ・ものづくりセミナーの実施 ・企業立地推進計画の策定	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１４【 観光について 】 ・七夕まつり、桜まつりの開催 ・デンパークの充実（施設・イベント） ・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１５【 都市基盤（市街地）について 】 ・南明治地区土地区画整理事業の実施 ・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び賑わい創出事業の実施 ・桜井駅周辺特定土地区画整理事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
○きずなについて（問１６～問２３）														
問１６【 防災・減災について 】 ・水害ハザードマップの作成と全戸配布 ・消防団及び地域防災組織の防災活動支援 ・雨水貯留施設の計画的な整備	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問１７【 地域福祉について 】 ・町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置 ・町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
問 18 【 障害福祉について 】 ・ 24 時間対応の相談体制の整備 ・ 就労支援など自立に向けた支援 ・ グループホームや放課後等デイサービスなど各種サービスの実施や情報提供	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 19 【 社会保障について 】 ・ 生活困窮者の自立支援 ・ 特定健診*7結果によって行う特定保健指導*8などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 20 【 生涯学習について 】 ・ 公民館等における各種講座や教室の開催 ・ 図書館の充実とアンフォーレ、公民館図書室、学校図書室の連携による子ども読書の推進 ・ 文化センター、プラネタリウムの整備	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 21 【 文化・芸術について 】 ・ 史跡本證寺境内などの文化財の調査と保護、三河万歳などの伝統文化伝承支援 ・ 文化芸術による心の豊かさの醸成、地元作家の作品展や舞台芸術の発表、情報発信 ・ 歴史博物館で地域の歴史を学ぶことによる郷土愛の育成、歴史資料の保存	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 22 【 参加と協働について 】 ・ 審議会などの市民公募委員の募集 ・ パブリックコメント*9、ワークショップ*10、eモニター*11の実施による意見募集 ・ 市民交流センターの充実と市民活動への支援	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問 23 【 地域自治（コミュニティ）について 】 ・ 町内会及び地域が行う活動への支援 ・ 町内会の管理する集会所施設などの建設・改修補助	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

*7 特定健診：40 歳～74 歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

*9 パブリックコメント：市が公表した施策などの案に対し、市民から意見を求めて、その意見の概要及び市の対応を公表する制度

*10 ワークショップ：参加者同士が問題解決のために議論や共同作業を行い、施策に対し理解を深めたり、意見を述べる研究集会

*11 eモニター：インターネットと電子メールを利用した登録制のアンケート調査

これまでの安城市の取組み	ア【満足度】							イ【重要度】						
	1 非常に満足	2 満足	3 やや満足	4 やや不満	5 不満	6 非常に不満	7 わからない	1 非常に重要である	2 重要である	3 まあ重要である	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 全く重要でない	7 わからない
○こどもについて（問24～問26）														
問24【子育てについて】 ・低年齢児、延長保育、一時保育、休日保育などの充実 ・使用済紙オムツ回収・処分の実施 ・第3子以降の保育料・給食費の無料化及び小中学校給食費の無料化 ・児童クラブの対象学年拡大 ・民間保育園の誘致	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問25【ひとり親家庭福祉について】 ・ひとり親手当の支給 ・家庭相談員 ^{*12} による児童相談全般及び母子・父子自立支援員 ^{*13} による就業相談など ・産後の家事・育児支援事業の実施	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
問26【学校教育について】 ・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施 ・学校施設の改修（教室へのエアコン設置・トイレ・バリアフリー化など） ・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
○行財政運営について（問27）														
問27【行財政運営について】 ・キャッシュレス決済の導入など、ICT（情報通信技術）の活用 ・各種証明書のコンビニ交付サービスの実施 ・健全財政の堅持	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

***12 家庭相談員**：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

***13 母子・父子自立支援員**：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

あともう少しだ



4 あなたの日常生活についておたずねします。

問28 ご自身は健康であると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 健康である | 2 どちらかという健康である |
| 3 あまり健康ではない | 4 健康ではない |

問29 自身の食生活の問題点はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1 栄養のバランスが悪い | 2 野菜が不足している |
| 3 塩分をとりすぎている | 4 高カロリー食が多い |
| 5 欠食がある | 6 食べすぎてしまう |
| 7 夕食が遅い | 8 時間が不規則 |
| 9 外食(中食 ^{*14})が多い | 10 孤食が多い |
- 11 特になし
- 12 その他(下の自由記入欄へご記入ください)

***14 中食:** 惣菜店やコンビニエンスストア・スーパーなどで惣菜や弁当を購入したり、外食店のデリバリー(出前・宅配)などを利用して、家庭外で商業的に調理・加工されたものを購入して食べる形態

自由記入欄

問30 1日にどれくらいの時間を歩きますか。※ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含まれます。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------|-------------|
| 1 30分未満 | 2 30分～1時間未満 |
| 3 1時間以上 | 4 ほとんど歩かない |

問31 あなたは普段どれくらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか。※ラジオ体操やさんぽ、山や公園などでの散策も運動に含みます。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| 1 週に5日以上 | 2 週に3～4日 | 3 週に1～2日 |
| 4 月に1～2日程度 | 5 スポーツ・運動はしない | |

問32 安城市では「みるスポーツ」も推進しています。全日本大学女子ソフトボール選手権大会(インカレ)が安城市で開催されます。あなたは安城市で開催されるのを知っていましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------|----------|--------------|
| 1 知っている | 2 知らなかった | 3 何のことかわからない |
|---------|----------|--------------|

問33 通勤・通学以外で安城市内を移動するとき、あなたが最も多く利用する交通手段はどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 公共交通機関(鉄道やバス) | 2 自家用車(四輪車) |
| 3 バイク・原付 | 4 自転車 |
| 5 徒歩 | |

問 3 4 安城市内での移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 公共交通機関（鉄道やバス） | 2 自家用車（四輪車） |
| 3 バイク・原付 | 4 自転車 |
| 5 徒歩 | |

問 3 5 移動手段として、自転車の利用を増やしていきたいですか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|----------|-------------|
| 1 増やしたい | 2 できれば増やしたい |
| 3 考えていない | 4 わからない |

問 3 6 本市の文化芸術や歴史に愛着や誇りを感じますか。（あてはまるもの 1 つに○）

安城市の取り組み

- ・ 市民芸術祭（安美展、市民文芸まつりなど）の開催
- ・ 歴史博物館特別展・企画展の開催
- ・ 史跡本證寺境内の調査と保護

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえばそう感じる |
| 3 どちらかといえばそう感じない | 4 感じない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 3 7 本市の貴重な観光資源であるデンパークについてお聞きします。（あてはまるもの 1 つに○）

安城市の取り組み

- ・ 花と緑の魅力ある公園づくり
- ・ 地元農産物や特産品の P R 等地場産業の振興
- ・ 子どもの遊び場などのリニューアルや様々なイベント

- | | |
|---------|---------|
| 1 非常に満足 | 2 満足 |
| 3 やや満足 | 4 やや不満 |
| 5 不満 | 6 非常に不満 |
| 7 わからない | |

問 3 8 本市は子育て中の方が仕事をしやすい環境が整っていると思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

安城市の取り組み

- ・ 児童クラブの学年拡大（定員に余裕のあるクラブから 6 年生まで受入れ）
- ・ 低年齢児の受入れ拡大（保育園の改修、民間保育所などの誘致）
- ・ 子育て女性の再就職支援（セミナー、相談会の開催）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 思わない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 3 9 本市は消費生活に関する相談体制が整っていると思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

安城市の取組み

- ・消費生活センターの開設（月・火・木・金／午前 9 時 30 分～午後 4 時）
- ・消費生活講座の実施

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 思わない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 4 0 本市では、自治基本条例の見直しを行い、より分かりやすい表現に改めるとともに、市民参加や協働を進め、まちづくりを「自分ごと」と捉え参加できる地域社会の実現、市民の意識の醸成に努めています。まちづくりを「自分ごと」と捉える意識の醸成は進んでいると思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 思わない |
| 5 どちらでもない | 6 わからない |

問 4 1 マイナンバーカードがあればコンビニで住民票、印鑑証明書及び戸籍証明書が取得できます（ただし、一部条件により取得できない場合があります）。コンビニ交付サービスについてお答えください。（あてはまるもの 1 つに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい |
| 2 マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない（下欄へ） |
| 3 今後、マイナンバーカードを取得して利用したい |
| 4 マイナンバーカードを取得するつもりはない（下欄へ） |

2 又は 4 の理由を記入してください。

問 4 2 地震への備えとして、家具等の転倒防止のための固定を行っていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 行っている | 2 行っていないが、行う予定である |
| 3 行っていないが、できれば行いたい | 4 行っていないし、行う予定もない |
| 5 わからない | |

問 4 3 地震への備えとして、食料や飲料水の備蓄を行っていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 行っている | 2 行っていないが、行う予定である |
| 3 行っていないが、できれば行いたい | 4 行っていないし、行う予定もない |
| 5 わからない | |

問 4 4 「健幸（ケンサチ）」という言葉を知っていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 言葉の意味を知っている | 2 意味はわからないが、聞いたことはある |
| 3 知らない | |

問45 「健幸（ケンサチ）」とは、市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「いきがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。普段から心掛けていることを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 食事の栄養バランスを考える | 2 運動や体を動かす |
| 3 外出時はなるべく歩く | 4 趣味を持つ |
| 5 よく笑う | 6 年1回、健診を受ける |
| 7 地域活動へ参加する | 8 感謝の気持ちを伝える |
| 9 新しいことにチャレンジする | 10 家族や友人と支え合う |
- 11 その他（下の自由記入欄へご記入ください）

自由記入欄

問46 本市は「ケンサチはSDGs」のスローガンのもと、持続可能でケンサチなまちづくりを推進しています。「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2030年までに「誰一人取り残されない」持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsについてお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- 1 SDGsという言葉聞いたことがない
- 2 SDGsという言葉聞いたことがあるが、意味は知らない
- 3 SDGsの意味を知っているが、私生活または職場で特に取り組んでいない
- 4 SDGsの意味を知っていて、私生活または職場で取り組んでいる

最後に、安城市の今後のまちづくりに対するご意見などがありましたらお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。



安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

安城市市民アンケート調査報告書
(令和3年度)

発行年月
編集・発行



令和3年10月
安城市企画部健康・SDGs課企画政策係
〒446-8501
愛知県安城市桜町18番23号
TEL 0566-76-1111 (代表) / 0566-71-2204 (直通)
FAX 0566-76-1112
e-mail:kikaku@city.anjo.lg.jp

